

第 3 章

介護保険サービス利用に 関する調査

< 調 査 概 要 >

調 査 方 法	郵送配付、郵送回収
調 査 対 象 者	65歳以上の要介護認定を受け、施設サービス、認知症高齢者グループホーム、有料老人ホームを利用していない区民 (平成 25 年 11 月 1 日現在)
抽 出 方 法	介護保険被保険者台帳より無作為抽出
調 査 期 間	平成 25 年 11 月 15 日～12 月 11 日
対 象 者 数 及 び 回 収 率	対 象 者 数 : 2,500 有 効 回 収 数 : 1,490 有 効 回 収 率 : 59.6%

1. 基本的属性

(1) 調査回答者、性別、現在の満年齢

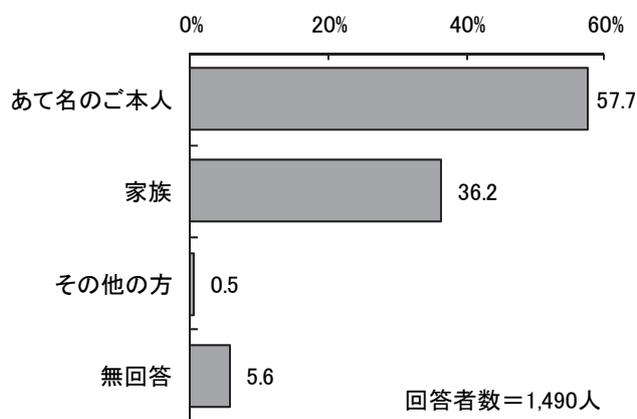
問1 はじめに、この調査票に回答される方はどなたですか。(1つに○)

問2 あなた(あて名のご本人)の性別、平成25年11月1日現在の満年齢をお答えください。

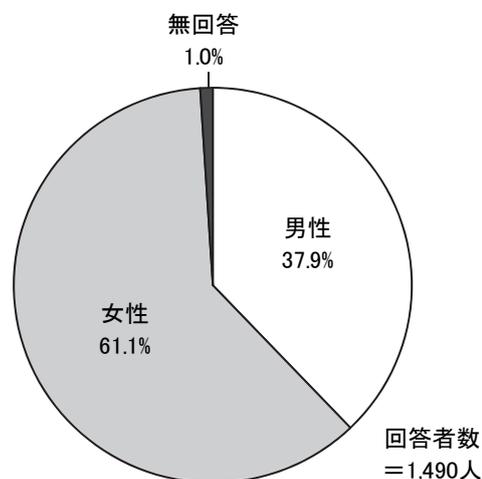
調査回答者は、「あて名のご本人」は57.7%であり、「家族」が36.2%となっている。
性別は、「男性」37.9%に対して、「女性」が61.1%を占める。

年齢は、年齢層が高いほど割合が高く、「85歳以上」が34.6%を占める。平均年齢は81.7歳となっている。

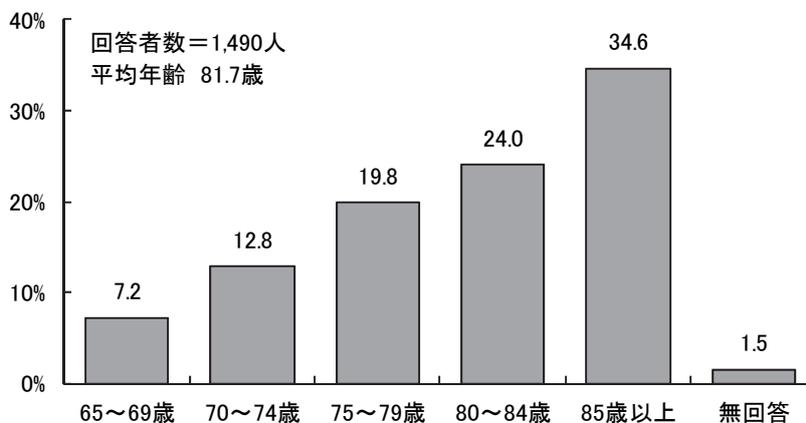
図表3-1 調査回答者(単数回答)



図表3-2 性別(単数回答)



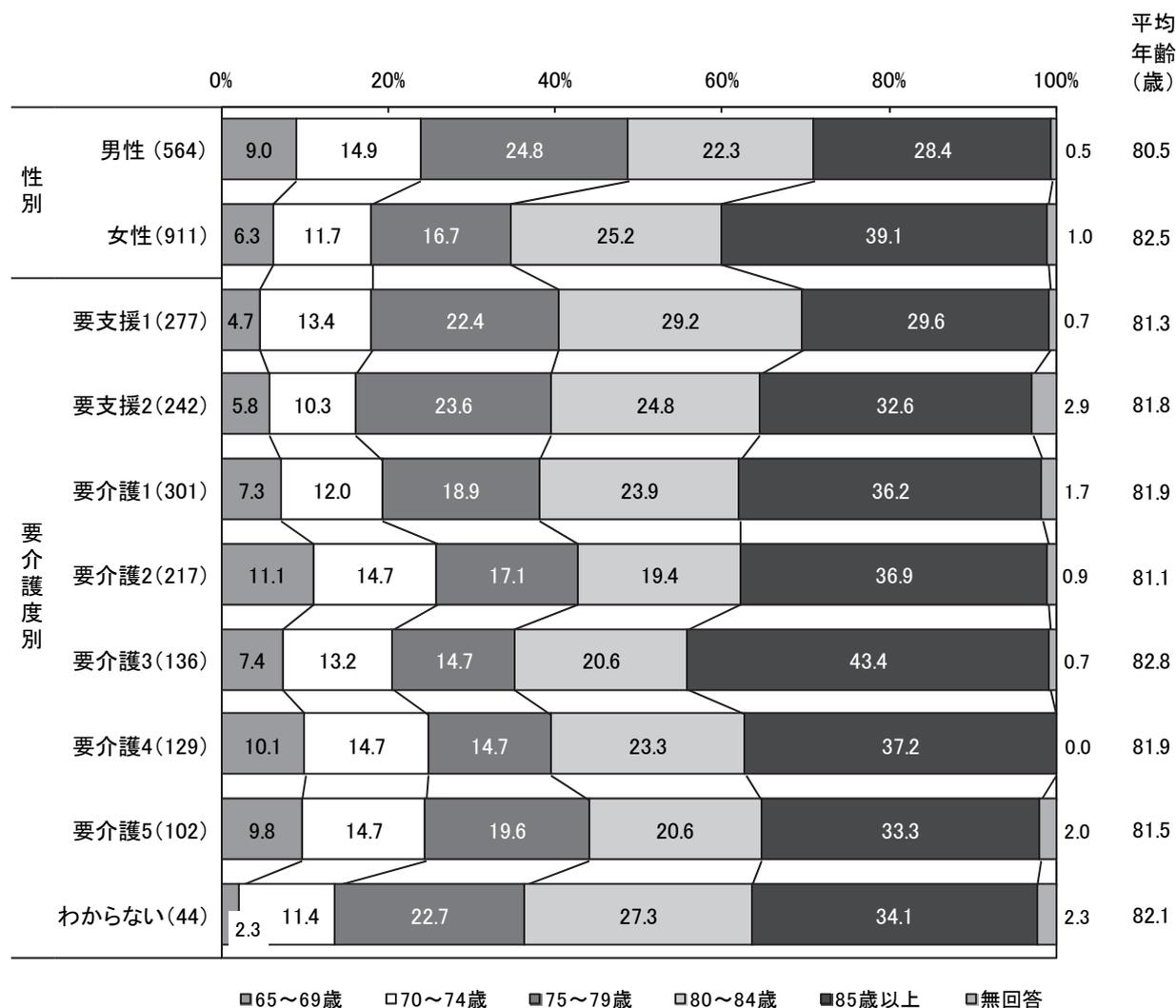
図表3-3 年齢(単数回答)



性別ごとにみると、「85歳以上」の年齢層は男性の28.4%に対して、女性は39.1%と約4割を占めており、平均年齢は男性が80.5歳、女性が82.5歳となっている。

要介護度別にみると、介護度にかかわらず平均年齢は81～82歳台となっている。

図表3-4 年齢



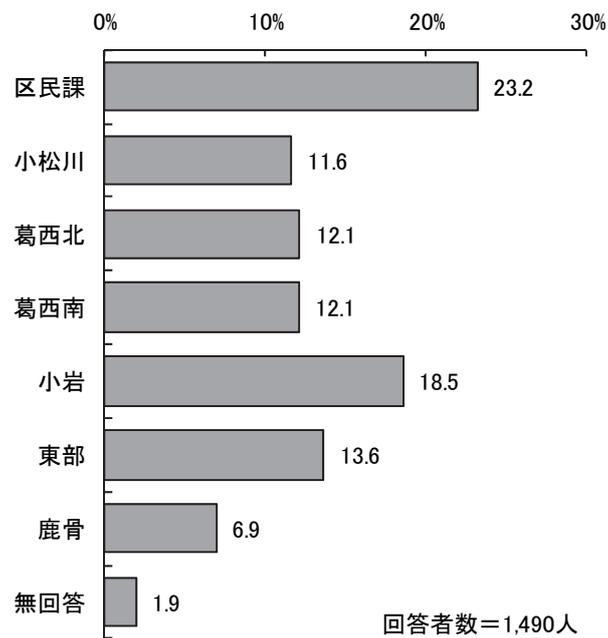
※ () は回答者数

(2)居住地(日常生活圏域)

問3 あなた(あて名のご本人)のお住まいはどこですか。記入例を参考に記入してください。
丁目がない場合は、町名だけ記入してください。 【比較調査235頁参照】

居住地(日常生活圏域)は、「区民課」が23.2%、「小岩」が18.5%、「東部」が13.6%、「葛西北」「葛西南」が各12.1%などとなっている。

図表3-5 居住地(日常生活圏域)(単数回答)

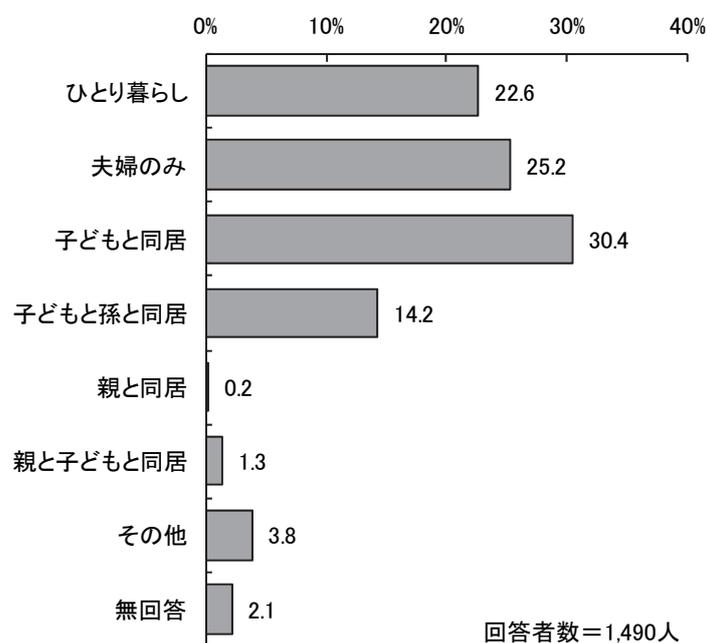


(3)世帯構成

問4 あなた(あて名のご本人)の現在の世帯の構成は、次のうちどれですか。(1つに○)
【比較調査236頁参照】

世帯構成は、「子どもと同居」30.4%がもっとも高く、次いで「夫婦のみ」25.2%、「ひとり暮らし」22.6%の順となっている。

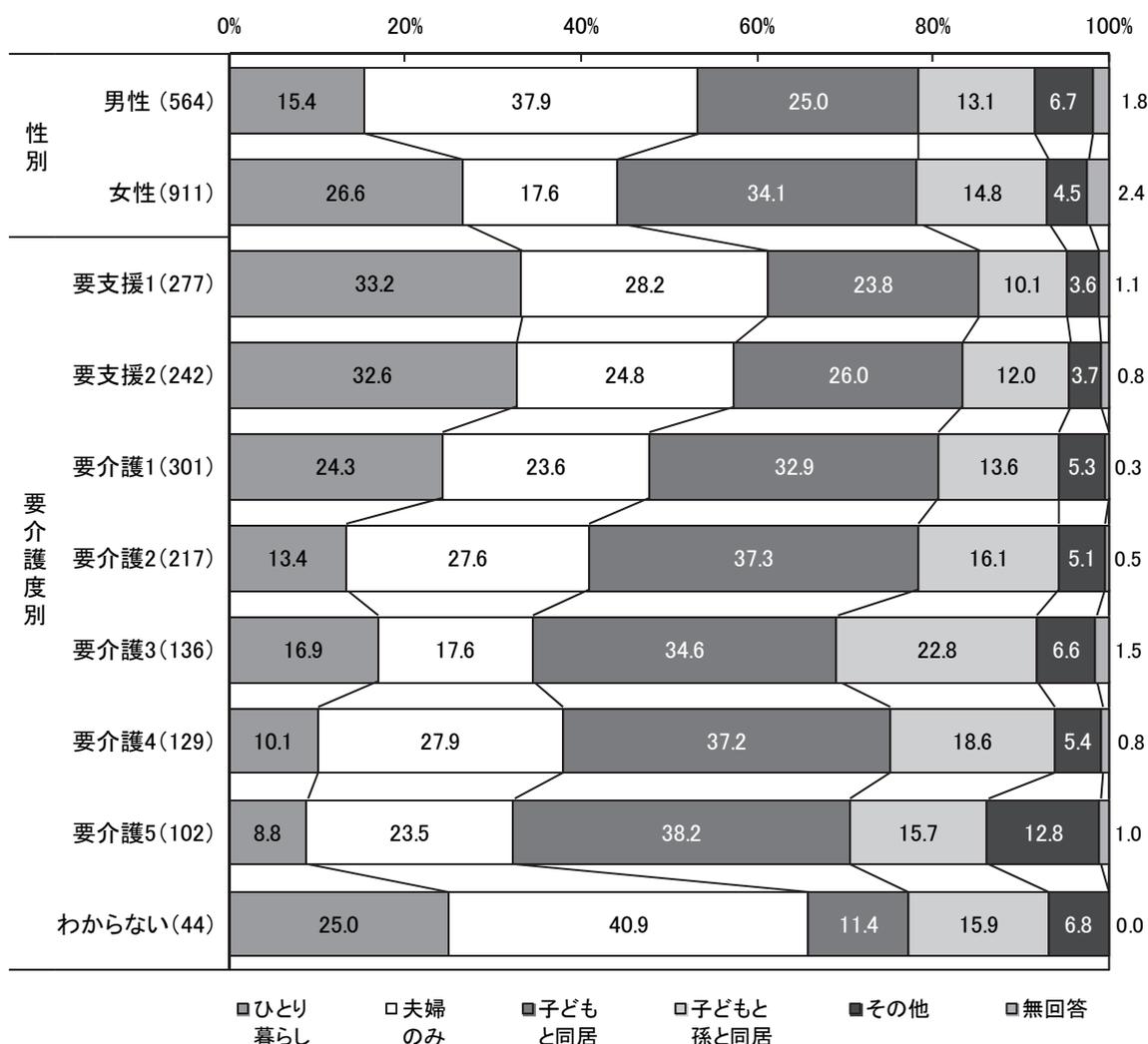
図表3-6 世帯構成(単数回答)



性別ごとにみると、男性は「夫婦のみ」37.9%がもっとも高く、「ひとり暮らし」は1割台である。女性は「子どもと同居」34.1%に次いで、「ひとり暮らし」が26.6%と2割台を占める。

要介護度別にみると、要支援1・2の人は「ひとり暮らし」がもっとも高く、3割台を占める。「ひとり暮らし」の割合は介護度が高くなるほど低くなる傾向にあり、要介護1～5の人では「子どもと同居」がもっとも高い割合を占めている。

図表3-7 世帯構成



※ () は回答者数

※ 「親と同居」「親と子どもと同居」は「その他」に含めて集計している

(4) 日中独居の状況

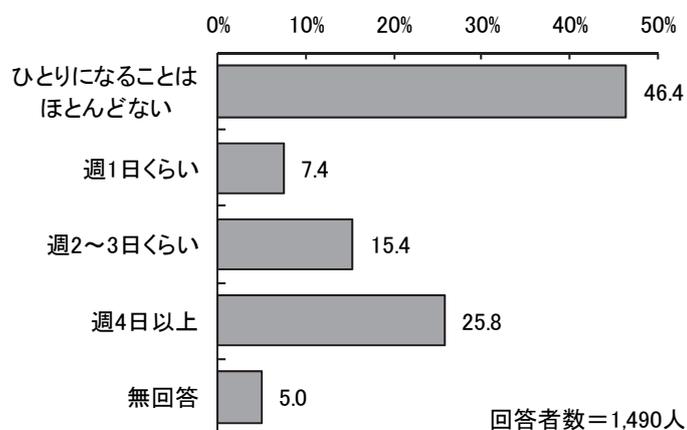
問5 あなた(あて名のご本人)は、日中、家にひとりでいることがどのくらいありますか。

(1つに○)

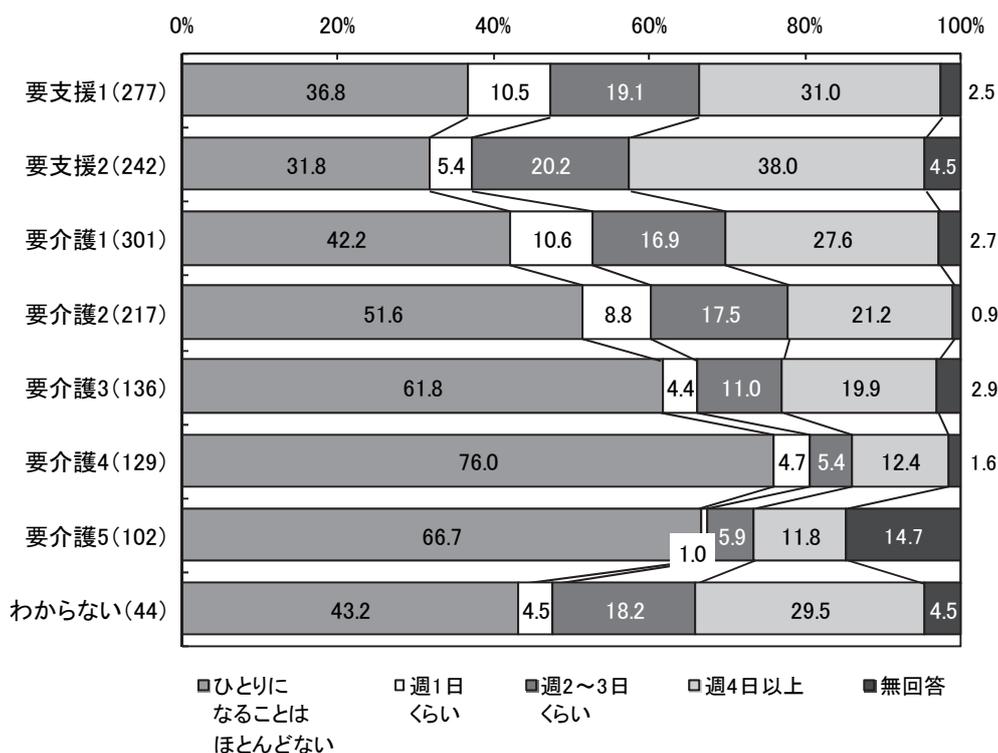
日中独居の状況をみると、「ひとりになることはほとんどない」は46.4%と5割を下回り、25.8%と約4人に1人が「週4日以上」ひとりでいると回答している。

要介護度別にみると、「週4日以上」ひとりでいる人の割合は、要支援1・2の人では3割台を占める。介護度が高くなるほど割合は低くなり、要介護3～5の人では「ひとりになることはほとんどない」が6割以上となっている。

図表3-8 日中独居の状況(単数回答)



図表3-9 日中独居の状況



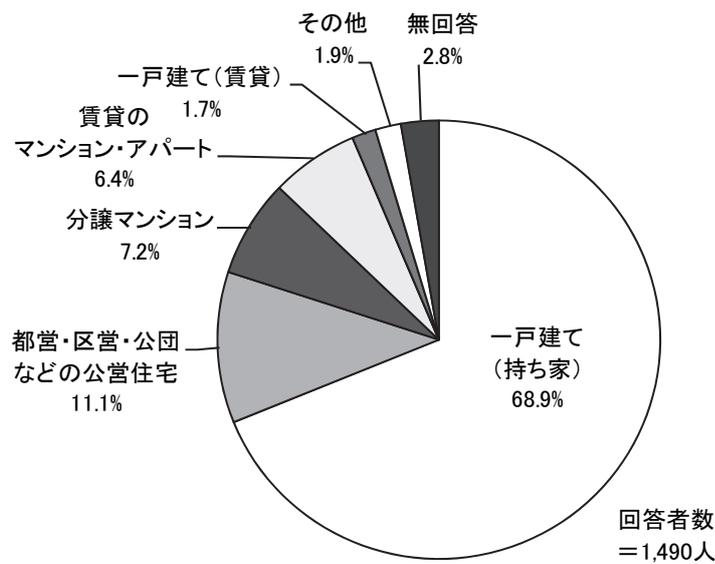
※ () は回答者数

(5)住居の形態

問6 あなた(あて名のご本人)の現在のお住まいは、次のうちどれですか。(1つに○)

住居の形態は、「一戸建て(持ち家)」68.9%、「都営・区営・公団などの公営住宅」11.1%、「分譲マンション」7.2%の順となっている。

図表3-10 住居の形態(単数回答)



(6) 居住階数、エレベーターの有無

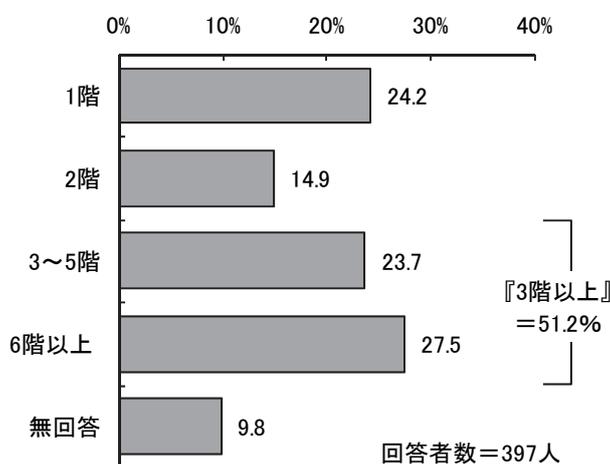
マンションやアパート等にお住まいの方(問6で3～6に○)にうかがいます。

問6-1 現在、何階で生活していますか。また、2階以上で生活している場合、エレベーターはありますか。(それぞれ1つに○)

マンションやアパートに居住している人の居住階数は、「6階以上」27.5%、「1階」24.2%、「3～5階」23.7%の順となっている。

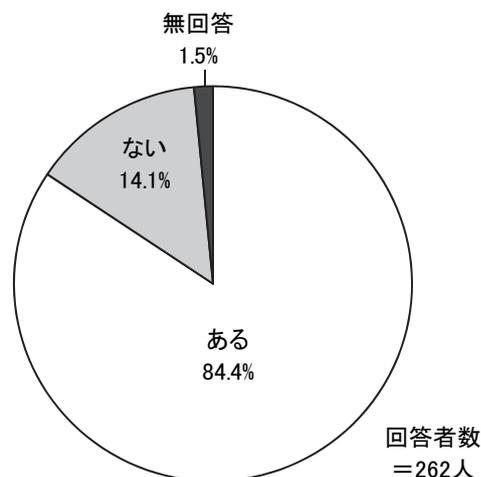
2階以上に居住している場合のエレベーターの有無は、「ある」が84.4%を占め、「ない」は14.1%となっている。

図表3-11 居住階数(単数回答)



※『3階以上』 = 「3～5階」 + 「6階以上」

図表3-12 エレベーターの有無(単数回答)



(7) 本人と配偶者の収入源、年収

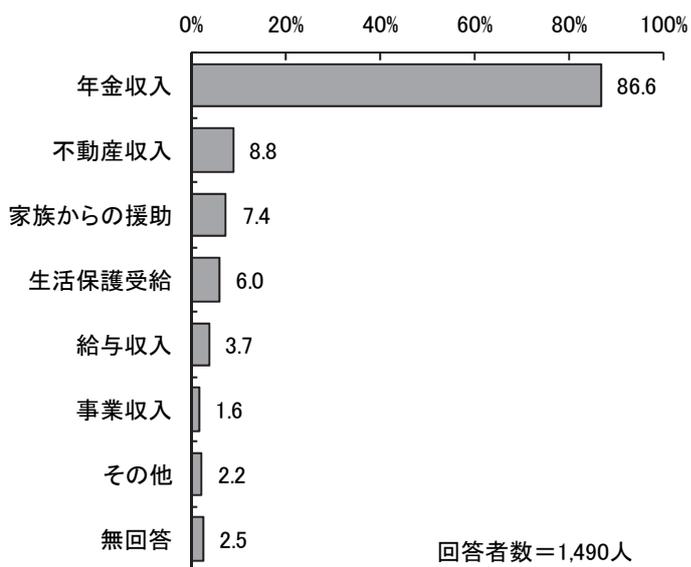
問7 あなた(あて名のご本人)と配偶者(ひとり暮らしの方は、あなたのみ)の収入は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

問8 あなた(あて名のご本人)と配偶者(ひとり暮らしの方は、あなたのみ)の税込みの年収(年金を含む)の合計は、次のうちどれですか。(1つに○)

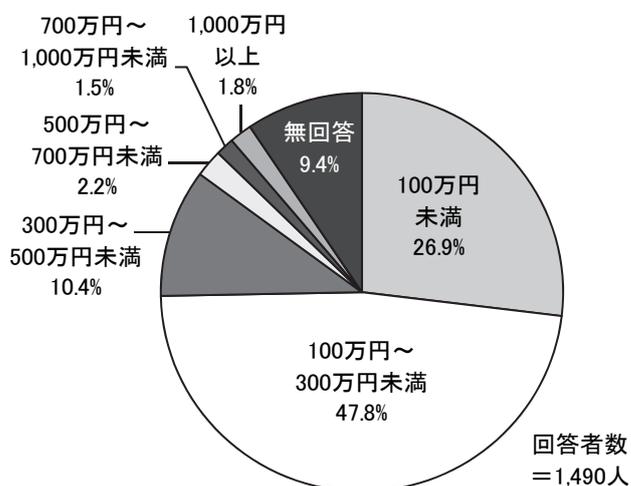
本人と配偶者の収入源は、「年金収入」が86.6%であり、他はいずれも1割を下回っている。

本人と配偶者の年収は、「100万円～300万円未満」47.8%と5割弱を占め、次いで「100万円未満」26.9%であり、これらをあわせた300万円未満が74.7%となっている。

図表3-13 本人と配偶者の収入源(複数回答)



図表3-14 本人と配偶者の年収(単数回答)



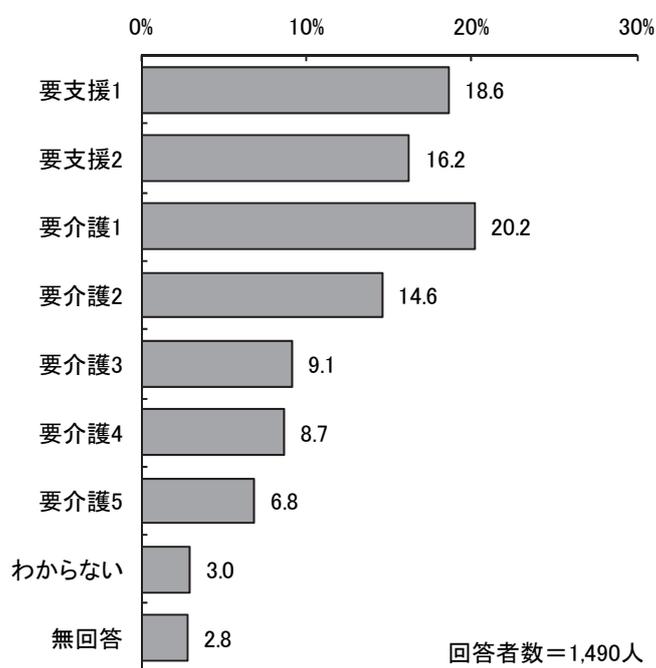
2. 要介護度及び健康について

(1) 要介護度

問9 あなた(あて名のご本人)の現在の介護度は、次のどれですか。(1つに○)

要介護度は、「要介護1」20.2%、「要支援1」18.6%、「要支援2」16.2%の順となっている。「要支援1」と「要支援2」をあわせた要支援は34.8%、「要介護1」から「要介護2」は34.8%、「要介護3」から「要介護5」は24.6%となっている。

図表3-15 要介護度(単数回答)

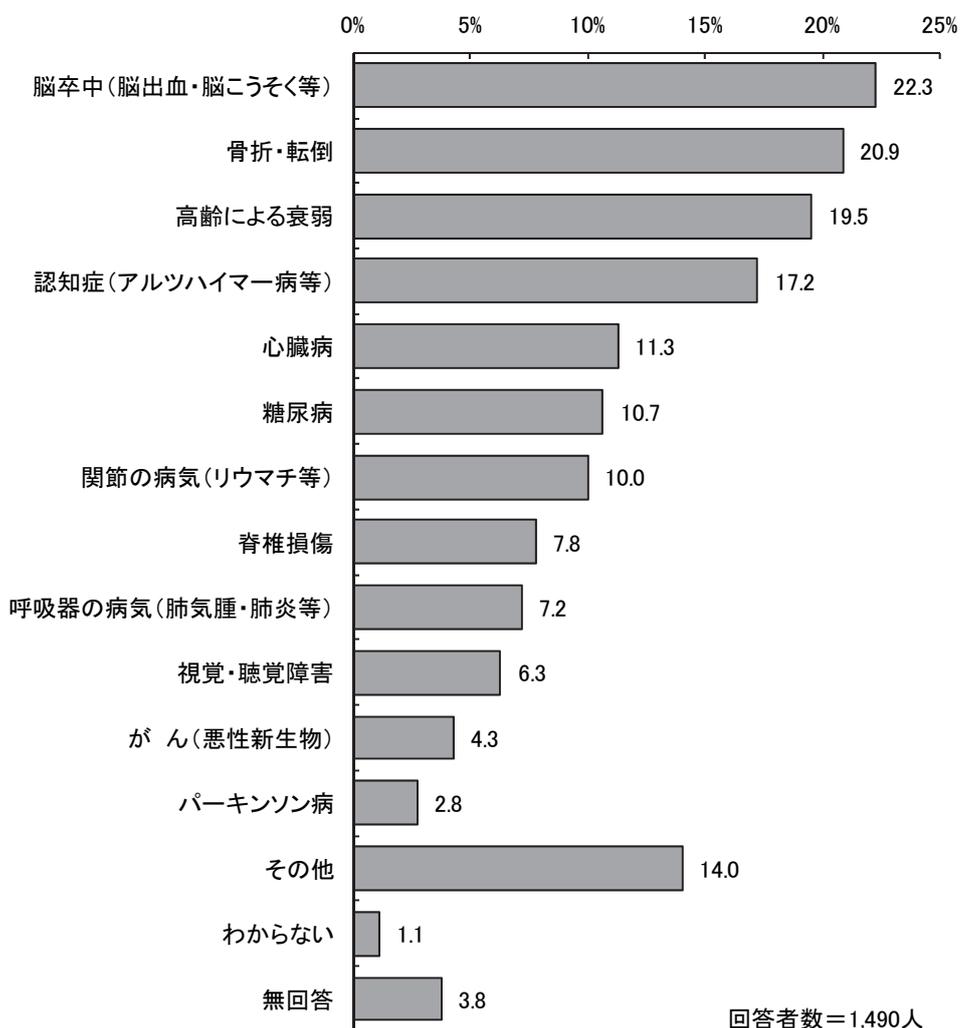


(2) 支援や介護が必要となった原因

問10 あなた(あて名のご本人)に、支援や介護が必要となったのは、どのようなことが原因でしたか。(あてはまるものすべてに○)

支援や介護が必要となった原因は、「脳卒中(脳出血・脳こうそく等)」22.3%、「骨折・転倒」20.9%、「高齢による衰弱」19.5%、「認知症(アルツハイマー病等)」17.2%の順となっている。

図表3-16 支援や介護が必要となった原因(複数回答)



要介護度別にみると、要支援1・2の人では「高齢による衰弱」「骨折・転倒」が原因の上位となっている。要介護1の人は「脳卒中（脳出血・脳こうそく等）」「認知症（アルツハイマー病等）」、要介護2及び要介護5の人は「脳卒中（脳出血・脳こうそく等）」、要介護3・4の人は「認知症（アルツハイマー病等）」が、それぞれ第1位である。

図表3-17 支援や介護が必要となった原因

	回答者数(人)	脳卒中(脳出血・脳こうそく等)	骨折・転倒	高齢による衰弱	認知症(アルツハイマー病等)	心臓病	糖尿病	関節の病気(リウマチ等)	脊椎損傷	呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)	視覚・聴覚障害	がん(悪性新生物)	パーキンソン病	その他	
全体	1,490	22.3	20.9	19.5	17.2	11.3	10.7	10.0	7.8	7.2	6.3	4.3	2.8	14.0	
要介護度別	要支援1	277	14.4	18.4	18.4	4.3	12.3	9.0	13.4	8.7	6.9	7.2	6.1	1.1	18.4
	要支援2	242	16.1	21.1	22.3	1.7	10.7	12.0	16.1	9.5	7.9	8.7	3.3	1.7	18.6
	要介護1	301	22.9	19.3	20.6	22.9	11.0	12.3	7.6	10.3	7.0	6.6	4.0	3.7	10.6
	要介護2	217	27.2	21.7	19.4	23.5	12.9	12.4	10.6	7.4	5.1	5.1	1.8	2.8	11.5
	要介護3	136	26.5	22.1	18.4	33.8	11.8	8.8	8.1	6.6	10.3	6.6	5.9	1.5	13.2
	要介護4	129	27.1	27.9	23.3	31.0	10.1	12.4	4.7	1.6	8.5	3.9	6.2	5.4	14.0
	要介護5	102	43.1	21.6	16.7	25.5	5.9	7.8	6.9	4.9	5.9	3.9	2.9	7.8	10.8
わからない	44	9.1	20.5	11.4	6.8	13.6	9.1	2.3	9.1	2.3	9.1	4.5	0.0	13.6	

※「わからない」「無回答」は掲載を省略している

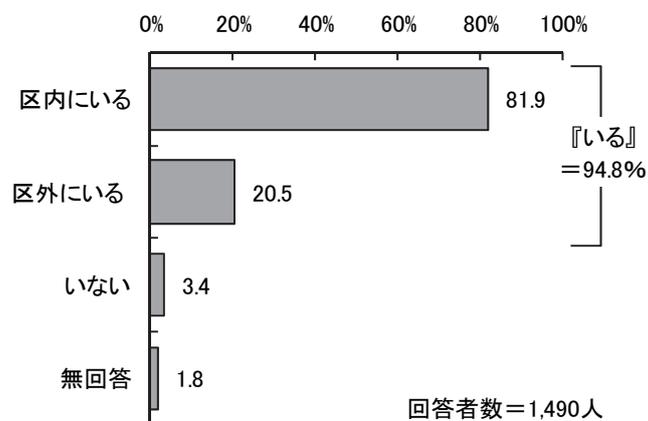
(3) かかりつけ医の有無

問11 あなた(あて名のご本人)には、かかりつけの医師がいますか。
(あてはまるものすべてに○)

【比較調査238参照】

かかりつけ医の有無は、「区内にいる」が81.9%、「区外にいる」が20.5%であり、『いる』が94.8%を占める。

図表3-18 かかりつけ医の有無(複数回答)



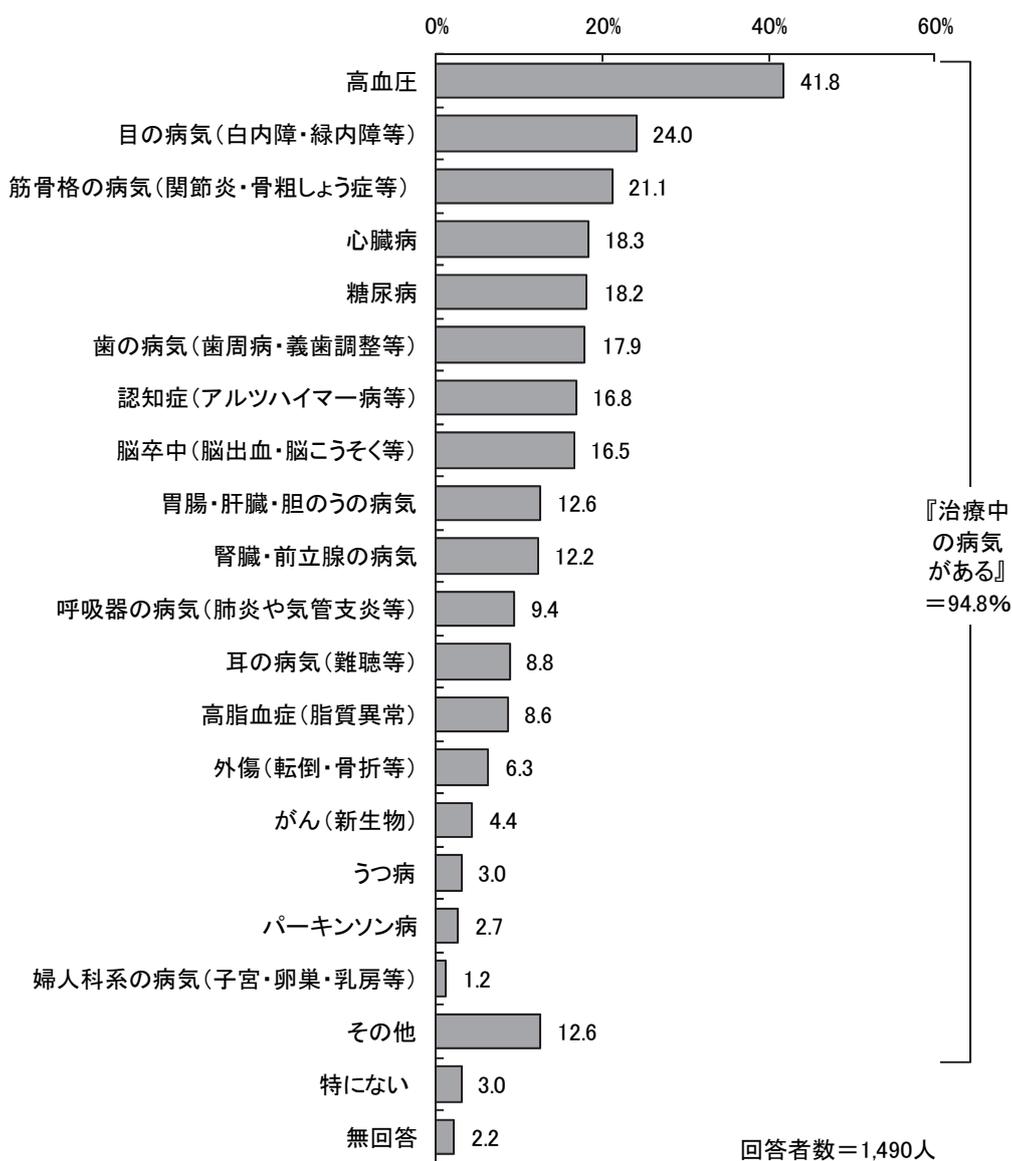
※ 『いる』 = 100% - 「いない」 - 「無回答」

(4) 現在治療中の病気

問14 あなた(あて名のご本人)は、現在かかっている、または治療中の病気がありますか。
(あてはまるものすべてに○)

現在治療中の病気は、「高血圧」41.8%がもっとも高く、次いで「目の病気（白内障・緑内障等）」24.0%、「筋骨格の病気（関節炎・骨粗しょう症等）」21.1%、「心臓病」18.3%、「糖尿病」18.2%の順となっている。

図表3-19 現在治療中の病気(複数回答)



※『治療中の病気がある』 = 100% - 「特にない」 - 「無回答」

(5) 身長と体重(BMI)

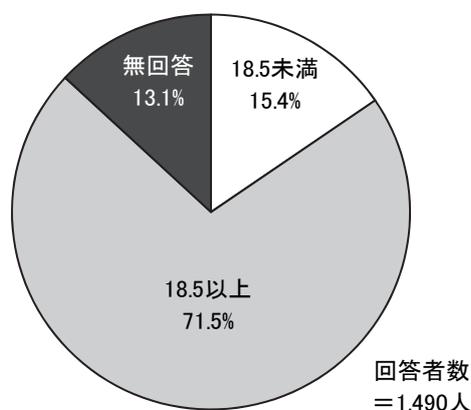
問12 あなた(あて名のご本人)の身長と体重を記入してください。

(枠の中に数字をご記入ください)

身長と体重から算出したBMI（身長からみた体重の割合を示す体格指数）について、低栄養が疑われる「18.5未満」の人は15.4%となっている。

要介護度別にみると、「18.5未満」の人の割合は、要支援1～要介護3の人の1割台、要介護4・5の人では2割台となっている。

図表3-20 BMI(単数回答)



図表3-21 BMI

		回答者数(人)	18.5未満	18.5以上	無回答
全体		1,490	15.4	71.5	13.1
要介護度別	要支援1	277	13.0	77.3	9.7
	要支援2	242	14.9	73.6	11.6
	要介護1	301	13.6	75.4	11.0
	要介護2	217	15.7	73.3	11.1
	要介護3	136	14.7	71.3	14.0
	要介護4	129	21.7	60.5	17.8
	要介護5	102	22.5	53.9	23.5
	わからない	44	15.9	65.9	18.2

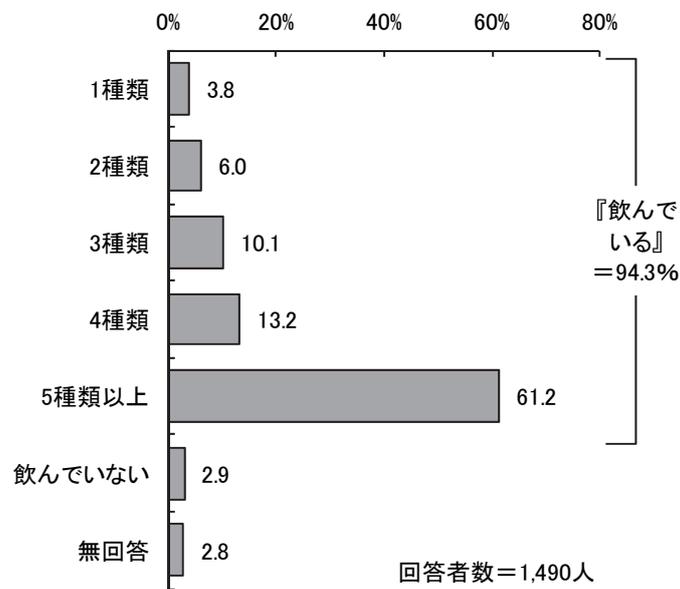
(6) 飲んでいる薬の種類

問13 あなた(あて名のご本人)は、現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか。

(1つに○)

飲んでいる薬の種類をみると、94.3%が薬を『飲んでいる』と回答しており、「5種類以上」が61.2%を占めている。

図表3-22 飲んでいる薬の種類(単数回答)



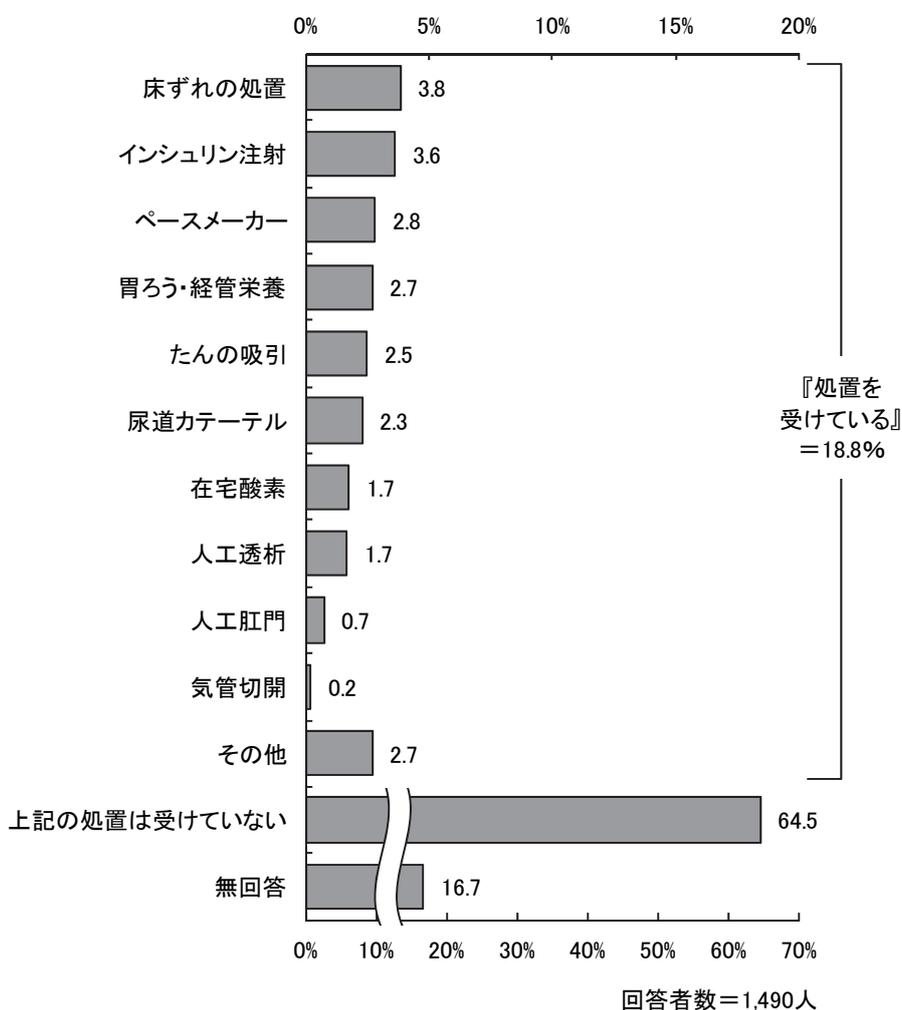
※『飲んでいる』 = 「1種類」 + 「2種類」 + 「3種類」 + 「4種類」 + 「5種類以上」

(7) 医療処置の状況

問15 あなた(あて名のご本人)は、次のような医療器具を利用したり、処置を受けたりしていますか。(あてはまるものすべてに○)

医療処置の状況を見ると、18.8%が『処置を受けている』と回答している。具体的な処置は、「床ずれの処置」3.8%、「インシュリン注射」3.6%、「ペースメーカー」2.8%、「胃ろう・経管栄養」2.7%、「たんの吸引」2.5%などとなっている。

図表3-23 医療処置の状況(複数回答)



※『処置を受けている』=100%－「上記の処置は受けていない」－「無回答」

要介護度別にみると、『処置を受けている』人の割合は概ね介護度が高くなるほど高くなっており、要支援1～要介護3の人の1割台、要介護4の人の2割台、要介護5の人では5割台を占める。要介護5の人では、「胃ろう・経管栄養」「床ずれの処置」「たんの吸引」をそれぞれ2割台が受けていると回答している。

図表3-24 医療処置の状況

	回答者数(人)	床ずれの処置	インシュリン注射	ペースメーカー	胃ろう・経管栄養	たんの吸引	尿道カテーテル	在宅酸素	人工透析	人工肛門	気管切開	その他	上記の処置は受けていない	『処置を受けている』	
全体	1,490	3.8	3.6	2.8	2.7	2.5	2.3	1.7	1.7	0.7	0.2	2.7	64.5	18.8	
要介護度別	要支援1	277	0.0	2.9	2.9	0.4	0.0	1.4	1.4	1.1	0.0	0.0	1.8	73.6	11.6
	要支援2	242	1.2	2.5	2.1	0.0	0.8	1.7	1.2	2.5	0.0	0.0	3.7	71.5	14.0
	要介護1	301	1.0	6.3	3.0	0.7	0.3	1.0	1.0	1.3	0.7	0.0	3.0	68.8	15.3
	要介護2	217	1.4	3.2	2.8	0.5	1.4	1.4	2.8	1.8	1.4	0.0	2.8	68.2	17.5
	要介護3	136	5.1	3.7	0.7	2.2	0.7	2.9	1.5	0.7	0.7	0.0	2.2	66.9	16.9
	要介護4	129	9.3	1.6	3.1	3.9	3.1	6.2	4.7	2.3	2.3	0.0	2.3	48.8	28.7
	要介護5	102	26.5	3.9	4.9	26.5	23.5	6.9	2.0	1.0	2.0	2.0	2.0	28.4	53.0
	わからない	44	2.3	4.5	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	4.5	61.4	15.9

※「無回答」は掲載を省略している

※『処置を受けている』=100%－「上記の処置は受けていない」－「無回答」

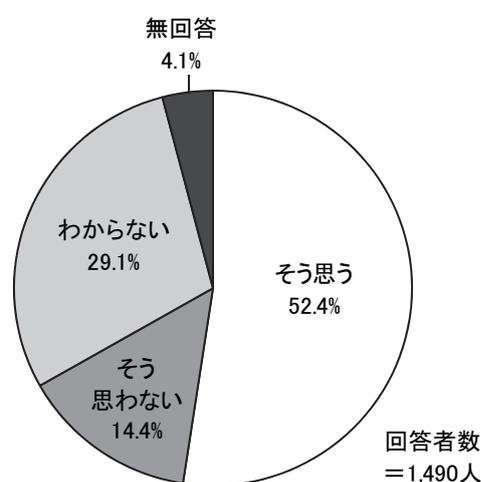
(8) 在宅療養に対する意向

問16 あなた(あて名のご本人)は、病気で長期の療養が必要になった場合、往診や訪問診療などの医療サービスを受けながら、自宅で療養生活を続けたいと思いますか。
(近い希望1つに○) 【比較調査239頁参照】

在宅療養に対する意向は、「そう思う」が52.4%と過半数を占め、「そう思わない」14.4%のおおよそ3.6倍となっている。

要介護度別にみると、「そう思う」と回答した人の割合は、要介護4・5の人で6割弱を占め、要支援1～要介護3の人に比べて高くなっている。

図表3-25 在宅療養に対する意向(単数回答)



図表3-26 在宅療養に対する意向

		回答者数(人)	そう思う	そう思わない	わからない	無回答
全体		1,490	52.4	14.4	29.1	4.1
要介護度別	要支援1	277	53.1	14.1	29.6	3.2
	要支援2	242	46.7	20.7	29.8	2.9
	要介護1	301	54.5	14.0	28.2	3.3
	要介護2	217	52.1	13.8	30.4	3.7
	要介護3	136	52.9	12.5	32.4	2.2
	要介護4	129	58.1	14.0	24.0	3.9
	要介護5	102	57.8	6.9	27.5	7.8
	わからない	44	43.2	11.4	36.4	9.1

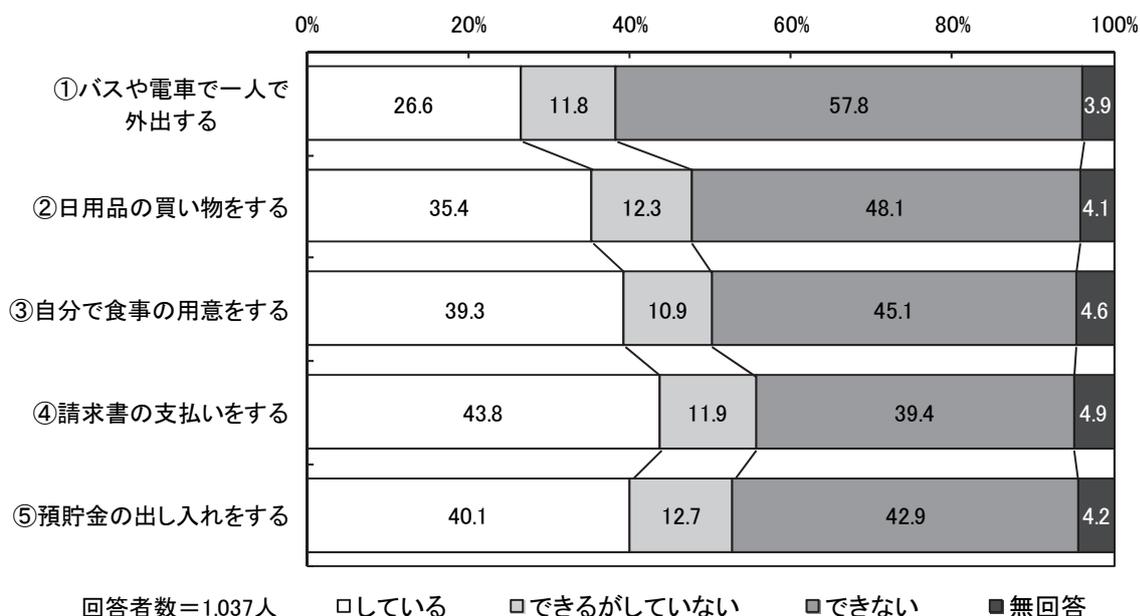
3. 日常生活機能の状況について

(1) 手段的日常生活動作(IADL)の自立度

問17 あなた(あて名のご本人)の日常生活等についてお答えください。(それぞれ1つに〇)

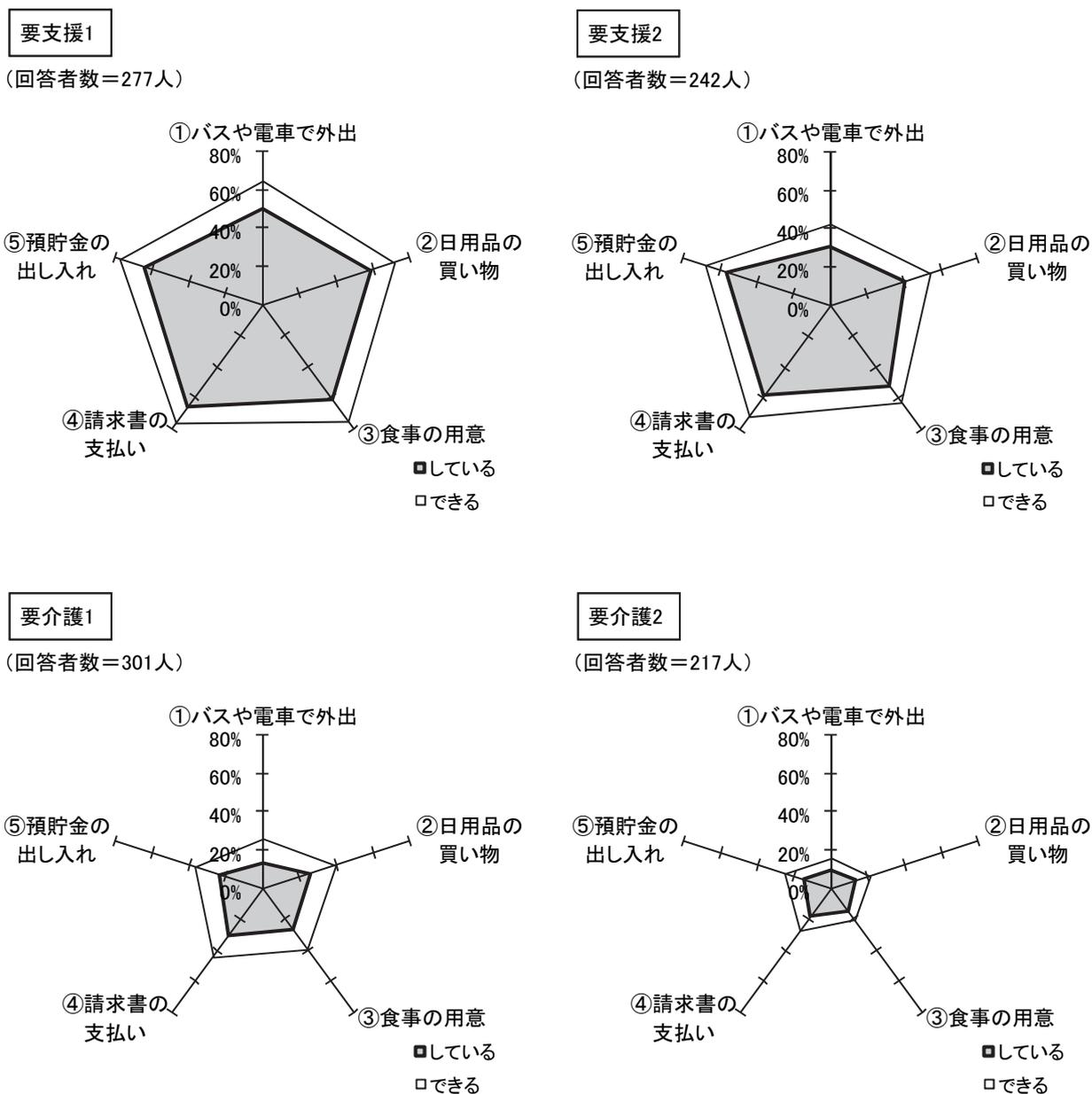
要支援1から要介護2の人の手段的日常生活動作（IADL：交通機関の利用、家事、金銭管理など、日常生活を送るために必要な動作）の自立度をみると、「している」割合は、「①バスや電車で一人で外出する」が2割台、「②日用品の買い物をする」「③自分で食事の用意をする」が3割台、「④請求書の支払いをする」「⑤預貯金の出し入れをする」が4割台であり、④以外は「できない」がもっとも高い割合を占めている。

図表3-27 手段的日常生活動作(IADL)の自立度(各単数回答)



要介護度別にみると、「している」割合（下図のグレーの網掛け部分）、『できる』割合（下図の外側の枠）とも、介護度が高くなるほど低下することがわかる。特に、要支援2と要介護1との差が顕著である。

図表3-28 手段的日常生活動作(IADL)の自立度



※各項目の「している」、「できる」（「している」+「できるがしていない」）割合を掲載している

図表3-29 手段的日常生活動作(IADL)の自立度

		数	①バスや電車で外出			②日用品の買物			③食事の用意			
			している	していない できるが	できない	している	していない できるが	できない	している	していない できるが	できない	
全体		1,037	26.6	11.8	57.8	35.4	12.3	48.1	39.3	10.9	45.1	
要介護度別	要支援	要支援 1・2	519	41.4	13.3	41.4	50.3	13.5	32.0	57.0	12.3	26.2
		要支援 1	277	50.5	14.8	30.3	58.5	13.4	23.5	61.0	14.4	20.6
		要支援 2	242	31.0	11.6	54.1	40.9	13.6	41.7	52.5	9.9	32.6
	要介護	要介護 1・2	518	11.8	10.2	74.1	20.5	11.2	64.3	21.6	9.5	64.1
		要介護 1	301	13.6	12.6	70.1	25.6	14.0	56.5	26.2	12.6	56.1
		要介護 2	217	9.2	6.9	79.7	13.4	7.4	75.1	15.2	5.1	75.1

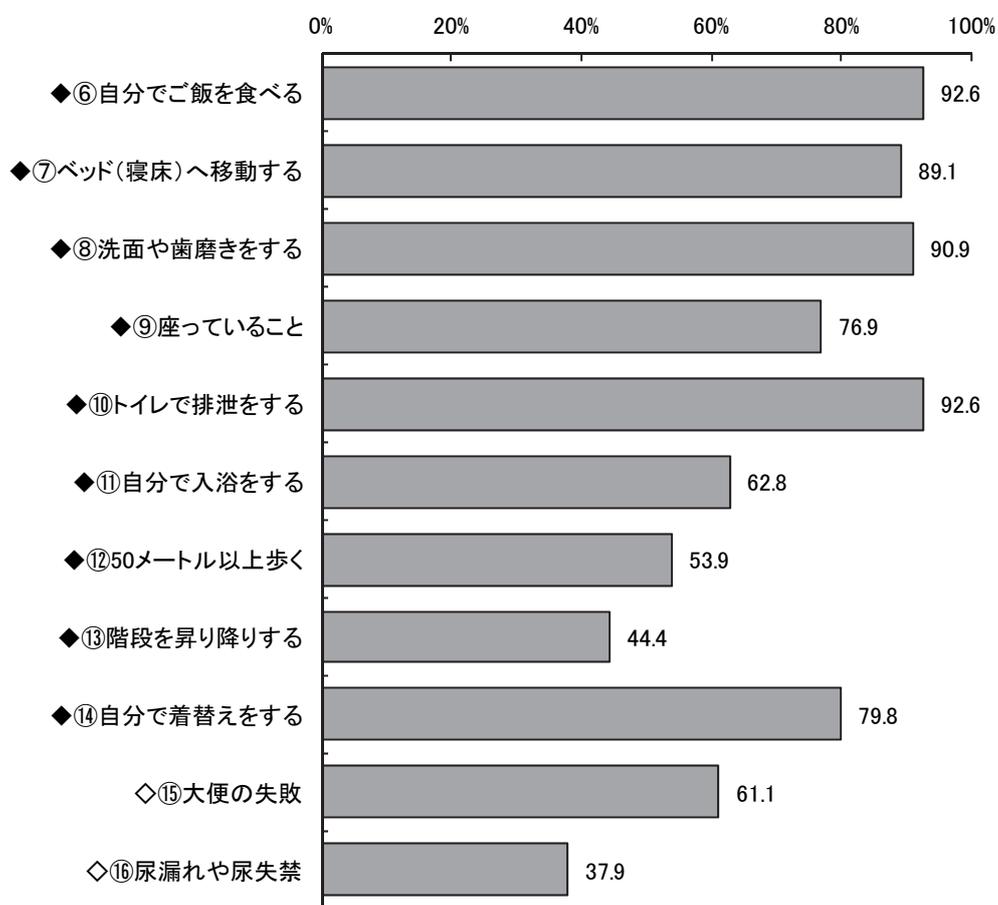
		回答者数(人)	④請求書の支払い			⑤預貯金の出し入れ			
			している	していない できるが	できない	している	していない できるが	できない	
全体		1,037	43.8	11.9	39.4	40.1	12.7	42.9	
要介護度別	要支援	要支援 1・2	519	62.2	11.9	20.6	60.3	13.1	22.0
		要支援 1	277	65.7	10.8	18.1	63.9	14.1	17.0
		要支援 2	242	58.3	13.2	23.6	56.2	12.0	27.7
	要介護	要介護 1・2	518	25.3	11.8	58.3	19.9	12.4	63.9
		要介護 1	301	30.2	13.6	51.8	23.6	13.6	58.5
		要介護 2	217	18.4	9.2	67.3	14.7	10.6	71.4

※「無回答」は掲載を省略している

(2) 日常生活動作(ADL)の自立度

要支援1から要介護2の人の日常生活動作(ADL:食事、移動、整容、トイレ動作、入浴など、日常生活を送るために必要な基本的な身体動作)の自立度をみると、「できる」割合は、「⑥自分でご飯を食べる」「⑧洗面や歯磨きをする」「⑩トイレで排泄をする」は9割台である一方、「⑫50メートル以上歩く」は5割台、「⑬階段を昇り降りする」は4割台にとどまっている。また、「⑮大便の失敗」が「ない」は6割台、「⑯小便の失敗」が「ない」は3割台となっている。

図表3-30 日常生活動作(ADL)の自立度(各単数回答)



回答者数=1,037人

※◆は肯定的な内容、◇は否定的な内容
 ※⑥～⑭は「できる」割合、⑮・⑯は「ない」割合

図表3-31 日常生活動作(ADL)の自立度

	回答者数(人)	1	2	3	無回答
◆⑥自分でご飯を食べる	1,037	92.6	4.1	0.9	2.4
◆⑦ベッド(寝床)へ移動する	1,037	89.1	5.1	1.2	4.6
◆⑧洗面や歯磨きをする	1,037	90.9	4.6	1.4	3.0
◆⑨座っていること	1,037	76.9	9.2	9.6	4.3
◆⑩トイレで排泄をする	1,037	92.6	4.2	0.5	2.7
◆⑪自分で入浴をする	1,037	62.8	25.1	9.5	2.7
◆⑫50メートル以上歩く	1,037	53.9	22.9	20.1	3.2
◆⑬階段を昇り降りする	1,037	44.4	28.6	23.4	3.6
◆⑭自分で着替えをする	1,037	79.8	15.3	1.7	3.1
◇⑮大便の失敗	1,037	61.1	31.0	4.1	3.8
◇⑯尿漏れや尿失禁	1,037	37.9	45.3	13.4	3.4

※◆は肯定的な内容、◇は否定的な内容

※⑥～⑧、⑩～⑭の選択肢は、「1. できる」「2. 介助があればできる」「3. できない」

⑨の選択肢は、「1. できる」「2. 支えが必要」「3. できない」

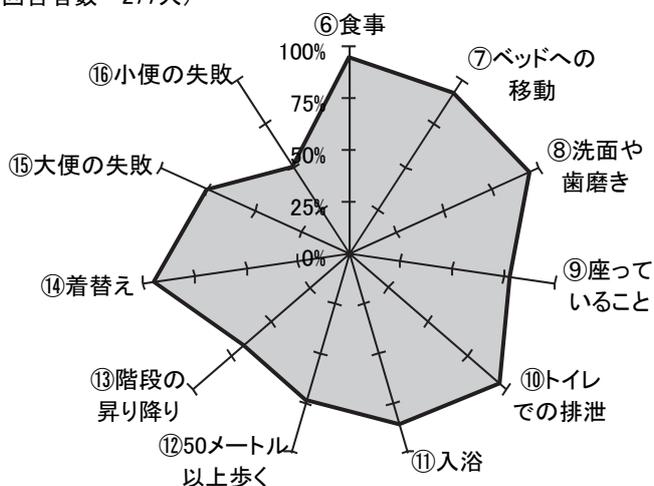
⑮・⑯の選択肢は、「1. ない」「2. ときどきある」「3. よくある」

要介護度別にみると、“⑪入浴” “⑫50メートル以上歩く” “⑬階段の昇り降り” “⑭着替え” “⑮大便の失敗” “⑯尿漏れや尿失禁” は、介護度が高くなるほど「できる」(⑮・⑯は「ない」) 割合が大きく低下している。なかでも“⑪入浴” は、要支援1の人の8割台が「できる」一方、要介護2の人では3割台と、自立度の低下が顕著である。

図表3-32 日常生活動作(ADL)の自立度

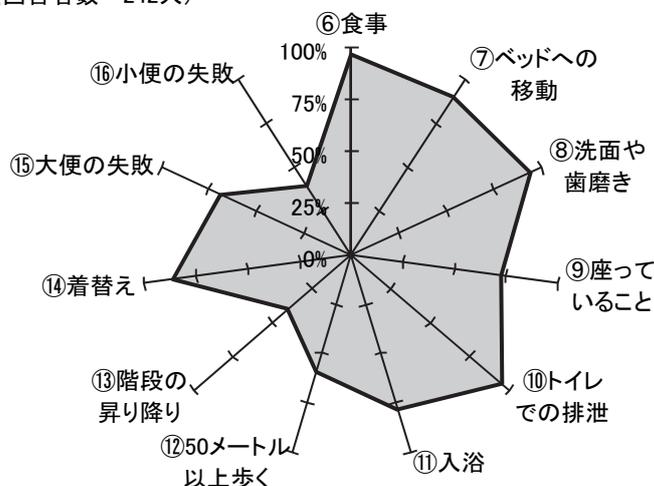
要支援1

(回答者数=277人)



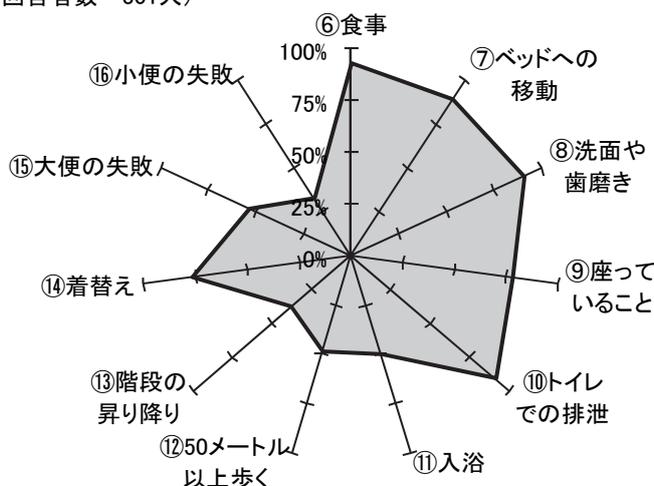
要支援2

(回答者数=242人)



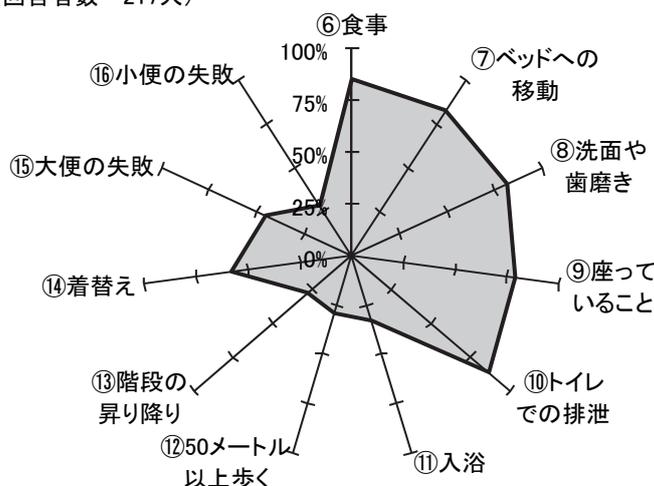
要介護1

(回答者数=301人)



要介護2

(回答者数=217人)



※⑥～⑭は「できる」、⑮・⑯は「ない」割合を掲載している

図表3-33 日常生活動作(ADL)の自立度

		回答者数(人)	⑥食事			⑦ベッドへの移動			⑧洗面や歯磨き			⑨座っていること			
			できる	ば 介 助 が あ れ ば で き る	できない	できる	ば 介 助 が あ れ ば で き る	できない	できる	ば 介 助 が あ れ ば で き る	できない	できる	支 え が 必 要	できない	
全体		1,037	92.6	4.1	0.9	89.1	5.1	1.2	90.9	4.6	1.4	76.9	9.2	9.6	
要介護度別	要支援	要支援1・2	519	96.0	1.2	0.8	91.7	1.9	1.2	95.0	1.0	1.2	75.5	8.3	11.2
		要支援1	277	95.3	1.8	0.7	92.8	1.1	0.7	95.3	0.4	0.7	78.0	6.1	11.2
		要支援2	242	96.7	0.4	0.8	90.5	2.9	1.7	94.6	1.7	1.7	72.7	10.7	11.2
	要介護	要介護1・2	518	89.2	7.1	1.0	86.5	8.3	1.2	86.9	8.3	1.7	78.2	10.0	8.1
		要介護1	301	92.7	3.7	1.0	89.4	5.0	1.0	90.7	4.7	1.3	77.7	9.6	8.6
		要介護2	217	84.3	12.0	0.9	82.5	12.9	1.4	81.6	13.4	2.3	78.8	10.6	7.4

		回答者数(人)	⑩トイレでの排泄			⑪入浴			⑫50メートル以上歩く			⑬階段の昇り降り			
			できる	ば 介 助 が あ れ ば で き る	できない	できる	ば 介 助 が あ れ ば で き る	できない	できる	ば 介 助 が あ れ ば で き る	できない	できる	ば 介 助 が あ れ ば で き る	できない	
全体		1,037	92.6	4.2	0.5	62.8	25.1	9.5	53.9	22.9	20.1	44.4	28.6	23.4	
要介護度別	要支援	要支援1・2	519	95.8	1.5	0.2	82.5	11.4	3.9	67.1	17.0	12.9	54.7	23.3	18.9
		要支援1	277	95.7	1.4	0.4	85.9	11.2	0.7	73.6	13.7	9.7	67.1	17.3	12.6
		要支援2	242	95.9	1.7	0.0	78.5	11.6	7.4	59.5	20.7	16.5	40.5	30.2	26.0
	要介護	要介護1・2	518	89.4	6.9	0.8	43.1	38.8	15.1	40.7	28.8	27.2	34.0	34.0	28.0
		要介護1	301	91.4	4.7	1.0	50.2	35.5	11.0	48.8	26.2	21.9	38.2	31.2	26.6
		要介護2	217	86.6	10.1	0.5	33.2	43.3	20.7	29.5	32.3	34.6	28.1	37.8	30.0

		回答者数(人)	⑭着替え			⑮大便の失敗			⑯小便の失敗			
			できる	ば 介 助 が あ れ ば で き る	できない	ない	と き ど き あ る	よくある	ない	と き ど き あ る	よくある	
全体		1,037	79.8	15.3	1.7	61.1	31.0	4.1	37.9	45.3	13.4	
要介護度別	要支援	要支援1・2	519	90.8	6.2	0.6	72.3	21.2	2.3	45.1	43.2	8.5
		要支援1	277	94.6	2.9	0.4	75.1	18.4	2.9	50.2	40.4	7.2
		要支援2	242	86.4	9.9	0.8	69.0	24.4	1.7	39.3	46.3	9.9
	要介護	要介護1・2	518	68.9	24.5	2.9	50.0	40.7	6.0	30.7	47.5	18.3
		要介護1	301	76.7	17.3	2.3	53.5	39.5	3.7	32.6	49.8	14.0
		要介護2	217	58.1	34.6	3.7	45.2	42.4	9.2	28.1	44.2	24.4

※「無回答」は掲載を省略している

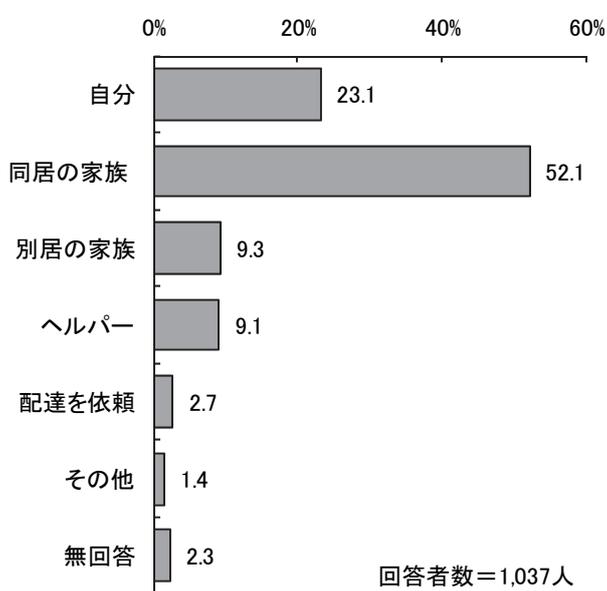
(3)日用品の買い物をする人

問18 日用品の買い物をする人は、主にどなたですか。(1つに○)

要支援1から要介護2の人の日用品の買い物をする人をみると、「自分」は23.1%であり、「同居の家族」が52.1%、「別居の家族」が9.3%、「ヘルパー」が9.1%などとなっている。

要介護度別にみると、要支援1の人では「自分」が4割台を占めるが、要介護2の人では6.0%であり、「同居の家族」が7割台を占める。

図表3-34 日用品の買い物をする人(単数回答)



図表3-35 日用品の買い物をする人

		回答者数(人)	自分	同居の家族	別居の家族	ヘルパー	配達を依頼	その他	無回答	
全体		1,037	23.1	52.1	9.3	9.1	2.7	1.4	2.3	
要介護度別	要支援	要支援1・2	519	34.7	40.8	8.3	8.7	3.3	1.5	2.7
		要支援1	277	41.2	37.9	7.9	6.1	2.2	1.8	2.9
		要支援2	242	27.3	44.2	8.7	11.6	4.5	1.2	2.5
	要介護	要介護1・2	518	11.6	63.3	10.2	9.5	2.1	1.4	1.9
		要介護1	301	15.6	57.1	12.0	10.3	1.3	1.7	2.0
		要介護2	217	6.0	71.9	7.8	8.3	3.2	0.9	1.8

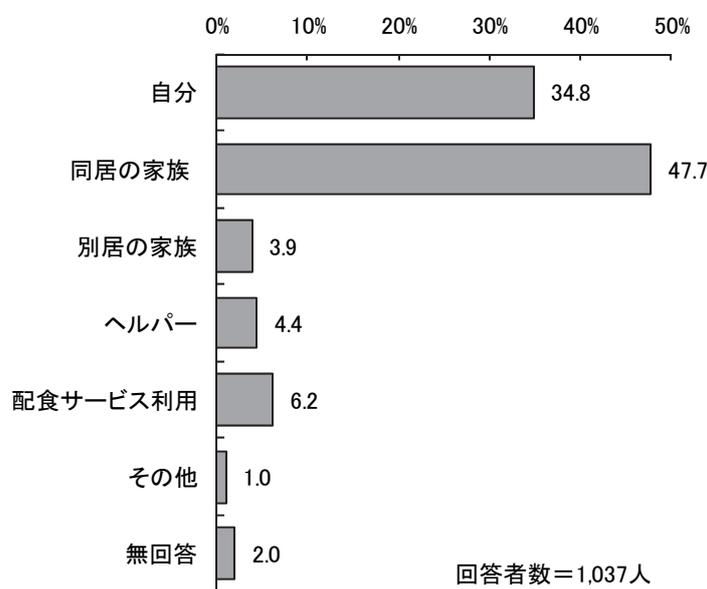
(4) 食事の用意をする人

問19 あなた(あて名のご本人)の食事の用意をする人は、主にどなたですか。(1つに○)

要支援1から要介護2の人の食事の用意をする人を見ると、「自分」は34.8%であり、「同居の家族」が47.7%、「配食サービス利用」6.2%、「ヘルパー」4.4%などとなっている。

要介護度別にみると、要支援1の人では「自分」が5割台を占めるが、要介護2の人では1割台であり、「同居の家族」が7割台を占める。

図表3-36 食事の用意をする人(単数回答)



図表3-37 食事の用意をする人

		回答者数(人)	自分	同居の家族	別居の家族	ヘルパー	利用配食サービス	その他	無回答	
全体		1,037	34.8	47.7	3.9	4.4	6.2	1.0	2.0	
要介護度別	要支援	要支援1・2	519	50.3	35.6	3.1	2.5	5.0	1.2	2.3
		要支援1	277	54.9	32.9	2.5	1.1	5.4	0.7	2.5
		要支援2	242	45.0	38.8	3.7	4.1	4.5	1.7	2.1
	要介護	要介護1・2	518	19.3	59.8	4.6	6.4	7.3	0.8	1.7
		要介護1	301	24.3	51.8	4.7	6.6	9.0	1.0	2.7
		要介護2	217	12.4	71.0	4.6	6.0	5.1	0.5	0.5

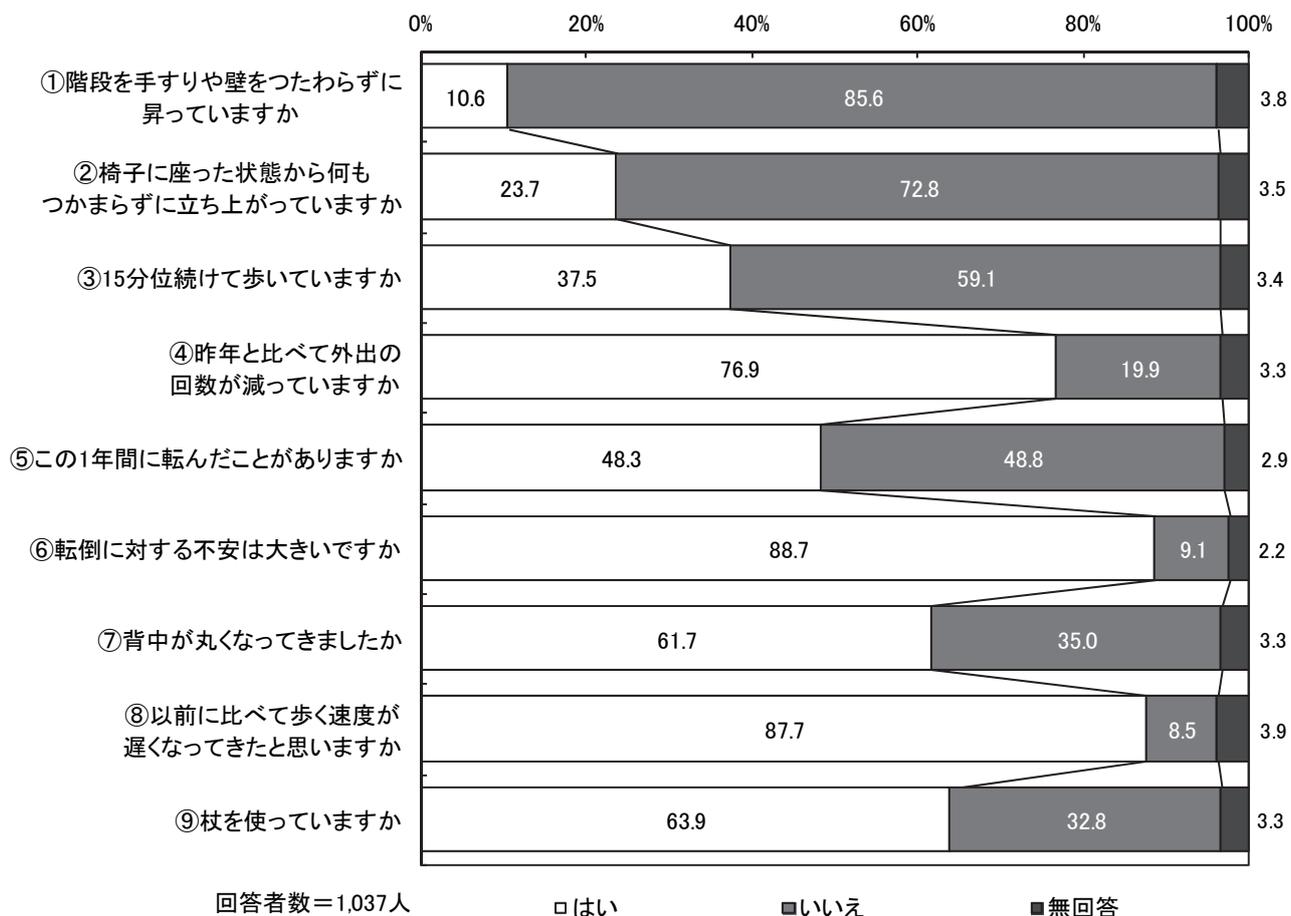
(5) 運動や転倒の状況

問20 「運動や転倒」状況についてお答えください。(それぞれ1つに○)

要支援1から要介護2の人の運動や転倒の状況をみると、①～③の肯定的質問に「はい」と回答した人の割合は、もっとも高い“③15分くらい続けて歩いていますか”は3割台、もっとも低い“①階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか”は1割台にとどまっている。

④～⑨の否定的質問に「はい」と回答した人の割合は、もっとも低い“この1年間に転んだことがありますか”が4割台、“⑥転倒に対する不安は大きいですか”“⑧以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか”は8割台となっている。

図表3-38 運動や転倒の状況(各単数回答)



要介護度別にみると、①～③の肯定的質問のうち、“②椅子から立つときつかまらない” “③15分位続けて歩くことができる” は、介護度が高くなるほど概ね「はい」と回答した人の割合が低くなっている。また、④～⑥の否定的質問のうち、“⑤この1年間に転んだことがある” “⑥転倒に対する不安が大きい” “⑦背中が丸くなってきた” は、いずれも介護度が高くなるほど割合も高くなっている。

図表3-39 運動や転倒の状況

		回答者数(人)	①階段を昇る時、手すりや壁をつたわらない			②椅子から立つときつかまらない			③15分位続けて歩くことができる			
			はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	
全体		1,037	10.6	85.6	3.8	23.7	72.8	3.5	37.5	59.1	3.4	
要介護度別	要支援	要支援1・2	519	12.3	82.9	4.8	27.0	68.6	4.4	48.4	47.2	4.4
		要支援1	277	17.7	78.7	3.6	33.6	62.8	3.6	54.2	43.0	2.9
		要支援2	242	6.2	87.6	6.2	19.4	75.2	5.4	41.7	52.1	6.2
	要介護	要介護1・2	518	8.9	88.4	2.7	20.5	77.0	2.5	26.6	71.0	2.3
		要介護1	301	8.0	90.0	2.0	21.9	75.7	2.3	30.6	66.8	2.7
		要介護2	217	10.1	86.2	3.7	18.4	78.8	2.8	21.2	77.0	1.8

		回答者数(人)	④昨年と比べ外出の回数が減った			⑤この1年間に転んだことがある			⑥転倒に対する不安が大きい			
			はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	
全体		1,037	76.9	19.9	3.3	48.3	48.8	2.9	88.7	9.1	2.2	
要介護度別	要支援	要支援1・2	519	76.5	20.2	3.3	42.8	53.8	3.5	85.7	11.4	2.9
		要支援1	277	73.6	23.5	2.9	39.4	57.4	3.2	83.8	13.7	2.5
		要支援2	242	79.8	16.5	3.7	46.7	49.6	3.7	88.0	8.7	3.3
	要介護	要介護1・2	518	77.2	19.5	3.3	53.9	43.8	2.3	91.7	6.8	1.5
		要介護1	301	79.1	17.9	3.0	53.8	43.9	2.3	91.0	7.6	1.3
		要介護2	217	74.7	21.7	3.7	53.9	43.8	2.3	92.6	5.5	1.8

		回答者数(人)	⑦背中が丸くなってきた			⑧歩く速度が遅くなってきた			⑨杖を使っている			
			はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	
全体		1,037	61.7	35.0	3.3	87.7	8.5	3.9	63.9	32.8	3.3	
要介護度別	要支援	要支援 1・2	519	59.7	36.2	4.0	87.3	9.2	3.5	64.7	32.0	3.3
		要支援 1	277	58.1	39.0	2.9	87.4	9.7	2.9	56.0	41.9	2.2
		要支援 2	242	61.6	33.1	5.4	87.2	8.7	4.1	74.8	20.7	4.5
	要介護	要介護 1・2	518	63.7	33.8	2.5	88.0	7.7	4.2	63.1	33.6	3.3
		要介護 1	301	60.5	37.2	2.3	89.0	8.0	3.0	62.8	34.6	2.7
		要介護 2	217	68.2	29.0	2.8	86.6	7.4	6.0	63.6	32.3	4.1

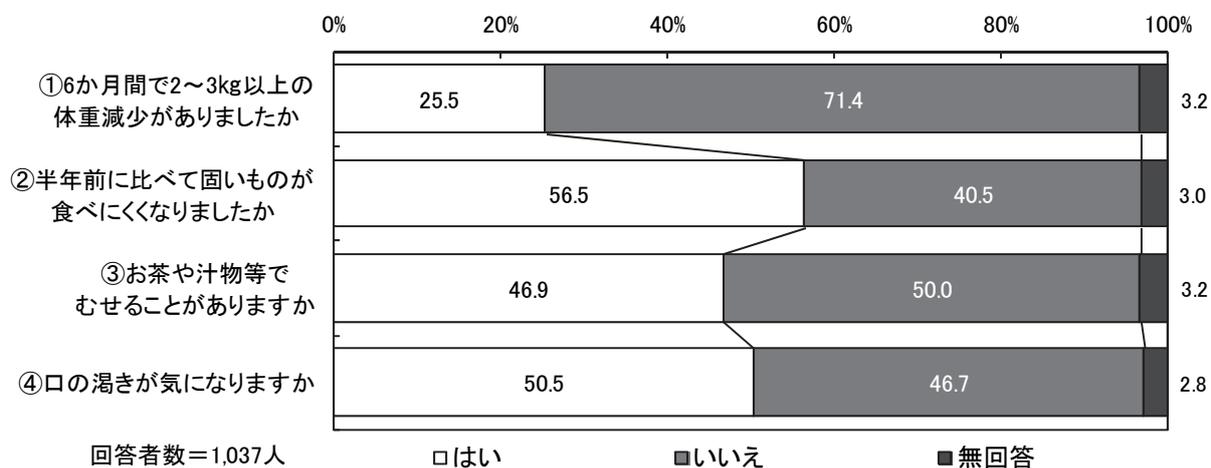
(6) 栄養や口腔機能の状況

問21 「栄養や口の健康」状況についてお答えください。(それぞれ1つに○)

要支援1から要介護2の人の栄養や口腔機能の状況をみると、栄養に関する“①最近6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか”に「はい」と回答した人の割合は、約4人に1人にあたる25.5%となっている。

口腔機能に関する②～④については、“②半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか”“④口の渇きが気になりますか”が5割台、“③お茶や汁物等でむせることがありますか”が4割台となっている。

図表3-40 栄養や口腔機能の状況(各単数回答)



要介護度別にみると、栄養に関する“①6 か月間で 2～3kg 以上体重が減った”に「はい」と回答した人の割合は、要介護 1・2 の人に比べて要支援 1・2 の人のほうが高くなっている。

口腔機能に関する②～④に「はい」と回答した人の割合は、②、③は介護度による顕著な差はみられないが、“④口の渇きが気になる”は要介護 1・2 の人に比べて要支援 1・2 の人のほうが高くなっている。

図表3-41 栄養や口腔機能の状況

		回答者数(人)	①6か月間で2～3kg以上体重が減った			②半年前に比べ固いものが食べにくい			
			はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	
全体		1,037	25.5	71.4	3.2	56.5	40.5	3.0	
要介護度別	要支援	要支援 1・2	519	27.2	69.0	3.9	57.2	39.3	3.5
		要支援 1	277	28.2	68.2	3.6	58.5	38.6	2.9
		要支援 2	242	26.0	69.8	4.1	55.8	40.1	4.1
	要介護	要介護 1・2	518	23.7	73.7	2.5	55.8	41.7	2.5
		要介護 1	301	22.9	74.1	3.0	55.5	42.2	2.3
		要介護 2	217	24.9	73.3	1.8	56.2	41.0	2.8

		回答者数(人)	③お茶や汁物でむせることがある			④口の渇きが気になる			
			はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	
全体		1,037	46.9	50.0	3.2	50.5	46.7	2.8	
要介護度別	要支援	要支援 1・2	519	46.8	49.5	3.7	56.5	40.3	3.3
		要支援 1	277	41.9	55.6	2.5	55.6	40.8	3.6
		要支援 2	242	52.5	42.6	5.0	57.4	39.7	2.9
	要介護	要介護 1・2	518	46.9	50.4	2.7	44.6	53.1	2.3
		要介護 1	301	43.2	54.8	2.0	44.2	53.5	2.3
		要介護 2	217	52.1	44.2	3.7	45.2	52.5	2.3

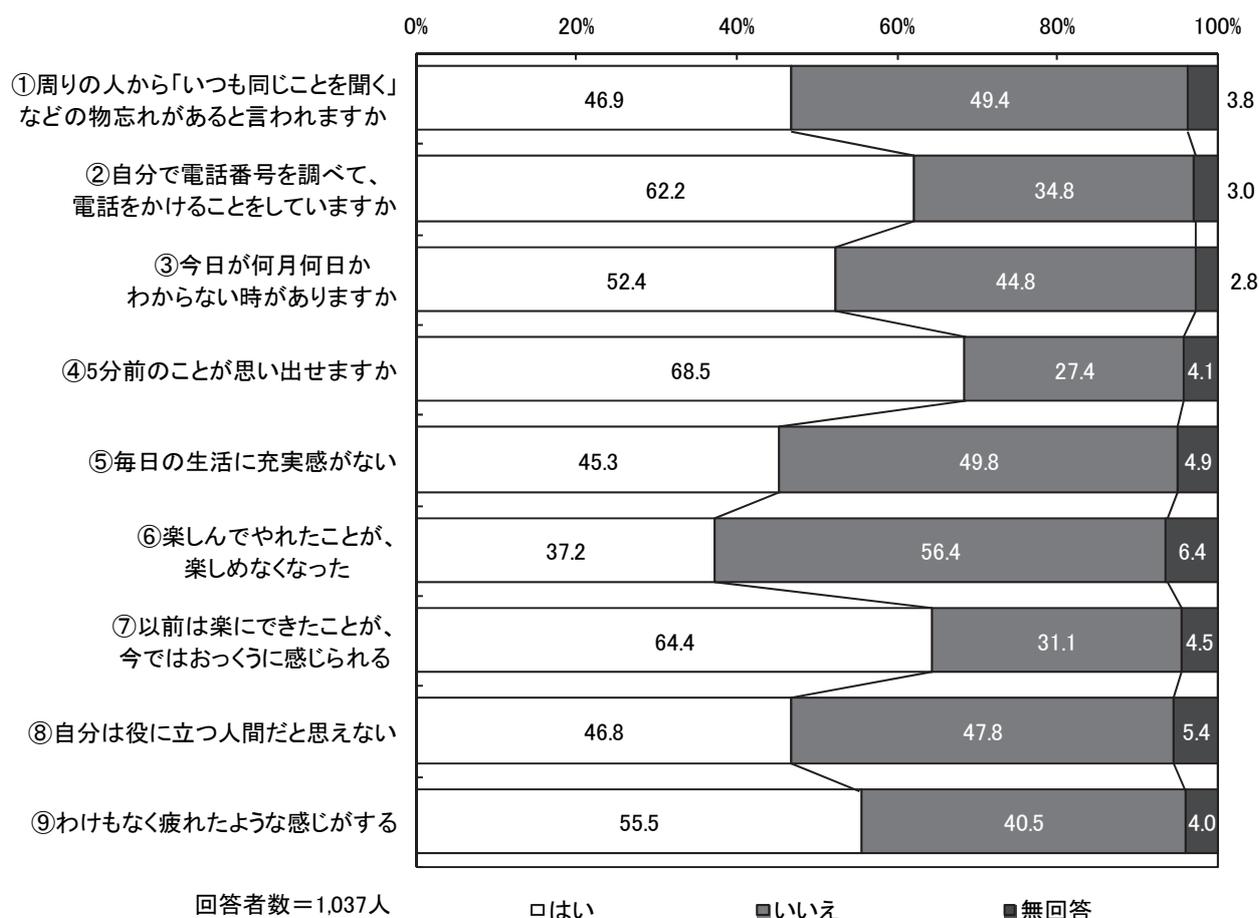
(7)物忘れや気分の状況

問23 「物忘れや気分」の状況についてお答えください。(それぞれ1つに○)

要支援1から要介護2の人の物忘れや気分の状況をみると、物忘れの状況に関する①～④のうち、肯定的な質問である“②自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか”“④5分前のことが思い出せますか”はともに6割台が「はい」と回答している。一方、否定的な質問である“①周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされますか”に「はい」は4割台、“③今日が何月何日かわからない時がありますか”は5割台を占める。

気分の状況に関する⑤～⑨について、「はい」と回答した人の割合は、もっとも低い“⑥楽しんでやれたことが、楽しめなくなった”が3割台、もっとも高い“⑦以前は楽にできたことが、今ではおっくうに感じられる”は6割台となっている。

図表3-42 物忘れや気分の状況(各単数回答)



要介護度別にみると、もの忘れの状況に関する①～④に「はい」と回答した人の割合は、肯定的な質問である②・④は介護度が低いほど、否定的な質問である①・③は介護度が高いほど高くなっている。

また、気分の状況に関する⑤～⑨のうち、“⑤毎日の生活に充実感がない” “⑧自分は役に立つ人間だと思えない” は、介護度が高くなるほど概ね「はい」と回答した人の割合も高くなっている。

図表3-43 物忘れや気分の状況

		回答者数(人)	①「いつも同じことを聞く」など物忘れがある			②自分で電話番号を調べ、電話をかける			③今日が何月何日かわからない時がある			
			はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	
全体		1,037	46.9	49.4	3.8	62.2	34.8	3.0	52.4	44.8	2.8	
要介護度別	要支援	要支援 1・2	519	36.2	59.0	4.8	77.3	18.7	4.0	46.1	50.3	3.7
		要支援 1	277	39.4	56.3	4.3	77.6	18.8	3.6	47.3	49.8	2.9
		要支援 2	242	32.6	62.0	5.4	76.9	18.6	4.5	44.6	50.8	4.5
	要介護	要介護 1・2	518	57.5	39.8	2.7	47.1	51.0	1.9	58.7	39.4	1.9
		要介護 1	301	55.5	42.2	2.3	52.5	45.8	1.7	56.5	41.9	1.7
		要介護 2	217	60.4	36.4	3.2	39.6	58.1	2.3	61.8	35.9	2.3

		回答者数(人)	④5分前のことが思い出せる			⑤毎日の生活に充実感がない			⑥楽しんでやれたことが、楽しめなくなった			
			はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	
全体		1,037	68.5	27.4	4.1	45.3	49.8	4.9	37.2	56.4	6.4	
要介護度別	要支援	要支援 1・2	519	78.2	17.3	4.4	44.1	49.5	6.4	36.4	57.6	6.0
		要支援 1	277	78.0	18.1	4.0	44.8	49.8	5.4	36.5	59.2	4.3
		要支援 2	242	78.5	16.5	5.0	43.4	49.2	7.4	36.4	55.8	7.9
	要介護	要介護 1・2	518	58.7	37.5	3.9	46.5	50.0	3.5	38.0	55.2	6.8
		要介護 1	301	60.8	35.9	3.3	46.2	51.2	2.7	39.5	55.1	5.3
		要介護 2	217	55.8	39.6	4.6	47.0	48.4	4.6	35.9	55.3	8.8

		回答者数(人)	⑦以前は楽にできた事が、おっくうに感じる			⑧自分は役に立つ人間だと思えない			⑨わけもなく疲れたような感じがする			
			はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	
全体		1,037	64.4	31.1	4.5	46.8	47.8	5.4	55.5	40.5	4.0	
要介護度別	要支援	要支援 1・2	519	65.3	29.7	5.0	44.7	48.9	6.4	57.0	38.2	4.8
		要支援 1	277	63.9	31.8	4.3	44.8	49.1	6.1	56.7	39.0	4.3
		要支援 2	242	66.9	27.3	5.8	44.6	48.8	6.6	57.4	37.2	5.4
	要介護	要介護 1・2	518	63.5	32.4	4.1	48.8	46.7	4.4	54.1	42.9	3.1
		要介護 1	301	64.1	32.2	3.7	47.5	48.2	4.3	54.5	42.2	3.3
		要介護 2	217	62.7	32.7	4.6	50.7	44.7	4.6	53.5	43.8	2.8

(8)その日の活動の判断の可否、意思の伝達の可否

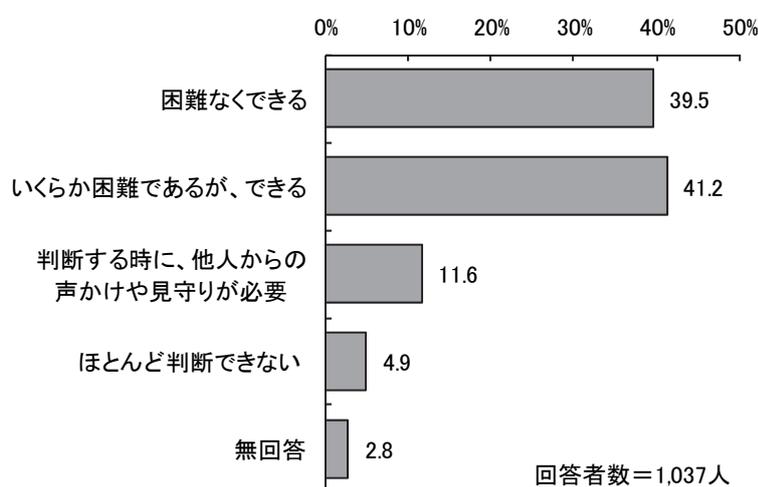
問24 あなた(あて名のご本人)は、その日の活動(食事をする、衣服を選ぶなど)を自分で判断できますか。(1つに○)

問25 あなた(あて名のご本人)は、人に自分の考えをうまく伝えられますか。(1つに○)

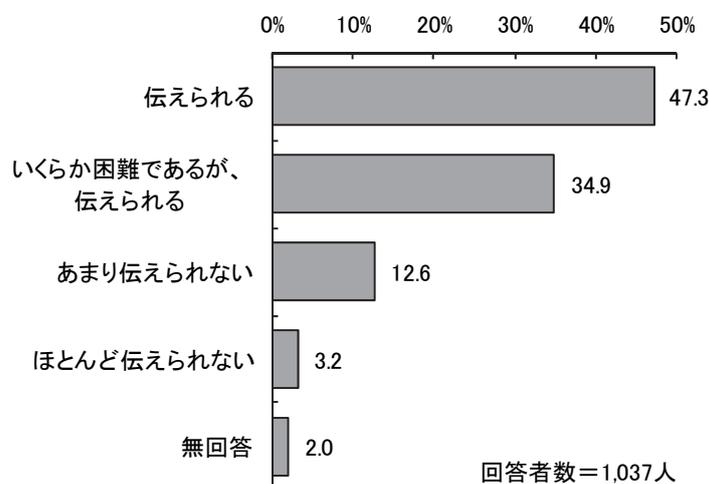
要支援 1 から要介護 2 の人のその日の活動の判断については、「困難なくできる」は 39.5%と約 4 割であり、「いくらか困難であるが、できる」41.2%、「判断する時に、他人からの声かけや見守りが必要」11.6%、「ほとんど判断できない」4.9%となっている。

意思の伝達については、「伝えられる」は 47.3%と 5 割弱であり、「いくらか困難であるが、伝えられる」34.9%、「あまり伝えられない」12.6%、「ほとんど伝えられない」3.2%となっている。

図表3-44 その日の活動の判断の可否(単数回答)



図表3-45 意思の伝達の可否(単数回答)



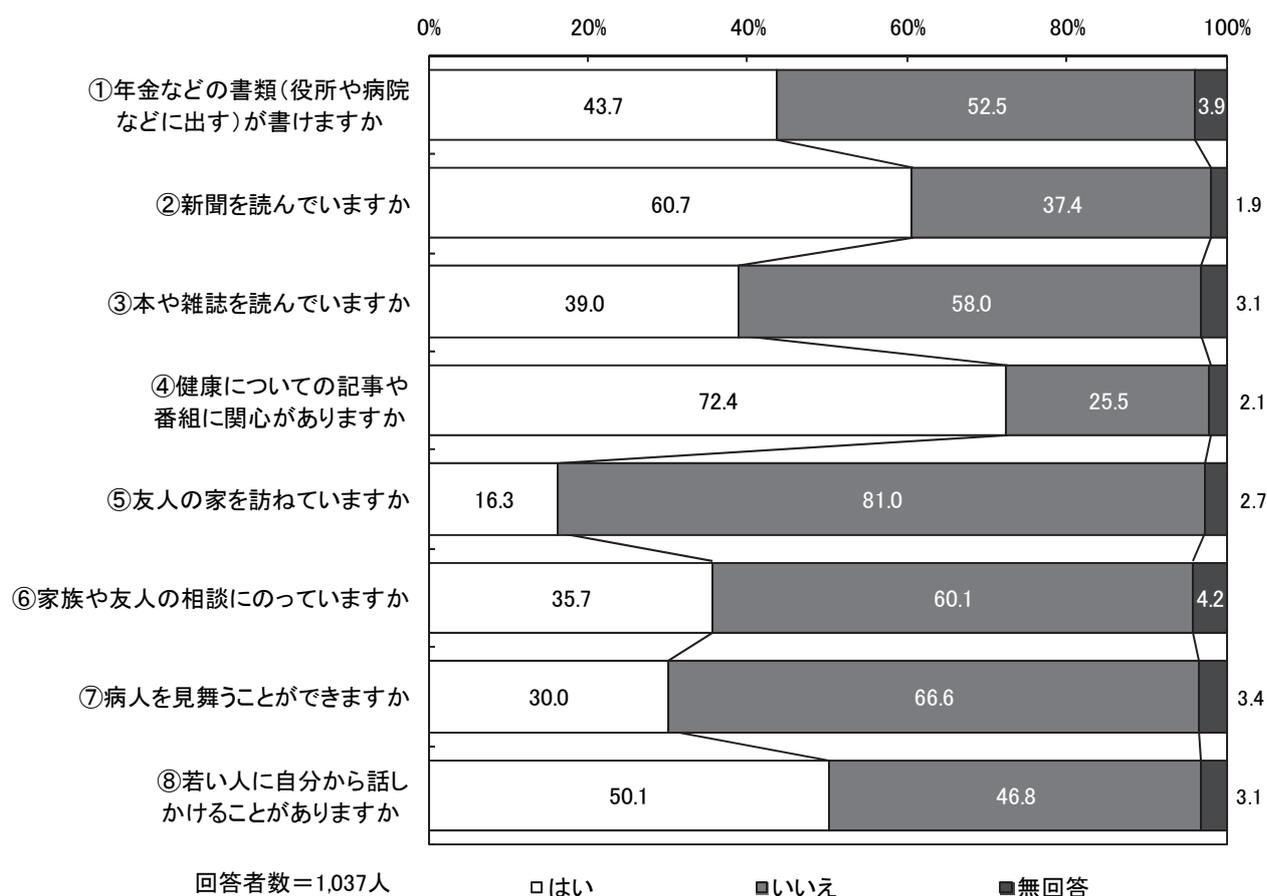
(9) 社会活動の状況

問22 「社会活動状況」についてお答えください(それぞれ1つに○)

要支援1から要介護2の人の社会活動の状況をみると、知的能動性（余暇や創作など生活を楽しむ能力）の状況に関する①～④について、「はい」と回答した人の割合は、もっとも高い“④健康についての記事や番組に関心がありますか”が7割台、もっとも低い“③本や雑誌を読んでいますか”は約4割となっている。

社会的役割（地域で社会的な役割を果たす能力）の状況に関する⑤～⑧について、「はい」と回答した人の割合は、もっとも高い“⑧若い人に自分から話しかけることがありますか”が約5割、もっとも低い“⑤友人の家を訪ねていますか”は1割台にとどまっている。

図表3-46 社会活動の状況(各単数回答)



要介護度別にみると、知的能動性の状況に関する①～④に「はい」と回答した人の割合は、いずれも介護度が高くなるほど低くなっている。特に“①年金などの書類を自分で書ける”は要支援1の6割台から要介護2では2割台となっている。

社会的役割の状況に関する⑤～⑧に「はい」と回答した人の割合も、同様に、いずれも介護度が高くなるほど低くなっている。

図表3-47 社会活動の状況

		回答者数(人)	①年金などの書類を自分で書ける			②新聞を読んでいる			③本や雑誌を読んでいる			④健康についての記事や番組に関心がある			
			はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	
全体		1,037	43.7	52.5	3.9	60.7	37.4	1.9	39.0	58.0	3.1	72.4	25.5	2.1	
要介護度別	要支援	要支援1・2	519	58.0	37.2	4.8	70.1	27.6	2.3	47.4	48.7	3.9	83.6	13.9	2.5
		要支援1	277	62.8	33.2	4.0	74.7	23.5	1.8	51.3	45.5	3.2	85.6	12.6	1.8
		要支援2	242	52.5	41.7	5.8	64.9	32.2	2.9	43.0	52.5	4.5	81.4	15.3	3.3
	要介護	要介護1・2	518	29.3	67.8	2.9	51.2	47.3	1.5	30.5	67.2	2.3	61.2	37.1	1.7
		要介護1	301	31.2	65.8	3.0	52.2	46.2	1.7	31.2	66.8	2.0	62.8	35.2	2.0
		要介護2	217	26.7	70.5	2.8	49.8	48.8	1.4	29.5	67.7	2.8	59.0	39.6	1.4
		回答者数(人)	⑤友人の家を訪ねている			⑥家族や友人の相談にのっている			⑦病人を見舞うことができる			⑧若い人に自分から話しかけることができる			
			はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	
全体		1,037	16.3	81.0	2.7	35.7	60.1	4.2	30.0	66.6	3.4	50.1	46.8	3.1	
要介護度別	要支援	要支援1・2	519	22.4	74.0	3.7	41.8	52.4	5.8	40.8	54.9	4.2	53.9	42.6	3.5
		要支援1	277	24.9	72.6	2.5	45.8	49.5	4.7	49.8	47.3	2.9	54.2	42.2	3.6
		要支援2	242	19.4	75.6	5.0	37.2	55.8	7.0	30.6	63.6	5.8	53.7	43.0	3.3
	要介護	要介護1・2	518	10.2	88.0	1.7	29.5	67.8	2.7	19.1	78.4	2.5	46.3	51.0	2.7
		要介護1	301	11.3	87.4	1.3	29.6	68.1	2.3	22.9	74.4	2.7	46.8	50.5	2.7
		要介護2	217	8.8	88.9	2.3	29.5	67.3	3.2	13.8	83.9	2.3	45.6	51.6	2.8

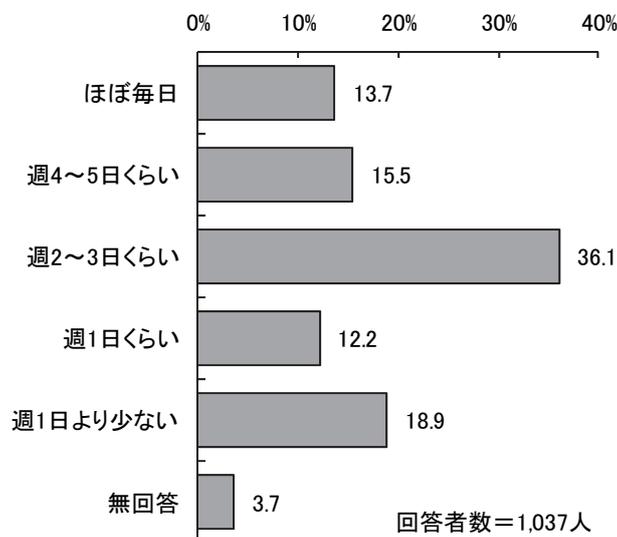
(10)外出頻度

問27 あなた(あて名のご本人)は、どのくらい外出をしていますか。(1つに○)

要支援1から要介護2の人の外出頻度は、「週2～3日くらい」36.1%がもっとも高い。閉じこもりのリスクのある「週1日より少ない」は18.9%と2割近くを占める。

要介護度別にみると、介護度が高くなるほど外出頻度は少なくなっており、「週1日より少ない」人の割合は、要支援1・2の人の1割台、要介護1・2の人の2割台となっている。

図表3-48 外出頻度(単数回答)



図表3-49 外出頻度(単数回答)

		回答者数(人)	ほぼ毎日	週4～5日くらい	週2～3日くらい	週1日くらい	週1日より少ない	無回答	
全体		1,037	13.7	15.5	36.1	12.2	18.9	3.7	
要介護度別	要支援	要支援1・2	519	16.8	17.3	34.3	11.0	16.2	4.4
		要支援1	277	21.7	18.4	33.6	8.3	13.7	4.3
		要支援2	242	11.2	16.1	35.1	14.0	19.0	4.5
	要介護	要介護1・2	518	10.6	13.7	37.8	13.3	21.6	2.9
		要介護1	301	10.0	14.0	39.2	12.0	21.6	3.3
		要介護2	217	11.5	13.4	35.9	15.2	21.7	2.3

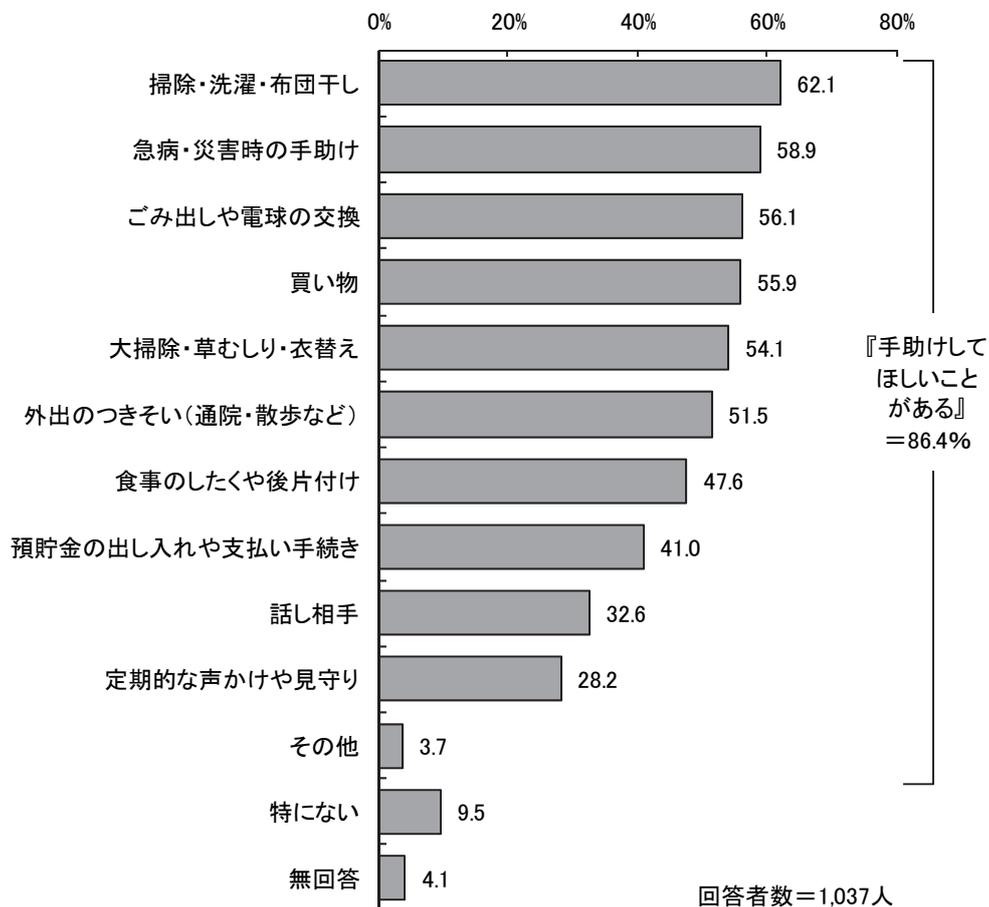
(11) 日常の中で手助けしてほしいこと

問26 あなた(あて名のご本人)は、日常生活の中で、手助けしてほしいと思うことがありますか。(あてはまるものすべてに○) 【比較調査243頁参照】

要支援1から要介護2の人が日常の中で手助けしてほしいことをみると、「特にない」は9.5%であり、86.4%が『手助けしてほしいことがある』と回答している。

具体的に手助けしてほしいことは、「掃除・洗濯・布団干し」62.1%、「急病・災害時の手助け」58.9%、「ごみ出しや電球の交換」56.1%が上位3項目となっている。

図表3-50 日常の中で手助けしてほしいこと(複数回答)



※『手助けしてほしいことがある』 = 100% - 「特にない」 - 「無回答」

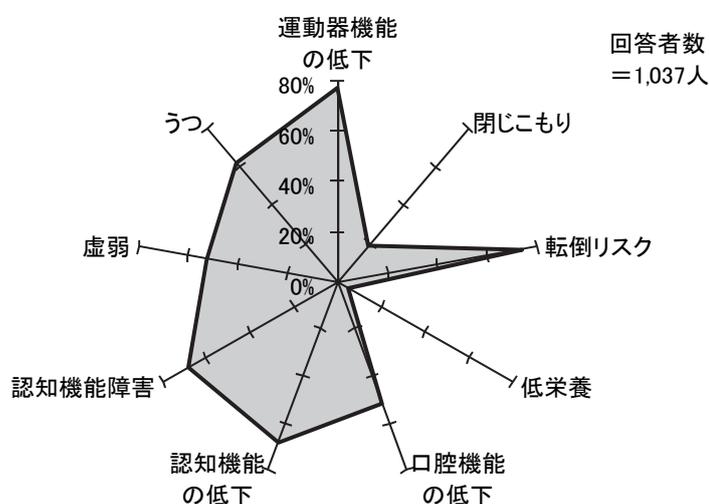
4. 日常生活機能の評価について

(1)生活機能の評価【比較調査 240 頁参照】

「3. 日常生活機能の状況について」の項の回答結果をもとに、参考資料の「1. 日常生活機能評価判定基準（1）生活機能」（353 ページ参照）に基づき生活機能の評価を行った。

結果、生活機能が低下している可能性がある（該当する）人の割合は、運動器機能の低下及び転倒リスクが7割台、認知機能の低下及び認知機能障害及びうつが6割台、口腔機能の低下及び虚弱（全般的な機能低下）が5割台、閉じこもりが18.9%、低栄養が4.9%となっている。

図表3-51 生活機能の評価



※各項目の「該当」の割合を掲載している

図表3-52 生活機能の評価

	回答者数(人)	該当	非該当	無回答
運動器機能の低下	1,037	77.2	16.0	6.8
閉じこもり	1,037	18.9	77.4	3.7
転倒リスク	1,037	73.9	17.4	8.8
低栄養	1,037	4.9	82.2	12.9
口腔機能の低下	1,037	51.4	43.9	4.7
認知機能の低下	1,037	67.9	27.0	5.1
認知機能障害	1,037	67.8	26.3	5.8
虚弱(全般的な機能低下)	1,037	52.3	22.3	25.5
うつ	1,037	61.9	28.1	10.0

生活機能が低下している可能性がある（該当する）人の割合を要介護度別にみると、運動器機能の低下、閉じこもり、転倒リスク、低栄養、認知機能の低下、認知機能障害及び虚弱（全般的な機能低下）に関しては、要支援1・2の人に比べて要介護1・2のほうが高くなっている。一方、口腔機能の低下及びうつは要支援1・2の人のほうが高くなっている。

図表3-53 生活機能の評価

		回答者数(人)	運動器機能の低下			閉じこもり			転倒リスク			
			該当	非該当	無回答	該当	非該当	無回答	該当	非該当	無回答	
全体		1,037	77.2	16.0	6.8	18.9	77.4	3.7	73.9	17.4	8.8	
要介護度別	要支援	要支援1・2	519	71.5	20.0	8.5	16.2	79.4	4.4	70.7	20.0	9.2
		要支援1	277	66.8	26.4	6.9	13.7	81.9	4.3	69.0	23.8	7.2
		要支援2	242	76.9	12.8	10.3	19.0	76.4	4.5	72.7	15.7	11.6
	要介護	要介護1・2	518	83.0	12.0	5.0	21.6	75.5	2.9	77.0	14.7	8.3
		要介護1	301	82.7	13.0	4.3	21.6	75.1	3.3	77.7	15.0	7.3
		要介護2	217	83.4	10.6	6.0	21.7	76.0	2.3	76.0	14.3	9.7

		回答者数(人)	低栄養			口腔機能の低下			認知機能の低下			
			該当	非該当	無回答	該当	非該当	無回答	該当	非該当	無回答	
全体		1,037	4.9	82.2	12.9	51.4	43.9	4.7	67.9	27.0	5.1	
要介護度別	要支援	要支援1・2	519	4.6	81.7	13.7	55.1	39.9	5.0	59.5	33.5	6.9
		要支援1	277	4.7	83.0	12.3	52.3	43.7	4.0	63.2	30.7	6.1
		要支援2	242	4.5	80.2	15.3	58.3	35.5	6.2	55.4	36.8	7.9
	要介護	要介護1・2	518	5.2	82.6	12.2	47.7	47.9	4.4	76.3	20.5	3.3
		要介護1	301	4.7	82.7	12.6	47.5	48.2	4.3	74.8	22.3	3.0
		要介護2	217	6.0	82.5	11.5	47.9	47.5	4.6	78.3	18.0	3.7

		回答者数(人)	認知機能障害							『低下者』	
			障害なし	境界的である	軽度の障害がある	中等度の障害がある	やや重度の障害がある	重度の障害がある	無回答		
全体		1,037	26.3	23.1	24.0	11.8	4.2	4.7	5.8	67.8	
要介護度別	要支援	要支援 1・2	519	34.9	25.2	25.4	5.0	1.2	2.3	6.0	59.1
		要支援 1	277	36.1	24.9	24.9	5.4	1.4	1.4	5.8	58.0
		要支援 2	242	33.5	25.6	26.0	4.5	0.8	3.3	6.2	60.2
	要介護	要介護 1・2	518	17.8	21.0	22.6	18.5	7.3	7.1	5.6	76.5
		要介護 1	301	19.6	21.9	25.2	18.6	5.6	4.3	4.7	75.6
		要介護 2	217	15.2	19.8	18.9	18.4	9.7	11.1	6.9	77.9

※『低下者』 = 「境界的である」 + 「軽度の障害がある」 + 「中等度の障害がある」
+ 「やや重度の障害がある」 + 「重度の障害がある」

		回答者数(人)	虚弱			うつ			
			該当	非該当	無回答	該当	非該当	無回答	
全体		1,037	52.3	22.3	25.5	61.9	28.1	10.0	
要介護度別	要支援	要支援 1・2	519	39.1	31.2	29.7	62.8	26.0	11.2
		要支援 1	277	35.7	37.5	26.7	65.3	25.6	9.0
		要支援 2	242	43.0	24.0	33.1	59.9	26.4	13.6
	要介護	要介護 1・2	518	65.4	13.3	21.2	61.0	30.1	8.9
		要介護 1	301	63.5	14.6	21.9	61.8	30.6	7.6
		要介護 2	217	68.2	11.5	20.3	59.9	29.5	10.6

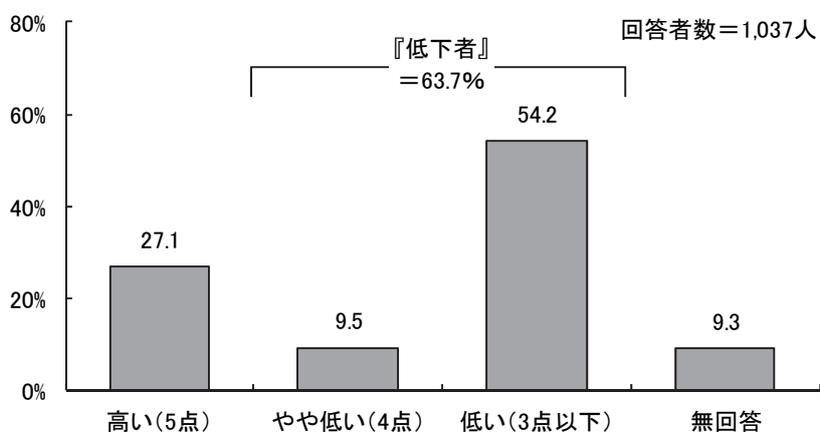
(2) 日常生活の自立度の評価【比較調査 241 参照】

「3. 日常生活機能の状況について」の(1)及び(2)の回答結果を、それぞれ参考資料の「1. 日常生活機能評価判定基準(2) 日常生活の自立度」(358 ページ参照)に基づき点数化し、日常生活の自立度の評価を行った。

手段的日常生活動作(IADL)の自立度が「高い(5点)」は27.1%であり、『低下者』の割合は63.7%となっている。

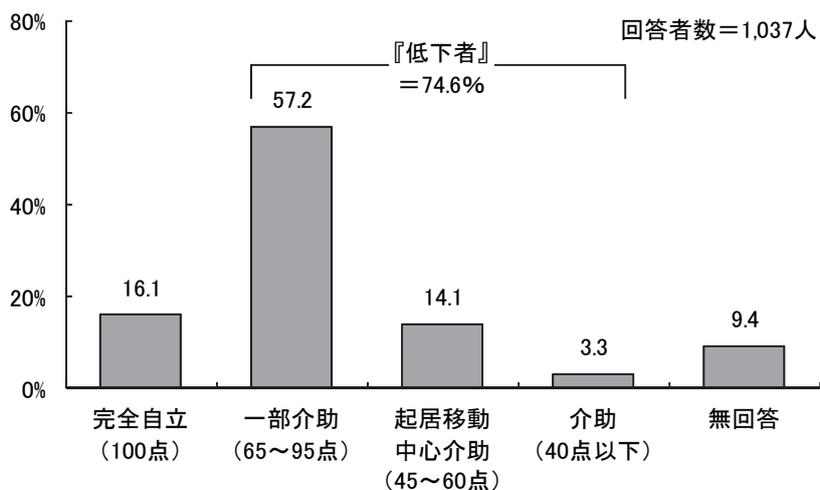
日常生活動作(ADL)の自立度が「完全自立(100点)」は16.1%であり、『低下者』の割合は74.6%となっている。

図表3-54 手段的日常生活動作(IADL)の自立度の評価



※『低下者』 = 「やや低い(4点)」 + 「低い(3点以下)」

図表3-55 日常生活動作(ADL)の自立度の評価



※『低下者』 = 「一部介助(65~95点)」 + 「起居移動中心介助(45~60点)」 + 「介助(40点以下)」

要介護度別にみると、手段的日常生活動作（IADL）の『低下者』の割合は、要支援1・2の人の46.8%、要介護1・2の人では80.5%にのぼる。

要介護度別にみると、日常生活動作（ADL）の自立度の『低下者』の割合は、要支援1・2の人で66.0%と6割を超え、要介護1・2の人では83.2%となっている。

図表3-56 日常生活の自立度の評価

			回答者数(人)	手段的日常生活動作(IADL)					日常生活動作(ADL)					
				高い(5点)	やや低い(4点)	低い(3点以下)	無回答	『低下者』	完全自立(100点)	一部介助(65~95点)	起居移動中心介助(45~60点)	介助(40点以下)	無回答	『低下者』
全体			1,037	27.1	9.5	54.2	9.3	63.7	16.1	57.2	14.1	3.3	9.4	74.6
要介護度別	要支援	要支援1・2	519	42.4	12.7	34.1	10.8	46.8	23.3	58.4	6.4	1.2	10.8	66.0
		要支援1	277	52.3	11.2	25.6	10.8	36.8	30.0	57.0	4.0	0.4	8.7	61.4
		要支援2	242	31.0	14.5	43.8	10.7	58.3	15.7	59.9	9.1	2.1	13.2	71.1
	要介護	要介護1・2	518	11.8	6.2	74.3	7.7	80.5	8.9	56.0	21.8	5.4	7.9	83.2
		要介護1	301	14.3	8.3	69.1	8.3	77.4	10.6	59.1	18.6	2.3	9.3	80.0
		要介護2	217	8.3	3.2	81.6	6.9	84.8	6.5	51.6	26.3	9.7	6.0	87.6

※手段的日常生活（IADL）『低下者』＝「やや低い（4点）」＋「低い（3点以下）」

※日常生活動作（ADL）『低下者』＝「一部介助（65～95点）」＋「起居移動中心介助（45～60点）」＋「介助（40点以下）」

(3) 社会参加の評価【比較調査 242 参照】

「3. 日常生活機能の状況について」の(9)の回答結果を、参考資料の「1. 日常生活機能評価判定基準(3) 社会参加」(360 ページ参照)に基づき点数化し、社会参加に関する評価を行った。

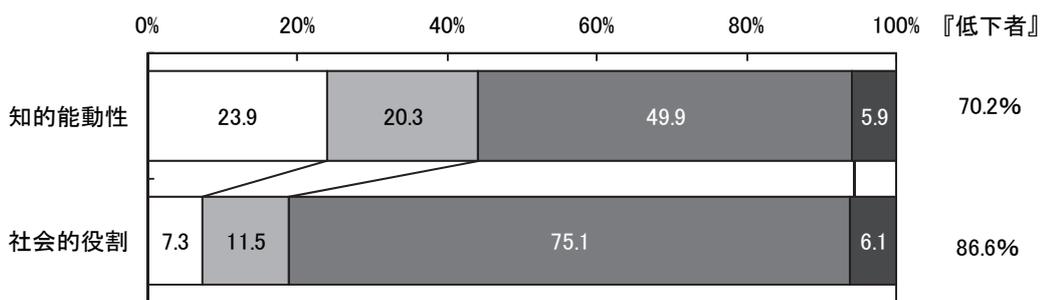
知的能動性は「高い(4点)」は23.9%であり、『低下者』の割合は70.2%となっている。

社会的役割は「高い(4点)」は7.3%と1割を下回り、『低下者』の割合は86.6%に達する。

要介護度別にみると、知的能動性『低下者』の割合は、要支援1・2の人の58.7%、要介護1・2の人の81.6%となっている。

社会的能動性『低下者』の割合は、要支援1・2の人の80.7%、要介護1・2の人では92.5%を占める。

図表3-57 社会参加の評価(各単数回答)



回答者数=1,037人 □高い(4点) □やや低い(3点) ■低い(2点以下) ■無回答

図表3-58 社会参加の評価

	回答者数(人)	知的能動性					社会的役割						
		高い(4点)	やや低い(3点)	低い(2点以下)	無回答	『低下者』	高い(4点)	やや低い(3点)	低い(2点以下)	無回答	『低下者』		
全体	1,037	23.9	20.3	49.9	5.9	70.2	7.3	11.5	75.1	6.1	86.6		
要介護度別	要支援	要支援1・2	519	33.9	22.5	36.2	7.3	58.7	11.2	15.0	65.7	8.1	80.7
		要支援1	277	37.9	24.2	32.1	5.8	56.3	12.3	17.7	63.2	6.9	80.9
		要支援2	242	29.3	20.7	40.9	9.1	61.6	9.9	12.0	68.6	9.5	80.6
	要介護	要介護1・2	518	13.9	18.1	63.5	4.4	81.6	3.5	7.9	84.6	4.1	92.5
		要介護1	301	14.0	20.9	60.1	5.0	81.0	3.3	9.3	83.1	4.3	92.4
		要介護2	217	13.8	14.3	68.2	3.7	82.5	3.7	6.0	86.6	3.7	92.6

※『低下者』 = 「やや低い(3点)」 + 「低い(2点以下)」

5. 介護サービスの利用状況・意向について

(1) 介護保険サービスの利用状況

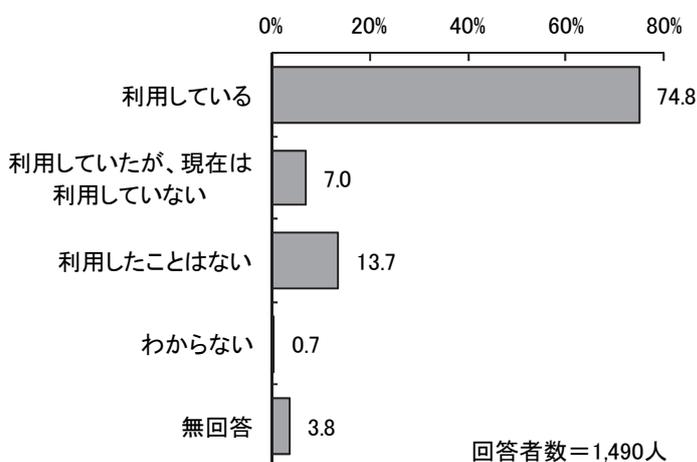
問28 あなた(あて名のご本人)は、現在、介護保険サービスを利用していますか。

(1つに○)

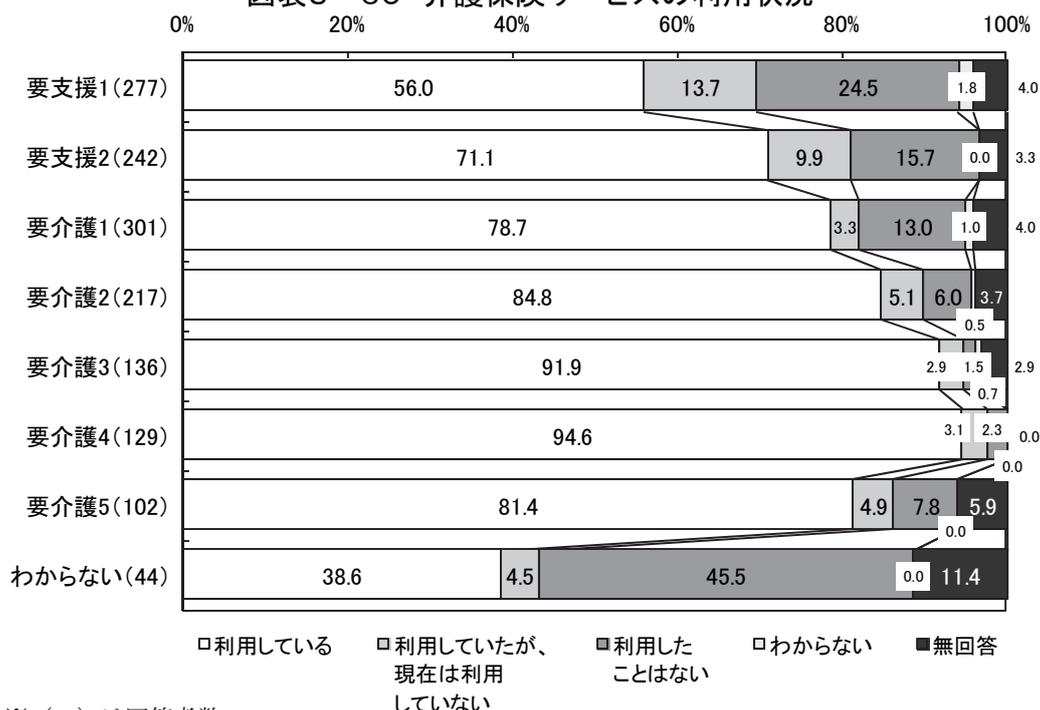
介護保険サービスの利用状況を見ると、「利用している」は74.8%であり、「利用したことはない」13.7%、「利用していたが、現在は利用していない」7.0%となっている。

要介護度別にみると、要支援1の人は「利用している」は5割台であり、「利用したことはない」が2割を超える。要支援2・要介護1の人は7割台、要介護2～5の人は8～9割台が「利用している」と回答している。

図表3-59 介護保険サービスの利用状況(単数回答)



図表3-60 介護保険サービスの利用状況



※ () は回答者数

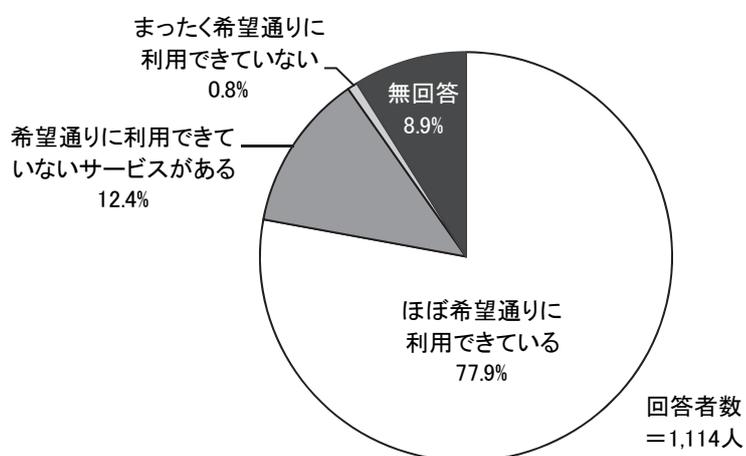
(2)介護保険サービス利用の満足度

問28-1 利用している方(問28で1に○)にうかがいます。あなた(あて名のご本人)は、希望通りに介護保険サービスを利用できていますか。(1つに○)

介護保険サービスを利用している人に満足度をたずねたところ、「ほぼ希望通りに利用できている」が77.9%を占める一方、「希望通りに利用できていないサービスがある」は12.4%、「まったく希望通りに利用できていない」は0.8%となっている。

要介護度別にみると、「ほぼ希望通りに利用できている」と回答した人の割合は、他に比べて要支援1・2の人に低く、要介護4・5の人に高くなっている。

図表3-61 介護保険サービス利用の満足度(単数回答)



図表3-62 介護保険サービス利用の満足度

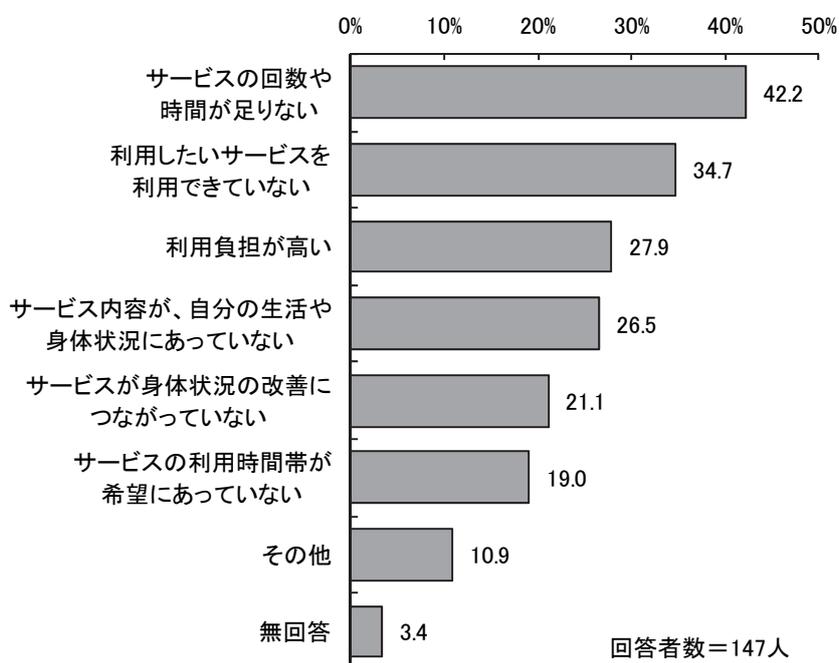
		回答者数(人)	ほぼ希望通りに利用できている	希望通りに利用できていないサービスがある	まったく希望通りに利用できていない	無回答
全体		1,114	77.9	12.4	0.8	8.9
要介護度別	要支援1	155	72.9	13.5	0.6	12.9
	要支援2	172	72.7	11.6	2.3	13.4
	要介護1	237	81.0	11.8	0.4	6.8
	要介護2	184	79.3	12.5	1.1	7.1
	要介護3	125	76.8	16.8	0.8	5.6
	要介護4	122	83.6	11.5	0.0	4.9
	要介護5	83	85.5	9.6	0.0	4.8
	わからない	17	47.1	11.8	0.0	41.2

(3) 希望通りに利用できていない理由

問28-2 希望通りに利用できていない方(問28-1で2・3に○)にうかがいます。希望通りに利用できていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

希望通りに利用できていないと回答した人にその理由をたずねたところ、「サービスの回数や時間が足りない」42.2%、「利用したいサービスを利用できていない」34.7%、「利用負担が高い」27.9%の順となっている。

図表3-63 希望通りに利用できていない理由(複数回答)



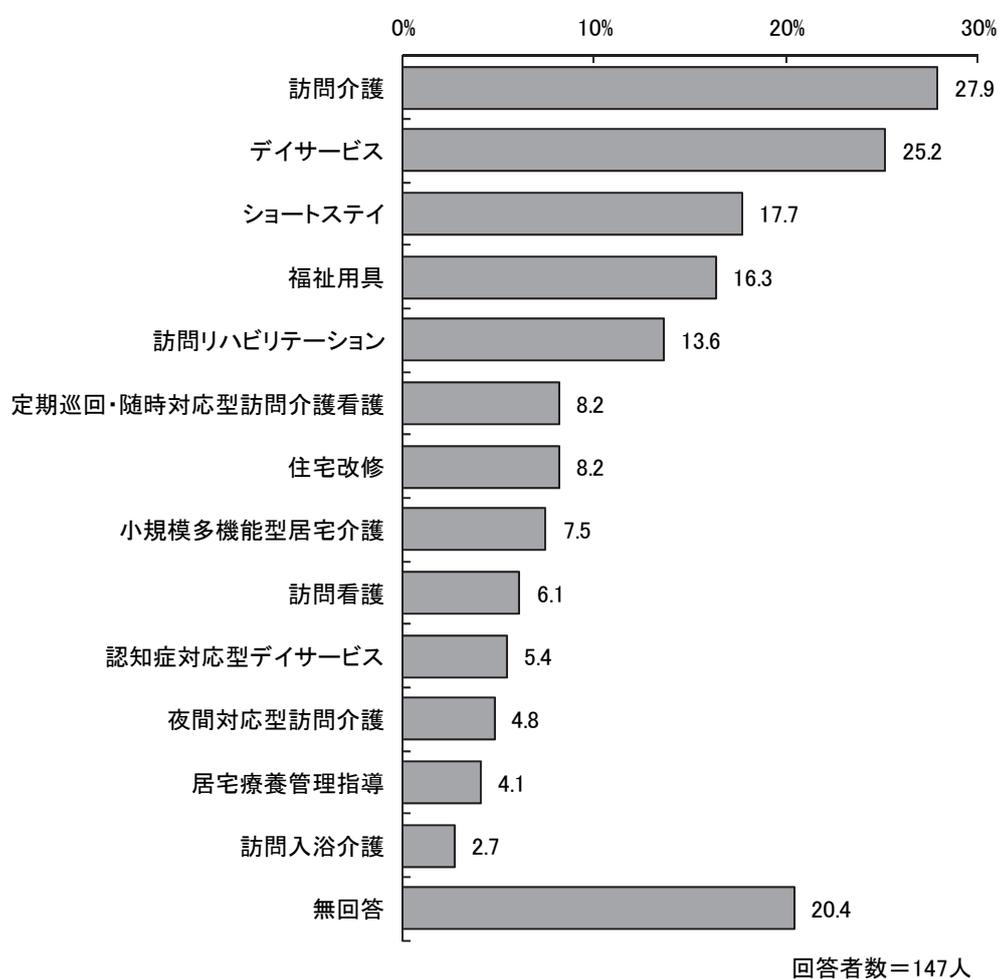
(4) 希望通りに利用できていないサービス

問28-3 希望通りに利用できていないサービス、不満を感じているサービスは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

希望通りに利用できていないと回答した人に、希望通りに利用できていないサービスをたずねたところ、「訪問介護」27.9%、「デイサービス」25.2%、「ショートステイ」17.7%、「福祉用具」16.3%、「訪問リハビリテーション」13.6%の順となっている。

図表3-64 希望通りに利用できていないサービス(複数回答)

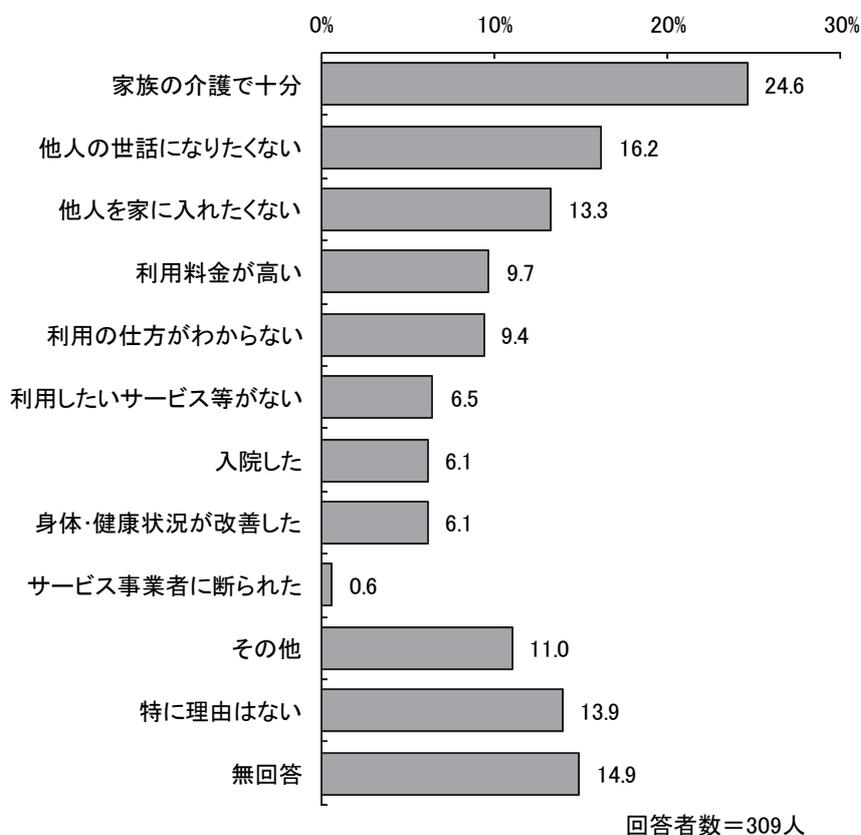


(5) サービスを利用していない理由

問29 介護保険サービスを利用していない方(問28で2・3に○)にうかがいます。あなた(あて名のご本人)が、介護保険サービスを利用していないのはなぜですか。
(あてはまるものすべてに○)

介護保険サービスを利用していない人にその理由をたずねたところ、「家族の介護で十分」24.6%がもっとも高く、次いで「他人の世話になりたくない」16.2%、「他人を家に入れたくない」13.3%の順となっている。

図表3-65 サービスを利用していない理由(複数回答)



要介護度別にみると、要支援1～要介護2の人は「家族の介護で十分」、要介護3～5の人は「入院した」が、それぞれもっとも高い割合となっている。

図表3-66 サービスを利用していない理由

	回答者数(人)	家族の介護で十分	他人の世話になりたくない	他人を家に入れたくない	利用料金が高い	利用の仕方がわからない	利用したいサービス等がない	入院した	身体・健康状況が改善した	サービス事業者に断られた	その他	特に理由はない	無回答
全体	309	24.6	16.2	13.3	9.7	9.4	6.5	6.1	6.1	0.6	11.0	13.9	14.9
要介護度別	要支援1	106	22.6	17.0	9.4	9.4	8.5	3.8	4.7	0.9	12.3	17.0	14.2
	要支援2	62	32.3	8.1	16.1	8.1	11.3	4.8	1.6	6.5	1.6	11.3	12.9
	要介護1	49	28.6	24.5	26.5	16.3	14.3	8.2	0.0	8.2	0.0	8.2	10.2
	要介護2	24	37.5	12.5	16.7	4.2	0.0	4.2	4.2	8.3	0.0	12.5	12.5
	要介護3	6	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0
	要介護4	7	14.3	28.6	0.0	14.3	0.0	14.3	57.1	0.0	0.0	14.3	0.0
	要介護5	13	15.4	7.7	15.4	0.0	0.0	0.0	53.8	0.0	0.0	15.4	0.0
	わからない	22	18.2	13.6	0.0	4.5	13.6	4.5	0.0	9.1	0.0	4.5	18.2

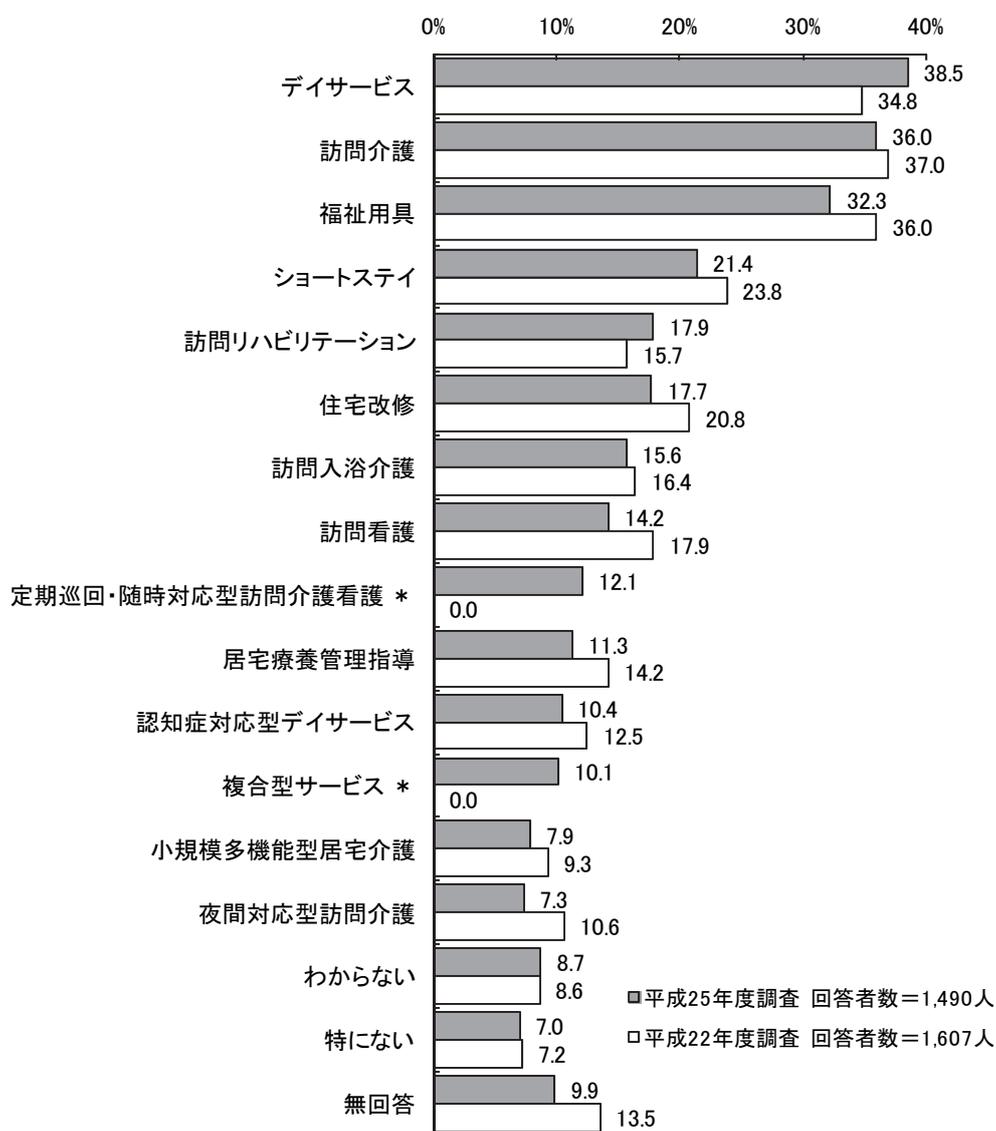
(6) 今後利用したい介護保険サービス

問30 あなた(あて名のご本人)は、今後、ご自宅で生活するうえで、どのような介護保険サービスを利用したい(し続けたい)と思いますか。(あてはまるものすべてに○)

今後利用したい介護保険サービスは、「デイサービス」38.5%、「訪問介護」36.0%、「福祉用具」32.3%が上位3位となっている。次いで、「ショートステイ」21.4%、「訪問リハビリテーション」17.9%が続いている。

平成22年度調査結果と比較すると、上位4項目は前回と同様の結果となっている。前回第3位だった「デイサービス」が3.7ポイント増加し今回第1位となっている。また、「訪問リハビリテーション」が2.2ポイント増加し、前回の第8位から第5位となっている。

図表3-67 今後利用したい介護保険サービス(複数回答)＜平成22年度調査との比較＞



※※ 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」「複合型サービス」の選択肢は平成25年度調査のみ

世帯構成別にみると、ひとり暮らしの人は「訪問介護」「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」「夜間対応型訪問介護」、子どもや孫との同居世帯の人は「デイサービス」「福祉用具」「ショートステイ」などの利用意向が、それぞれ他に比べて高くなっている。

要介護度別にみると、「訪問介護」「訪問入浴介護」「訪問看護」「定期巡回・随時対応型訪問介護」は、いずれも要介護5の人の利用意向がもっとも高い。また、「デイサービス」は要介護3、「ショートステイ」は要介護4の人の利用意向がそれぞれもっとも高くなっている。

図表3-68 今後利用したい介護保険サービス

		回答者数(人)	デイサービス	訪問介護	福祉用具	ショートステイ	訪問リハビリテーション	住宅改修	訪問入浴介護	訪問看護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	居宅療養管理指導	認知症対応型デイサービス	複合型サービス	小規模多機能型居宅介護	夜間対応型訪問介護	わからない
全体		1,490	38.5	36.0	32.3	21.4	17.9	17.7	15.6	14.2	12.1	11.3	10.4	10.1	7.9	7.3	8.7
世帯構成別	ひとり暮らし	337	36.2	50.4	27.0	13.6	12.5	17.2	10.4	10.1	13.1	9.5	6.5	7.1	5.9	11.0	9.5
	夫婦のみ	376	33.2	37.0	29.5	17.8	19.7	19.7	16.2	14.6	14.1	11.4	9.6	10.9	8.0	8.2	10.4
	子どもと同居	453	41.7	33.8	36.0	24.1	19.2	16.8	17.0	15.5	10.4	10.6	10.8	11.3	8.2	5.3	7.3
	子どもと孫と同居	212	45.3	22.6	39.6	30.7	21.2	16.0	20.8	19.3	10.8	14.6	14.2	12.3	9.4	5.2	6.1
	その他	80	43.8	22.5	28.8	32.5	16.3	21.3	12.5	8.8	13.8	12.5	15.0	8.8	10.0	6.3	12.5
要介護度別	要支援1	277	30.0	31.0	21.3	11.9	9.7	14.8	9.0	9.7	12.6	5.4	4.7	5.8	4.7	7.2	12.6
	要支援2	242	28.1	38.0	28.1	9.1	14.0	16.9	8.3	9.1	8.7	7.4	0.8	5.0	3.7	5.0	10.7
	要介護1	301	44.9	38.2	30.9	21.3	18.3	19.3	12.3	10.3	11.0	10.0	13.6	10.0	9.0	6.6	8.6
	要介護2	217	44.2	34.6	35.9	27.2	21.7	22.1	18.9	14.3	13.4	14.7	17.1	17.1	12.0	8.8	5.5
	要介護3	136	54.4	36.0	42.6	39.0	23.5	17.6	16.2	15.4	14.7	11.8	15.4	16.2	15.4	11.0	4.4
	要介護4	129	53.5	41.9	50.4	39.5	29.5	20.9	32.6	30.2	12.4	24.0	19.4	15.5	9.3	8.5	4.7
	要介護5	102	35.3	49.0	48.0	30.4	27.5	14.7	42.2	35.3	20.6	22.5	8.8	9.8	5.9	8.8	5.9
	わからない	44	13.6	13.6	9.1	2.3	2.3	4.5	2.3	4.5	9.1	2.3	2.3	6.8	2.3	4.5	20.5

※「特になし」「無回答」は掲載を省略している

※世帯構成別の「親と同居」「親と子どもと同居」は「その他」に含めて集計している

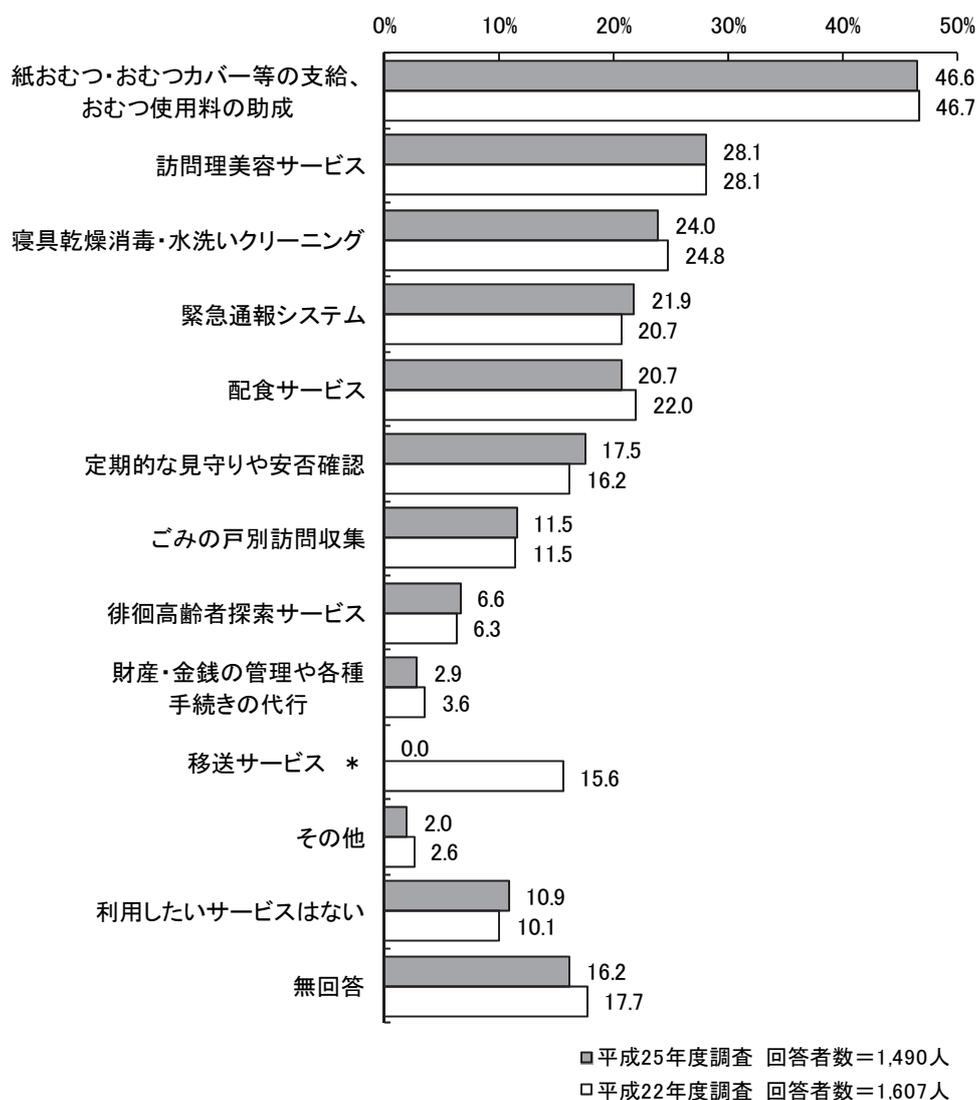
(7) 今後利用したい介護保険外サービス

問31 あなた(あて名のご本人)は、今後、ご自宅で生活するうえで、江戸川区が実施する介護保険以外のサービスについて、利用したいサービスはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

今後利用したい介護保険外サービスは、「紙おむつ・おむつカバー等の支給、おむつ使用料の助成」46.6%がもっとも高い。次いで、「訪問理美容サービス」28.1%、「寝具乾燥消毒・水洗いクリーニング」24.0%、「緊急通報システム」21.9%、「配食サービス」20.7%が2割台で続いている。

平成22年度調査結果と比較すると、「緊急システム」と「配食サービス」の順位が入れ替わっているものの、ほぼ同様の結果となっている。

図表3-69 今後利用したい介護保険外サービス(複数回答) <平成22年度調査との比較>



※* 「移送サービス」の選択肢は平成22年度調査のみ

世帯構成別にみると、ひとり暮らしの人は他に比べて「緊急通報システム」「定期的な見守りや安否確認」「配食サービス」「ごみの戸別訪問収集」などの生活支援サービスに対する利用意向が高くなっている。

要介護度別にみると、要支援 1～要介護 1 の人は「紙おむつ・おむつカバー等の支給、おむつ使用料の助成」「緊急通報システム」「訪問理美容サービス」、要介護 2～5 の人は「紙おむつ・おむつカバー等の支給、おむつ使用料の助成」「訪問理美容サービス」「寝具乾燥消毒・水洗いクリーニング」が、それぞれ上位 3 位となっている。

図表3-70 今後利用したい介護保険外サービス

		回答者数(人)	紙おむつ・おむつカバー等の支給、おむつ使用料の助成	訪問理美容サービス	寝具乾燥消毒・水洗いクリーニング	緊急通報システム	配食サービス	定期的な見守りや安否確認	ごみの戸別訪問収集	徘徊高齢者探索サービス	財産・金銭の管理や各種手続きの代行	その他	利用したいサービスはない	無回答
全体		1,490	46.6	28.1	24.0	21.9	20.7	17.5	11.5	6.6	2.9	2.0	10.9	16.2
世帯構成別	ひとり暮らし	337	34.7	22.3	24.3	29.1	24.9	27.9	23.7	5.0	4.7	3.3	9.8	15.7
	夫婦のみ	376	42.6	27.7	25.5	26.6	23.1	20.7	13.3	9.6	2.7	1.9	11.7	16.2
	子どもと同居	453	52.8	29.8	22.3	17.9	18.3	12.1	5.7	5.5	2.2	1.3	11.3	14.6
	子どもと孫と同居	212	59.4	35.8	25.0	14.6	15.6	7.5	1.9	8.5	2.4	0.9	12.7	14.2
	その他	80	55.0	31.3	27.5	17.5	21.3	16.3	10.0	1.3	2.5	5.0	7.5	18.8
要介護度別	要支援 1	277	32.9	20.6	20.2	23.1	20.2	19.5	9.0	6.5	1.8	1.8	12.6	20.9
	要支援 2	242	29.8	21.9	21.1	22.7	21.1	18.2	12.4	3.7	2.9	3.3	12.0	22.7
	要介護 1	301	43.2	28.2	22.9	24.3	22.9	18.3	16.3	7.3	3.7	1.0	13.3	13.0
	要介護 2	217	50.7	29.5	29.5	24.0	20.3	18.9	11.1	10.1	2.8	1.4	10.1	12.9
	要介護 3	136	67.6	37.5	28.7	18.4	22.8	22.1	13.2	10.3	4.4	1.5	7.4	8.8
	要介護 4	129	80.6	48.1	32.6	24.0	20.2	11.6	7.8	4.7	3.1	2.3	3.1	5.4
	要介護 5	102	71.6	38.2	24.5	15.7	19.6	8.8	2.9	2.0	1.0	2.0	4.9	14.7
	わからない	44	22.7	9.1	11.4	15.9	11.4	15.9	13.6	9.1	6.8	6.8	27.3	25.0

※世帯構成別の「親と同居」「親と子どもと同居」は「その他」に含めて集計している

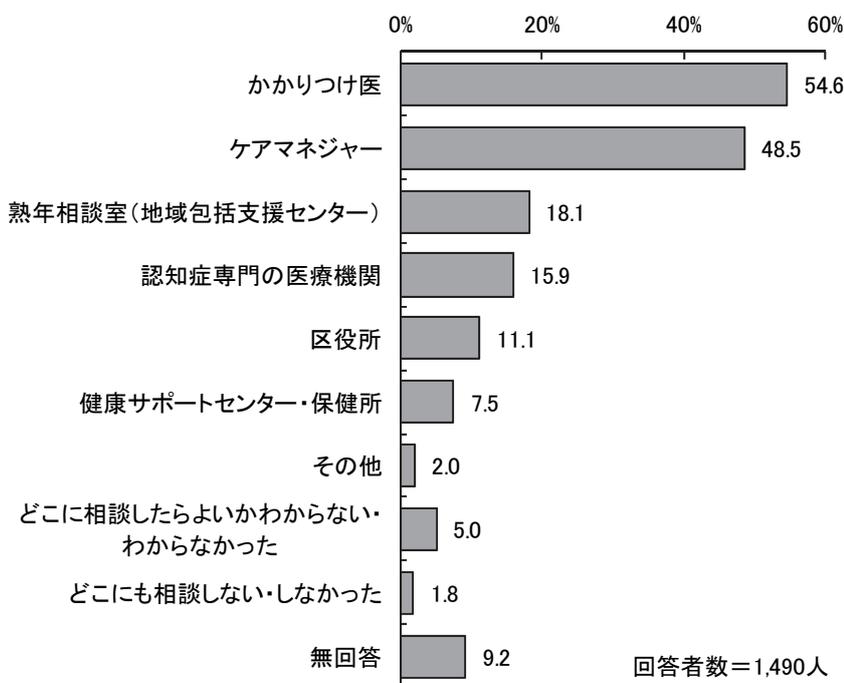
6. 認知症や権利擁護について

(1) 認知症に関する相談先

問32 あなた(あて名のご本人)やご家族に認知症の不安が生じた場合、どこに相談しますか・しましたか。(あてはまるものすべてに○) 【比較調査246頁参照】

認知症に関する相談先は、「かかりつけ医」54.6%に次いで、「ケアマネジャー」が48.5%、「熟年相談室(地域包括支援センター)」が18.1%、「認知症専門の医療機関」15.9%などとなっている。「どこに相談したらよいかわからない・わからなかった」は5.0%であった。

図表3-71 認知症に関する相談先(複数回答)

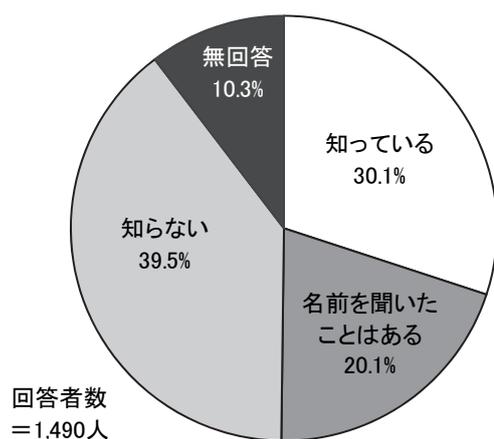


(2) 成年後見制度の認知度

問33 あなた(あて名のご本人)は、認知症などにより判断能力が十分でない人に、本人の権利を守るための援助者を選び、法律面や生活面を支援する「成年後見制度」を知っていますか。(1つに○) 【比較調査247頁参照】

成年後見制度の認知度は、「知っている」30.1%、「名前を聞いたことはある」20.1%であり、「知らない」が39.5%を占める。

図表3-72 成年後見制度の認知度(単数回答)

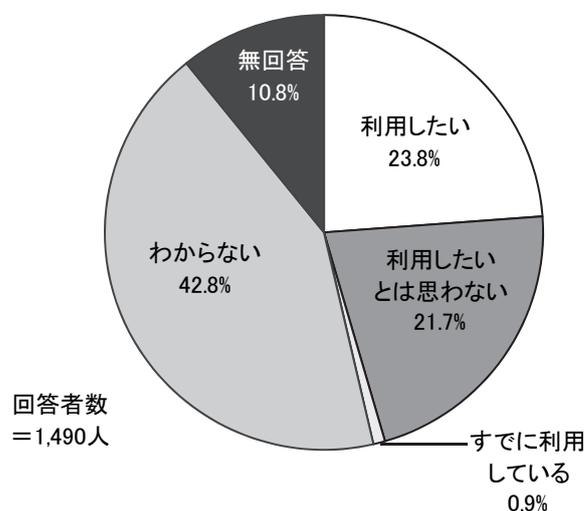


(3) 成年後見制度の利用意向

問34 あなた(あて名のご本人)やご家族が、認知症などにより判断能力が十分でなくなってきた場合に、「成年後見制度」を利用したいと思いますか。(1つに○) 【比較調査247頁参照】

成年後見制度の利用意向は、「利用したい」は23.8%、「利用したいとは思わない」は21.7%となっている。

図表3-73 成年後見制度の利用意向(単数回答)

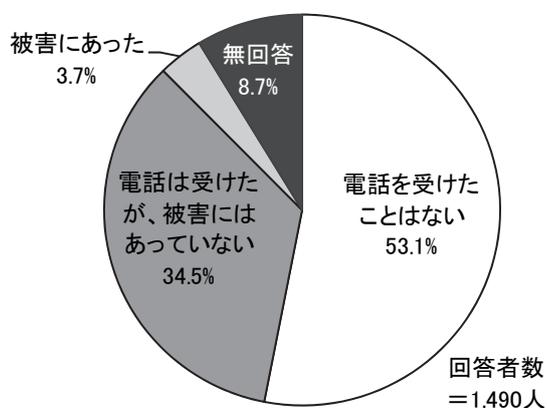


(4) サギ・悪質商法の電話を受けた経験

問35 あなた(あて名のご本人)は、これまでにサギ・悪質商法の電話を受けたことがありますか。(1つに○) 【比較調査248頁参照】

サギ・悪質商法の電話を受けた経験は、「電話を受けたことはない」が53.1%と過半数を占める一方、「電話は受けたが、被害にはあっていない」は34.5%が、「被害にあった」は3.7%となっている。

図表3-74 サギ・悪質商法の電話を受けた経験(単数回答)



7. 今後の暮らしや介護について

(1) 今後介護を受けたい場所

問36 あなた(あて名のご本人)は、今後どのように暮らしたいですか。

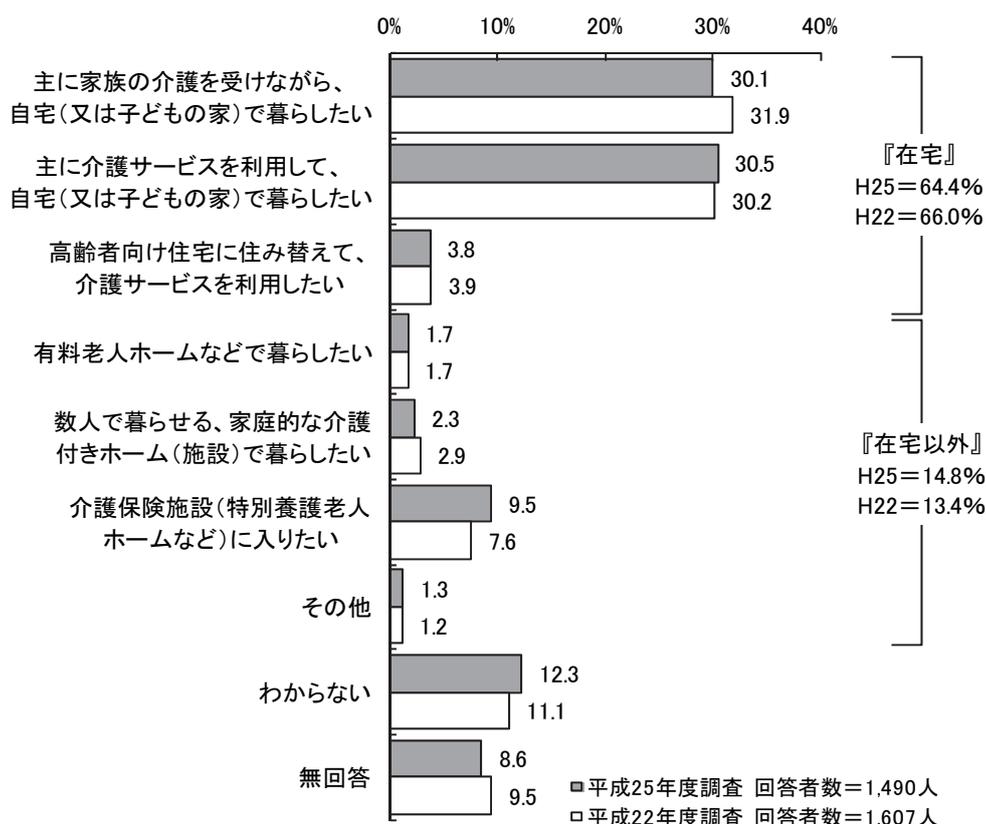
(もっとも近い考え1つに○)

【比較調査249頁参照】

今後介護を受けたい場所は、「主に介護サービスを利用して、自宅（又は子どもの家）で暮らしたい」30.5%、「主に家族の介護を受けながら、自宅（又は子どもの家）で暮らしたい」30.1%に次いで、「介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入りたい」が9.5%となっている。『在宅』での暮らしを希望している人の割合は64.4%、『在宅以外』を希望する人の割合は14.8%となっている。

平成22年度調査結果と比較すると、『在宅』を希望する人の割合は1.6ポイント減少し、『在宅以外』を希望する人の割合が1.4ポイント増加している。具体的には、「介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入りたい」が1.9ポイント増加している。

図表3-75 今後介護を受けたい場所(単数回答)＜平成22年度調査との比較＞



※『在宅』＝「主に家族の介護を受けながら、自宅（又は子どもの家）で暮らしたい」
＋「主に介護サービスを利用して、自宅（又は子どもの家）で暮らしたい」
＋「高齢者向け住宅に住み替えて、介護サービスを利用したい」

※『在宅以外』＝「有料老人ホームなどで暮らしたい」
＋「数人で暮らせる、家庭的な介護付きホーム（施設）で暮らしたい」
＋「介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入りたい」＋「その他」

世帯構成別にみると、ひとり暮らしの人は『在宅』希望は47.5%と5割を下回り、他に比べて「介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入りたい」「有料老人ホームなどで暮らしたい」割合が高くなっている。一方、夫婦のみ世帯の人の6割台、子どもや孫との同居世帯の人では7割台が『在宅』を希望している。

図表3-76 今後介護を受けたい場所

		回答者数(人)	主に家族の介護を受けながら、自宅(又は子ども)で暮らしたい	主に介護サービスを利用して、自宅(又は子ども)で暮らしたい	高齢者向け住宅に住み替えて、介護サービスを利用したい	有料老人ホームなどで暮らしたい	数人で暮らせる、家庭的な介護付きホーム(施設)で暮らしたい	介護保険施設(特別養護老人ホームなど)に入りたい	その他	わからない	無回答	在宅	在宅以外
全体		1,490	30.1	30.5	3.8	1.7	2.3	9.5	1.3	12.3	8.6	64.4	14.8
世帯構成別	ひとり暮らし	337	10.1	30.6	6.8	4.5	3.6	12.2	2.7	19.9	9.8	47.5	23.0
	夫婦のみ	376	30.3	29.5	4.8	1.9	1.9	8.5	1.3	13.8	8.0	64.6	13.6
	子どもと同居	453	40.4	30.9	2.0	0.7	1.3	8.8	0.4	7.7	7.7	73.3	11.2
	子どもと孫と同居	212	40.1	34.4	1.9	0.5	1.9	8.0	0.5	7.1	5.7	76.4	10.9
	その他	80	30.0	28.8	1.3	0.0	7.5	10.0	2.5	12.5	7.5	60.1	20.0
要介護度別	要支援1	277	23.8	26.4	4.7	1.8	4.0	9.7	1.4	18.4	9.7	54.9	16.9
	要支援2	242	24.4	28.9	5.4	3.3	4.1	10.3	1.2	13.6	8.7	58.7	18.9
	要介護1	301	34.9	30.9	4.7	2.0	1.3	6.0	1.7	9.6	9.0	70.5	11.0
	要介護2	217	35.5	35.9	4.1	0.9	1.4	8.3	0.9	6.9	6.0	75.5	11.5
	要介護3	136	28.7	36.0	2.2	0.0	2.9	16.2	0.7	8.8	4.4	66.9	19.8
	要介護4	129	41.1	32.6	1.6	0.8	1.6	11.6	0.0	7.0	3.9	75.3	14.0
	要介護5	102	27.5	35.3	0.0	2.9	0.0	11.8	1.0	12.7	8.8	62.8	15.7
	わからない	44	27.3	15.9	2.3	0.0	2.3	4.5	2.3	27.3	18.2	45.5	9.1

※『在宅』＝「主に家族の介護を受けながら、自宅（又は子ども）で暮らしたい」
 ＋「主に介護サービスを利用して、自宅（又は子ども）で暮らしたい」
 ＋「高齢者向け住宅に住み替えて、介護サービスを利用したい」

※『在宅以外』＝「有料老人ホームなどで暮らしたい」
 ＋「数人で暮らせる、家庭的な介護付きホーム（施設）で暮らしたい」
 ＋「介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入りたい」＋「その他」

※世帯構成別の「親と同居」「親と子どもと同居」は「その他」に含めて集計している

(2) 在宅で暮らし続けるために必要と思うこと

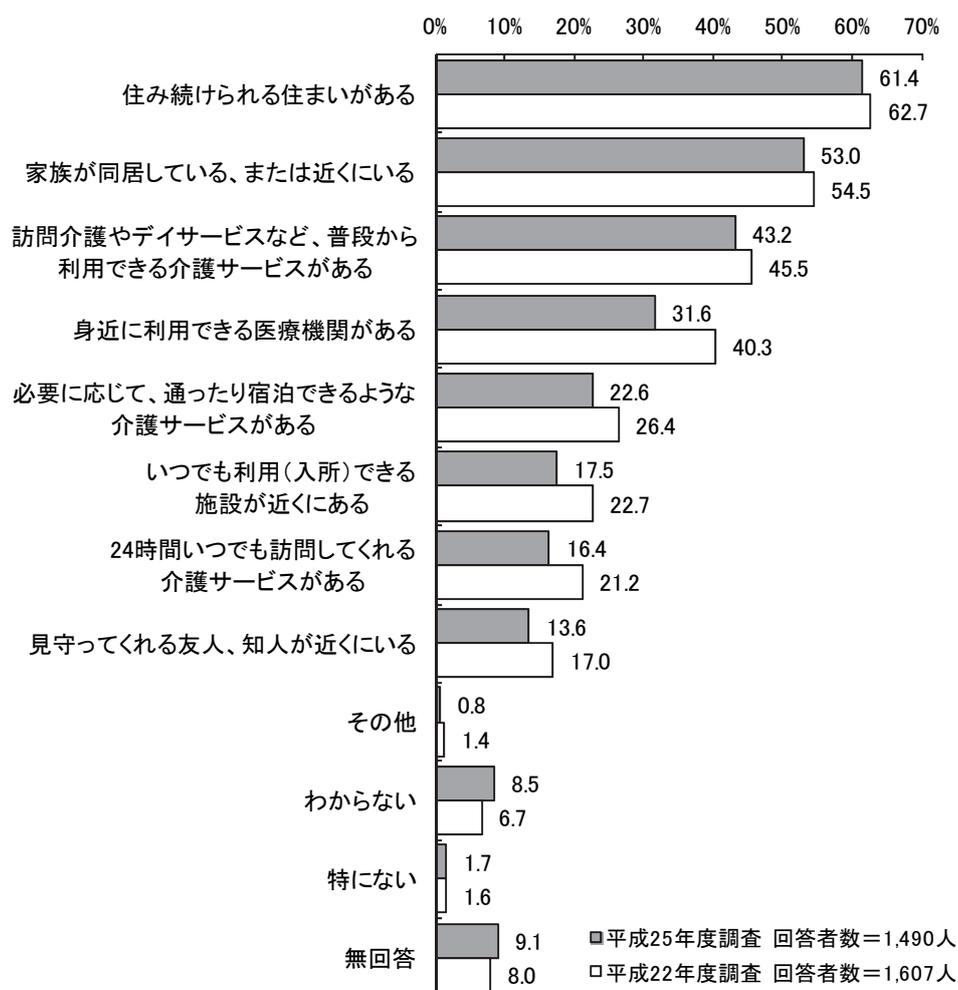
問37 あなた(あて名のご本人)は、介護が必要になっても在宅で暮らし続けるために必要なことは、どのようなことだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

【比較調査250頁参照】

在宅で暮らし続けるために必要と思うことは、「住み続けられる住まいがある」61.4%がもっとも高く、次いで「家族が同居している、または近くにいる」53.0%、「訪問介護やデイサービスなど、普段から利用できる介護サービスがある」43.2%、「身近に利用できる医療機関がある」31.6%、「必要に応じて、通ったり宿泊できるような介護サービスがある」22.6%の順となっている。

平成22年度調査結果と比較すると、第1位から第8位まですべて前回と同様の結果であるが、すべての項目で割合は減少している。

図表3-77 在宅で暮らし続けるために必要と思うこと(複数回答)＜平成22年度調査との比較＞

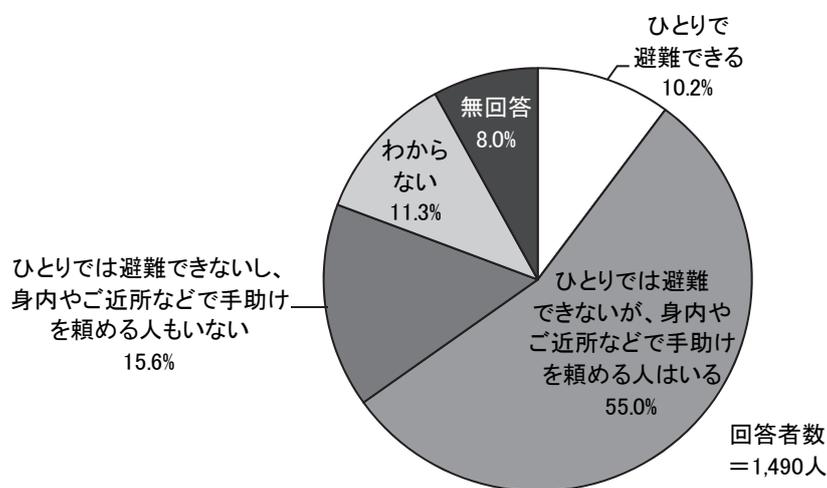


(3)災害時の避難の可否

問38 あなた(あて名のご本人)は、地震や火災などの災害時に、ひとりで避難することができますか。(1つに○)

災害時の避難の可否は、「ひとりで避難できる」は10.2%と約1割である。「ひとりで避難できないが、身内やご近所などで手助けを頼める人はいる」が55.0%と半数以上を占め、「ひとりでは避難できないし、身内やご近所などで手助けを頼める人もいない」は15.6%となっている。

図表3-78 災害時の避難の可否(単数回答)



要介護度別にみると、「ひとりでは避難できないし、身内やご近所などで手助けを頼める人もいない」は、要支援2及び要介護5の人で2割台を占め、他に比べて高い割合となっている。

図表3-79 災害時の避難の可否

		回答者数(人)	ひとりでは避難できる	ひとりでは避難できないが、身内やご近所などで手助けを頼める人はいる	ひとりでは避難できないし、身内やご近所などで手助けを頼める人もいない	わからない	無回答
全 体		1,490	10.2	55.0	15.6	11.3	8.0
要介護度別	要支援1	277	22.0	46.6	10.1	9.4	11.9
	要支援2	242	10.7	47.9	20.2	14.0	7.0
	要介護1	301	8.6	53.8	18.3	12.3	7.0
	要介護2	217	3.7	64.1	11.5	13.8	6.9
	要介護3	136	3.7	64.7	16.2	11.0	4.4
	要介護4	129	0.0	75.2	16.3	7.0	1.6
	要介護5	102	2.9	56.9	23.5	6.9	9.8
	わからない	44	34.1	29.5	13.6	11.4	11.4

(4) 介護保険サービス利用に対する考え、介護保険料の家計への影響

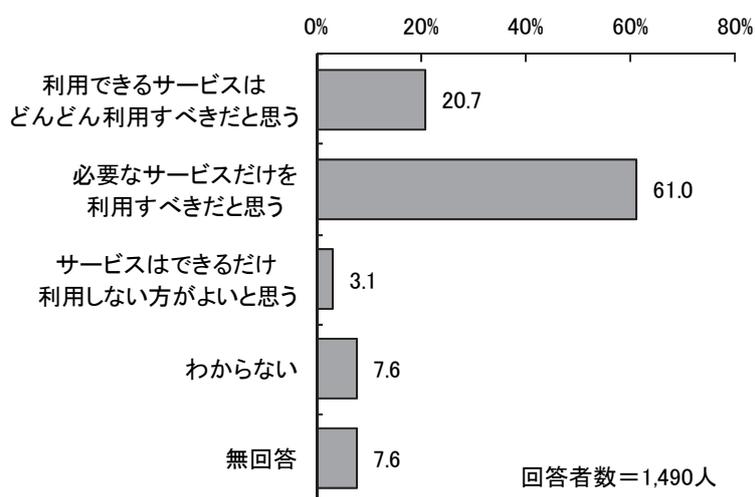
問39 あなた(あて名のご本人)は、介護保険サービスの利用のあり方について、どのようなお考えをお持ちですか。(1つに○) 【比較調査251☞参照】

問40 介護保険の保険料について、家計への影響は次のうちどれに近いですか。(1つに○) 【比較調査252☞参照】

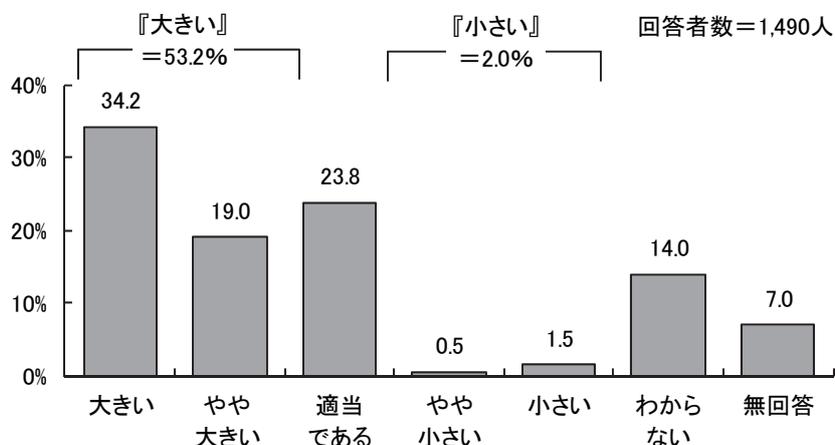
介護保険サービス利用に対する考えは、「必要なサービスだけを利用すべきだと思う」が61.0%を占める。次いで「利用できるサービスはどんどん利用すべきだと思う」20.7%、「サービスはできるだけ利用しない方がよいと思う」3.1%の順となっている。

介護保険料の家計への影響は、「大きい」34.2%、「やや大きい」19.0%をあわせた53.2%が『大きい』と回答しており、「適当である」は23.8%となっている。

図表3-80 介護保険サービス利用に対する考え(単数回答)



図表3-81 介護保険料の家計への影響(単数回答)



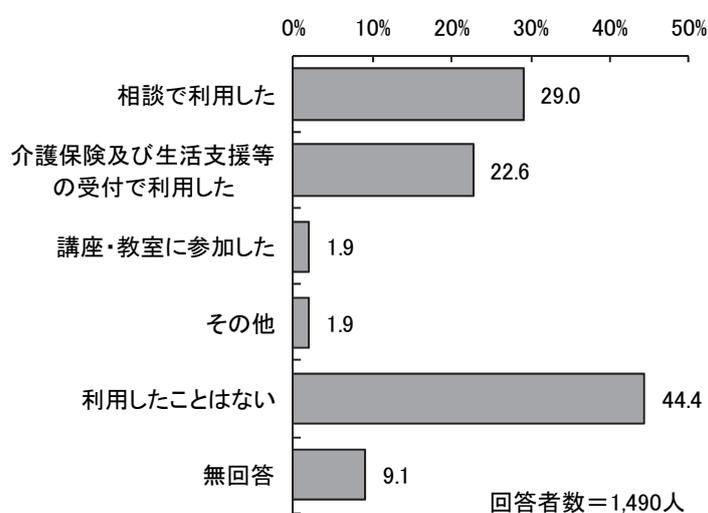
※『大きい』 = 「大きい」 + 「やや大きい」
※『小さい』 = 「やや小さい」 + 「小さい」

(5) 熟年相談室(地域包括支援センター)の利用経験

問41 あなた(あて名のご本人)は、熟年相談室(地域包括支援センター)を利用したことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

熟年相談室(地域包括支援センター)の利用経験をみると、「利用したことはない」は44.4%であり、「相談で利用した」が29.0%、「介護保険及び生活支援等の受付で利用した」が22.6%などとなっている。

図表3-82 熟年相談室(地域包括支援センター)の利用経験(複数回答)



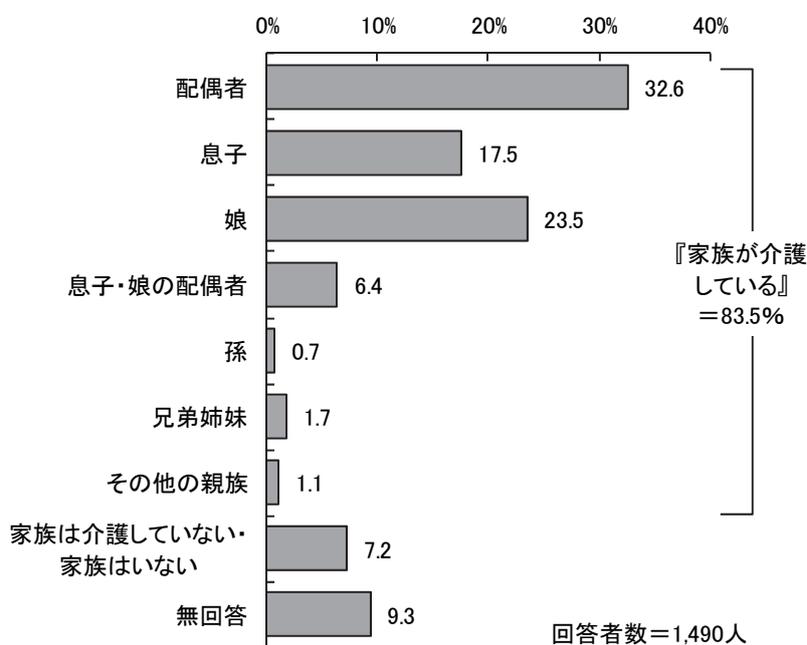
8. 介護者の状況について

(1) 家族介護の状況

問44 現在、あて名のご本人を主に介護しているご家族(同居・別居問わず)は、あて名のご本人からみてどなたにあたりますか。(主な介護者ひとりに○)

家族介護の状況をみると、『家族が介護している』は83.5%を占める。具体的な介護者は、「配偶者」32.6%、「娘」23.5%、「息子」17.5%、「息子・娘の配偶者」6.4%の順となっている。

図表3-83 家族介護の状況(単数回答)



※『家族が介護している』 = 「配偶者」 + 「息子」 + 「娘」 + 「息子・娘の配偶者」 + 「孫」 + 「兄弟姉妹」 + 「その他の親族」

世帯構成別にみると、ひとり暮らしの人で『家族が介護している』は約6割であり、介護者は「娘」がもっとも高い。夫婦のみ世帯の人は「配偶者」が7割台を占める。子どもや孫との同居世帯の人では「配偶者」は2割台となり、「娘」「息子」「息子・娘の配偶者」などの割合が高くなっている。

図表3-84 家族介護の状況

		回答者数(人)	配偶者	息子	娘	息子・娘の配偶者	孫	兄弟姉妹	その他の親族	家族は介護していない・家族はいない	無回答	『家族が介護している』
全体		1,490	32.6	17.5	23.5	6.4	0.7	1.7	1.1	7.2	9.3	83.5
世帯構成別	ひとり暮らし	337	0.0	20.2	28.8	3.6	1.2	4.5	2.7	21.7	17.5	61.0
	夫婦のみ	376	73.7	4.5	6.9	1.1	0.0	0.3	0.5	4.8	8.2	87.0
	子どもと同居	453	25.6	27.2	32.2	7.1	0.2	0.4	0.2	1.8	5.3	92.9
	子どもと孫と同居	212	28.3	15.6	28.8	17.9	2.8	0.9	0.0	1.4	4.2	94.3
	その他	80	30.0	16.3	21.3	7.5	0.0	7.5	5.0	6.3	6.3	87.6

※『家族が介護している』＝「配偶者」＋「息子」＋「娘」＋「息子・娘の配偶者」＋「孫」
＋「兄弟姉妹」＋「その他の親族」

※世帯構成別の「親と同居」「親と子どもと同居」は「その他」に含めて集計している

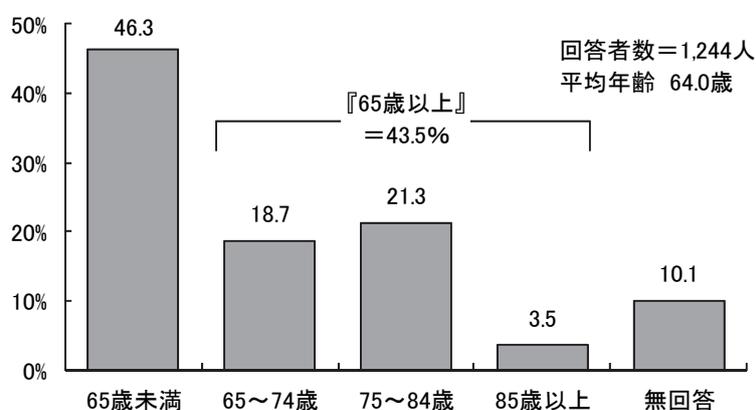
(2) 主な介護者の年齢

問44-1 ご家族が介護をしている方(問44で1～7に○)にうかがいます。あて名のご本人を主に介護している方の年齢をお教えてください。

主な介護者の年齢は、「65歳未満」46.3%に次いで、「75～84歳」21.3%、「65～74歳」18.7%の順となっている。『65歳以上』が43.5%を占めており、平均年齢は64.0歳となっている。

主な介護者別にみると、主な介護者が配偶者の場合の平均年齢は75.8歳、息子、娘及び息子・娘の配偶者の場合には50歳代となっている。

図表3-85 主な介護者の年齢(単数回答)



図表3-86 主な介護者の年齢

		回答者数(人)	65歳未満	65～74歳	75～84歳	85歳以上	無回答	平均年齢(歳)
全体		1,244	46.3	18.7	21.3	3.5	10.1	64.0
主な介護者別	配偶者	485	5.8	27.0	50.3	8.7	8.2	75.8
	息子	261	70.1	15.3	0.8	0.0	13.8	56.8
	娘	350	79.1	11.4	1.7	0.0	7.7	55.0
	息子・娘の配偶者	95	77.9	12.6	2.1	0.0	7.4	55.8
	孫	11	63.6	0.0	0.0	0.0	36.4	36.0
	兄弟姉妹	26	11.5	34.6	34.6	7.7	11.5	73.6
	その他の親族	16	25.0	6.3	12.5	0.0	56.3	60.1

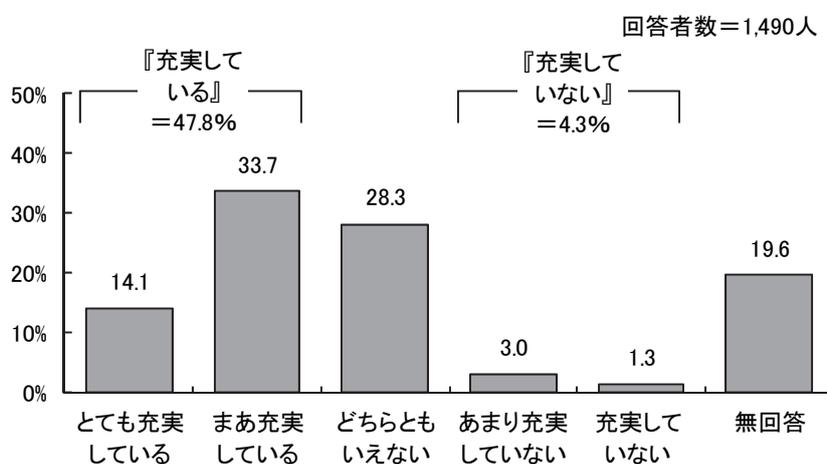
9. 江戸川区の熟年者施策について

(1) 区の熟年者施策の充実度

問42 江戸川区の熟年者施策について、あなた(あて名のご本人)はどのように感じますか。
(1つに○) 【比較調査253参照】

区の熟年者施策の充実度は、「とても充実している」14.1%、「まあ充実している」33.7%をあわせた47.8%と半数近くが『充実している』と回答している。「あまり充実していない」3.0%、「充実していない」1.3%をあわせた『充実していない』は4.3%であった。

図表3-87 区の熟年者施策の充実度(単数回答)



※『充実している』 = 「とても充実している」 + 「まあ充実している」

※『充実していない』 = 「あまり充実していない」 + 「充実していない」

(『充実していない』理由：45件より抜粋して記載)

- ・ 認知症で相談に行った事があるが、見かけだけで判断して大丈夫と帰された。
- ・ 相談に行っても優しい言葉がない。
- ・ 数が少なく、必要な時に必要なサービスが使えない。
- ・ 熟年者施策を聞いたことがない。認知度が低いのではないか。

(2) 区の熟年者施策で充実してほしいこと

問43 江戸川区が今後充実すべきと思う熟年者施策は、次のうちどれですか。

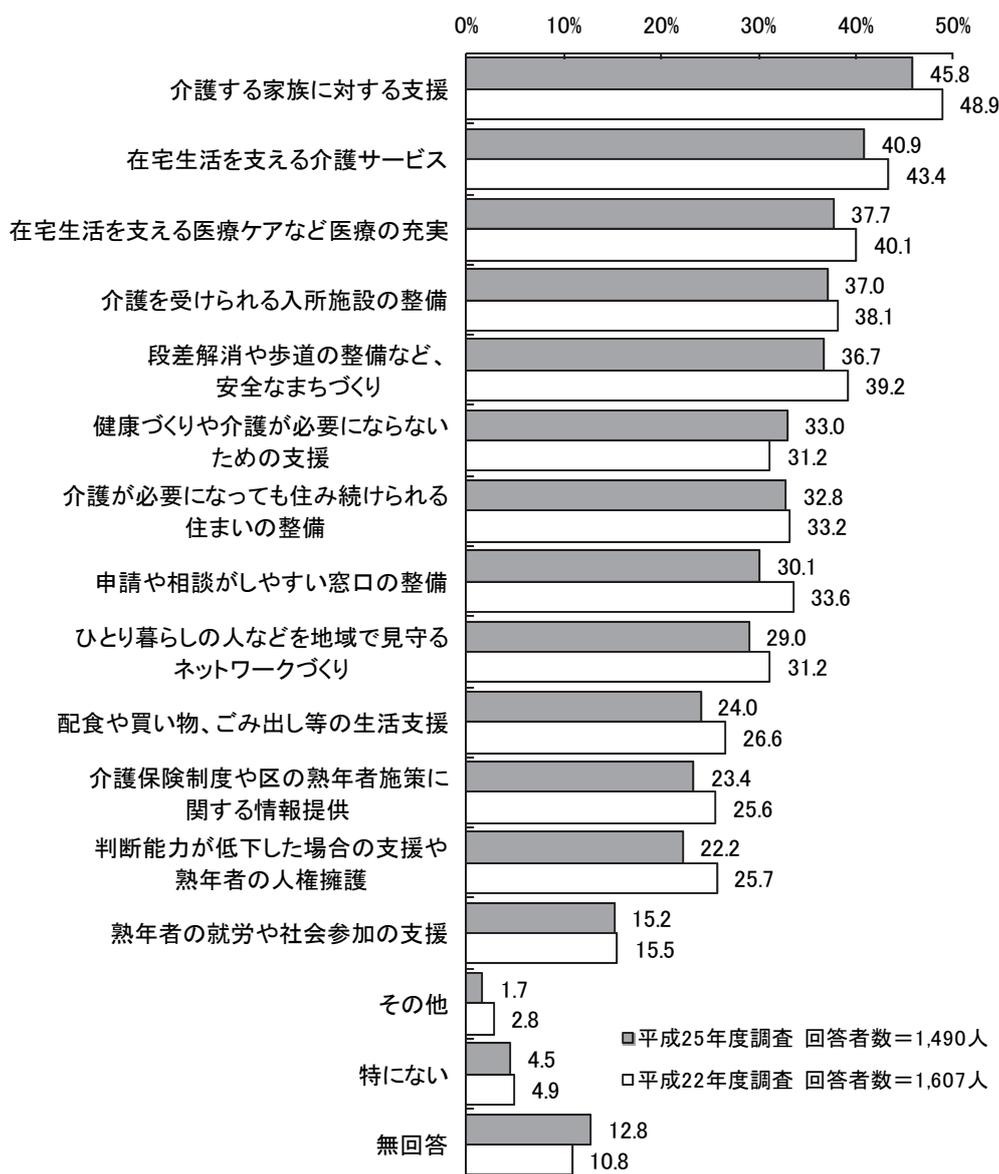
(あてはまるものすべてに○)

【比較調査254頁参照】

今後充実すべき熟年者施策は、「介護する家族に対する支援」45.8%、「在宅生活を支える介護サービス」40.9%、「在宅生活を支える医療ケアなど医療の充実」37.7%、「介護を受けられる入所施設の整備」37.0%、「段差解消や歩道の整備など、安全なまちづくり」36.7%が上位5位となっている。

平成22年度調査結果と比較すると、上位3位までは同様の結果であるが、前回第5位の「介護を受けられる入所施設の整備」が今回第4位となっている。また、前回第8位の「健康づくりや介護が必要にならないための支援」が1.8ポイント増加し、今回第6位となっている。

図表3-88 区の熟年者施策で充実してほしいこと(複数回答)＜平成22年度調査との比較＞



(3)区への意見・要望

江戸川区へのご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

(320 件について分類・要約して記載)

【1】介護保険サービス・保険料・その他経済的負担に対する意見・要望(117 件より抜粋)

- ・週 2~3 回病院に通っている。タクシーの 1 メーター分でもいいから、介護保険が利用できるとありがたい。
- ・介護保険に関するどんな質問にも答えられる係をつくってほしい。
- ・デイサービス・ショートステイを施設で利用しているが、回数を減らさないと家計が苦しい。減らせば家族が疲れるので利用料が値上がりしないようにしていただきたい。
- ・最も困っている人が安心して利用できる制度にしてほしい。財政に余裕のある人からは応分の負担を求め、ボランティアや民間業者を利用していきべきだと思う。
- ・24 時間対応の訪問の企業が 1 か所あるようだが、地域によって対応していない。緊急に対応する訪問が充実していくことを望む。
- ・私は 101 歳の母を 365 日 24 時間、介護保険のお世話にならず世話をしている。このような場合、介護保険料割引きのような特典をいただけたらと切に思う。
- ・介護制度が充実していく反面、保険料が年々高くなり、介護制度を利用したくてもできない状況にある。預貯金を取りくずして通院しても何年続くかと思うと、全く希望が持てない。
- ・少ない年金の割に健康保険、介護保険料が高い。保険料を下げ、受けている人が収入によって払えばいいと思う。
- ・住まいがあり生活保護を受けずに生活できるという理由で受けられないサービスが多々あるが、生活環境で判断するのではなく、本人の体調を中心に生活に必要な支援を受けられるように改善してほしい。
- ・介護保険の認定に疑問を感じる。手術をした後とか一定期間でも、車椅子、ベッドが借りられずに困ったことがある。認定にバラつきがあるように思う。
- ・要支援の人の福祉用具貸与が制限されて困っている。介護保険を使えるようにしてほしい。

【2】区の介護支援に対する意見・要望(49 件より抜粋)

- ・介護用品の定期的配布等、非常に助かっているが、区で行っている介護事業などの PR が不足していると思う。
- ・老老介護に不安があるので、相談や話を聞いてくれるところや声かけがほしい。
- ・激励手当をいただけなくなり、今までより負担が多くなって、大変になってしまった。江戸川区のお金を有効に使ってほしい。
- ・福祉の江戸川区と称されていたが、この時節、福祉も弱者に冷酷さが増すばかり。これ以上、拍車がかからないようお願いしたい。
- ・紙おむつ等の支給は江戸川区で 9 割負担していただき、とても助かっている。
- ・認知症の対応をしてくれる病院がないのが困る。6 年前、母が統合失調症とは違う症状が出た際、介護保険課に相談し病院を紹介してもらい、とても助かった。認知症及び精神科があり入院できる病院を作っていただきたい。
- ・予算は厳しいと思うが、利用者から見ると世間から見離された気がするので、福祉の予算だけはカットしないでいただきたい。
- ・去年までは 1 か月 6 千円のタクシー券をいただいていたが、今年から 1 か月 3 千円となった。少額の年金では食費を詰めなければならない。広報がカラー刷になったが、そのような無駄をタクシー券の方へ回して下さればと願っている。

【3】介護、介護者への支援に対する意見・要望(36件より抜粋)

- ・ 老老介護の家族の支援もしてほしい。
- ・ 自宅介護9年目になるが、訪問介護、訪問リハビリ等が利用しやすくなればと思っている。毎日介護にしばられ、自分(介護者)の体調が悪い時など、寝たきりの人を半日でも預かってくれる施設があれば安心できる。
- ・ 今年度よりおむつ、寝具消毒、理美容サービス、映画の券、激励手当などの見直しがあり、在宅介護をしている私達にとって、何が福祉の充実した区だと思う。
- ・ 私は65歳で、股関節の手術をして人工骨も入っているが、仕事をしながら寝たきりの母の介護をしている。そんな家族にも、援助があってもいいのではと思う。
- ・ 昨年までは高齢者介護のサービスが充実していて助かっていたが、今年から急に補助金の全額打ち切りやおむつの補助などがなくなり、とても苦しくなった。また、熟年者の楽しみだった敬老の日に配られていた商品券までなくなったことには幻滅した。
- ・ 介護者の家族が集える場をもっと増やしてほしい。外に出る機会が減ると、介護者もストレスがたまるので、介護度によってレクリエーションができる場を希望する。

【4】介護施設に対する意見・要望(34件より抜粋)

- ・ ひとり暮らしの90歳の母のこれからのことを考えて、特養に申し込みをしたら、300人待ちだった。どうにかならないのか。
- ・ 希望するホームは高額で入所できない。私自身介護1で、介護4の主人を見守りながら暮らしている。主人と2人で入所できる適当な価格のホームを希望する。穂高荘等の施設をホームとして活用できないだろうか。
- ・ 国民年金の受給範囲内で入所できる介護施設を作してほしい。もっと多くの人が入所できる施設をつくってほしい。何年も待っている間、家族の負担が大変である。
- ・ 要支援の方のためのデイ施設を考えてほしい。
- ・ 最終的には介護施設にすぐに入れるという安心感と、経済面で心配なくていい施設を充実させてほしい。

【5】生活支援、外出・通院支援、地域の見守り等に対する意見・要望(27件より抜粋)

- ・ 少しの介助があれば日中1人で閉じこもりにならずに行動できる熟年者を、もっと外に出してあげられるよう、老人クラブなどを増やす助言をしてほしい。
- ・ 通院時の足がなくて困っている。付き添いの人はいるので介護タクシーを使うほどではないが、区の方で補助金などのサービスをお願いしたい。
- ・ 熟年相談室、支援センターに見守りをお願いしたい。
- ・ 要支援1で毎週1回リハビリに通っているが、週2回の許可があれば体力ももっとついてくると思う。最低週2回までリハビリに通えるようにしてほしい。
- ・ タクシー券の利用を拒否された。こんな嫌な思いをするサービスより、設備を整えていただいた方がありがたい。

【6】道路・公園等のまちづくり、住宅に対する意見・要望(15件より抜粋)

- ・ 公共住宅でも、例えば風呂の押し戸を引き戸にできるとか、介護者が住めるような改造が可能になると助かる。
- ・ 歩道の整備やトイレの設置など安全な町づくりに配慮していただけると、障害があっても、散歩等をして楽しく日々が過ごせる。
- ・ 住宅改修を受けて、トイレを和式から洋式に変えた。大変楽になりありがたいと思っているが、もっと早くにこのような制度を知っていればよかった。
- ・ 毎日車椅子を使用しているが、道路が平らでないので苦勞している。歩道の修理をお願いしたい。その他は江戸川区の福祉は本当にありがたいと感謝している。
- ・ 10m以上または交通量の多い道路に信号延長装置を設置して、ゆっくり渡れるようにしてほしい。
- ・ 江戸川区は地盤がゼロメートルの地域であり海岸に面しているので、水害の対策が急務だと思うが、私達にはその対策が見えない。熟年者が多いので防災や避難について具体的に、目に見える安心感が得られる対策を望む。

【7】就労・生きがい・社会参加に対する意見・要望(12件より抜粋)

- ・ 定期的に病院に通っているがいたって元気で、何か軽い内職などをやりたいが、区役所を訪ねると65歳以上はダメと言われる。脳トレのためにも何かやりたいと思うのでお願いしたい。
- ・ 月に1回くらい少人数で好きにお話ししたりできるようなところがあればいいと思う。
- ・ 集まって話をしたり、編み物、読書をするために、コミュニティ図書館のロビーや団地の集会所など空きスペースを開放する運動を始めてはどうか。
- ・ 今はリハビリに行っているが、従業員の方がとても優しいので顔を見るだけでほっとする。知人や友人との交流を心がけ、目標を持ってがんばりたいと思っている。

【8】その他(32件より抜粋)

- ・ 災害時の避難場所がよく分からない。要介護の家族をひとりでは避難させられない不安が大きい。そのような支援もお願いしたい。
- ・ 災害用に区で袋を作って、中身には水・食料品等を入れて安く売ってくれたら助かる。
- ・ おかげさまで、母は今年100歳を迎えることができた。さまざまなサポートをいただき、大変ありがたく思っている。

第 4 章

熟年者のお元気度チェック調査

< 調 査 概 要 >

調 査 方 法	活動の場にて協力を得られた方に 直接配布、郵送回収（一部その場で回収）
調 査 対 象 者	リズム運動 くすのきクラブ くすのきカルチャー教室 シルバー人材センター ウォーキング参加者
調 査 期 間	平成 25 年 12 月 2 日～平成 26 年 1 月 10 日
対 象 者 数 及 び 回 収 率	対 象 者 数 : 512 有 効 回 収 数 : 372 有 効 回 収 率 : 72.7%

1. 基本的属性

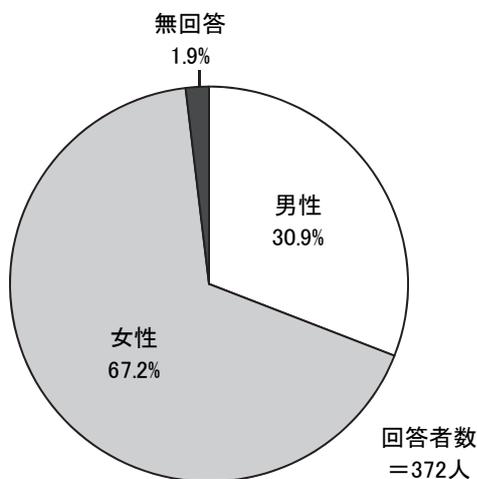
(1) 性別、現在の満年齢

問15 あなたの性別、平成25年12月1日現在の満年齢をお答えください。

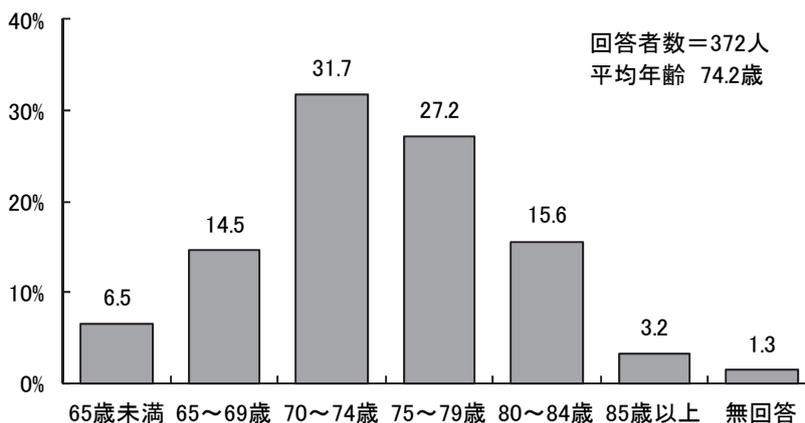
性別は「男性」30.9%、「女性」67.2%と、女性が男性の2倍以上を占める。

年齢は、「70～74歳」31.7%、「75～79歳」27.2%、「80～84歳」15.6%の順に高く、平均年齢は74.2歳となっている。

図表4-1 性別(単数回答)



図表4-2 年齢(単数回答)



参加している地域活動別にみると、性別は、リズム運動は8割台、くすのきカルチャー教室は7割台、くすのきクラブ及びウオーキングは6割台が女性である。一方、シルバー人材センターは男性が6割台を占める。

年齢は、リズム運動及びくすのきクラブ参加者は「75～79歳」、くすのきカルチャー教室、シルバー人材センター及びウオーキング参加者は「70～74歳」の占める割合がそれぞれもっとも高い。平均年齢は、リズム運動参加者がもっとも高い76.6歳、ウオーキング参加者がもっとも低い70.3歳となっている。

図表4-3 性別

		回答者数(人)	男性	女性	無回答
全 体		372	30.9	67.2	1.9
参加している地域活動別	リズム運動	90	12.2	83.3	4.4
	くすのきクラブ	72	33.3	62.5	4.2
	くすのきカルチャー教室	95	22.1	77.9	0.0
	シルバー人材センター	58	63.8	36.2	0.0
	ウオーキング	57	38.6	61.4	0.0

図表4-4 年齢

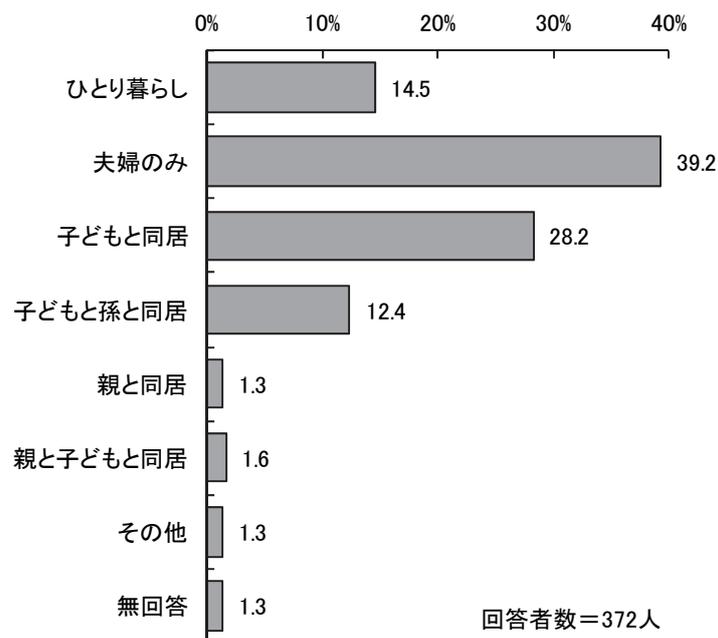
		回答者数(人)	65歳未満	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	無回答	平均年齢(歳)
全 体		372	6.5	14.5	31.7	27.2	15.6	3.2	1.3	74.2
参加している地域活動別	リズム運動	90	1.1	5.6	30.0	34.4	18.9	6.7	3.3	76.6
	くすのきクラブ	72	0.0	8.3	25.0	40.3	19.4	4.2	2.8	76.5
	くすのきカルチャー教室	95	9.5	22.1	30.5	16.8	20.0	1.1	0.0	73.0
	シルバー人材センター	58	8.6	10.3	41.4	27.6	10.3	1.7	0.0	73.5
	ウオーキング	57	15.8	28.1	35.1	15.8	3.5	1.8	0.0	70.3

(2)世帯構成

問16 あなたの現在の世帯構成は、次のうちどれですか。(1つに○)【比較調査236頁参照】

世帯構成は、「夫婦のみ」39.2%がもっとも高く、次いで「子どもと同居」が28.2%、「ひとり暮らし」が14.5%、「子どもと孫と同居」が12.4%などとなっている。

図表4-5 世帯構成(単数回答)



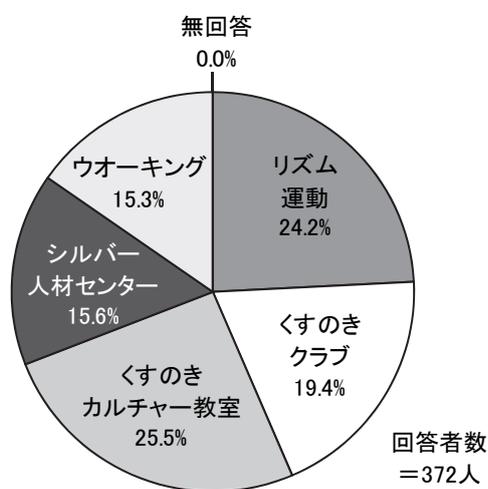
2. 参加している地域活動について

(1)参加している地域活動

本日あなたが参加している地域活動についてうかがいます。

参加している地域活動は、「くすのきカルチャー教室」が 25.5%、「リズム運動」が 24.2%
「くすのきクラブ」が 19.4%、「シルバー人材センター」が 15.6%、「ウォーキング」
が 15.3%となっている。

図表4-6 参加している地域活動(単数回答)



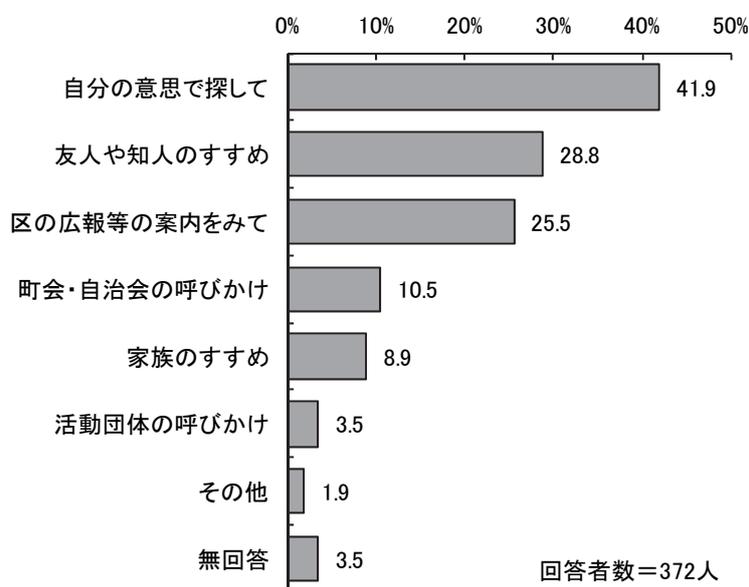
(2)活動に参加したきっかけ

問1 この活動に参加したきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

(1) で回答した活動に参加したきっかけは、「自分の意思で探して」41.9%がもっとも高く、次いで「友人や知人のすすめ」28.8%、「区の広報等の案内をみて」25.5%の順となっている。

参加している地域活動別にみると、リズム運動は、「自分の意思で探して」「友人や知人のすすめ」、くすのきカルチャー教室、シルバー人材センター及びウオーキングは「自分の意思で探して」がもっとも高い一方、くすのきクラブは「友人や知人のすすめ」がもっとも高く、次いで「町会・自治会の呼びかけ」と、他とはきっかけが異なっている。

図表4-7 活動に参加したきっかけ(複数回答)



図表4-8 活動に参加したきっかけ

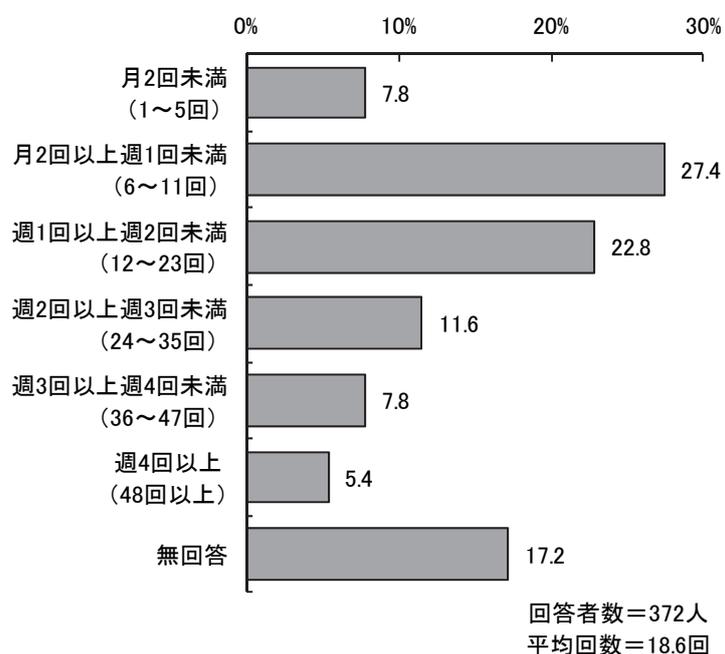
		回答者数(人)	自分の意思で探して	友人や知人のすすめ	区の広報等の案内をみて	町会・自治会の呼びかけ	家族のすすめ	活動団体の呼びかけ	その他	無回答
全体		372	41.9	28.8	25.5	10.5	8.9	3.5	1.9	3.5
参加している地域活動別	リズム運動	90	38.9	38.9	35.6	7.8	3.3	1.1	0.0	7.8
	くすのきクラブ	72	15.3	40.3	6.9	36.1	9.7	9.7	1.4	2.8
	くすのきカルチャー教室	95	61.1	12.6	41.1	0.0	8.4	0.0	0.0	4.2
	シルバー人材センター	58	51.7	20.7	17.2	0.0	17.2	1.7	1.7	0.0
	ウオーキング	57	38.6	33.3	15.8	10.5	8.8	7.0	8.8	0.0

(3)活動への参加回数

問2 この3か月の間に、何回(何日)くらい参加しましたか。

活動への参加回数は、「月2回以上週1回未満(6~11回)」27.4%、「週1回以上週2回未満(12~23回)」22.8%、「週2回以上週3回未満(24~35回)」11.6%の順であり、平均18.6回となっている。

図表4-9 活動への参加回数(単数回答)



参加している地域活動別にみると、くすのきカルチャー教室は「月2回以上週1回未満(6～11回)」が55.8%と半数以上を占め、他の活動に比べて活動回数の少ない人の割合が高い。一方、シルバー人材センターは他の活動に比べて「週2回以上」の活動者の割合が高い。平均活動回数は、リズム運動が17.1回、くすのきクラブが10.6回、くすのきカルチャー教室が9.8回、シルバー人材センターが38.9回、ウォーキングが20.1回となっている。

図表4-10 活動への参加回数

		回答者数(人)	月2回未満(1～5回)	月2回以上週1回未満(6～11回)	週1回以上週2回未満(12～23回)	週2回以上週3回未満(24～35回)	週3回以上週4回未満(36～47回)	週4回以上(48回以上)	無回答	平均活動回数(回)
全 体		372	7.8	27.4	22.8	11.6	7.8	5.4	17.2	18.6
参加している地域活動別	リズム運動	90	1.1	26.7	28.9	12.2	5.6	0.0	25.6	17.1
	くすのきクラブ	72	23.6	19.4	25.0	5.6	0.0	1.4	25.0	10.6
	くすのきカルチャー教室	95	6.3	55.8	16.8	3.2	1.1	0.0	16.8	9.8
	シルバー人材センター	58	3.4	3.4	3.4	25.9	31.0	31.0	1.7	38.9
	ウォーキング	57	5.3	15.8	40.4	17.5	8.8	1.8	10.5	20.1

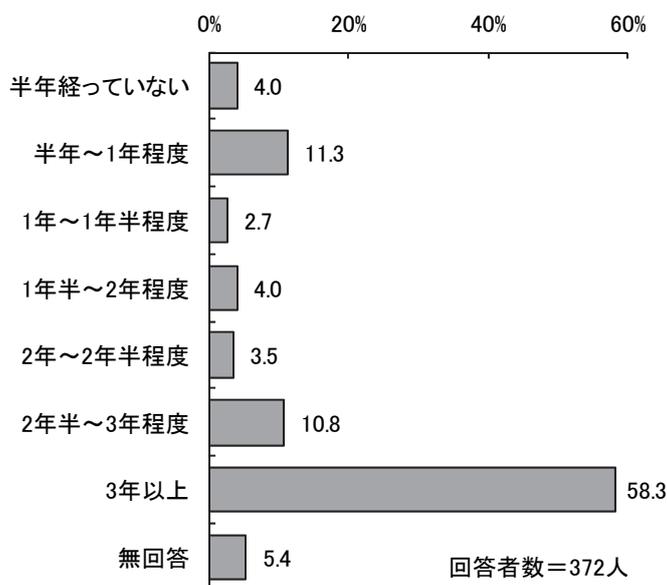
(4)活動年数

問3 この活動に参加して、どのくらい経ちますか。(1つに○)

活動年数は、「3年以上」が58.3%と6割弱を占める。このほか、「半年～1年程度」が11.3%、「2年半～3年程度」が10.8%となっている。

参加している地域活動別にみると、リズム運動は「3年以上」が7割台、くすのきクラブは6割台を占め、他に比べて活動年数が長い人の多い活動となっている。

図表4-11 活動年数(単数回答)



図表4-12 活動年数

		回答者数(人)	半年経っていない	半年～1年程度	1年～1年半程度	1年半～2年程度	2年～2年半程度	2年半～3年程度	3年以上	無回答
全体		372	4.0	11.3	2.7	4.0	3.5	10.8	58.3	5.4
参加している地域活動別	リズム運動	90	0.0	1.1	1.1	1.1	2.2	8.9	77.8	7.8
	くすのきクラブ	72	1.4	1.4	4.2	4.2	2.8	6.9	66.7	12.5
	くすのきカルチャー教室	95	3.2	24.2	1.1	3.2	4.2	16.8	45.3	2.1
	シルバー人材センター	58	8.6	19.0	1.7	8.6	5.2	8.6	46.6	1.7
	ウォーキング	57	10.5	10.5	7.0	5.3	3.5	10.5	50.9	1.8

(5) 活動の運営にかかわる役割の有無

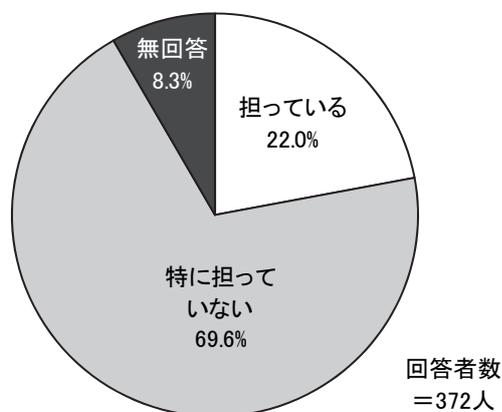
問4 この活動の中で、あなたは活動の運営にかかわる何らかの役割を担っていますか。

(1つに○)

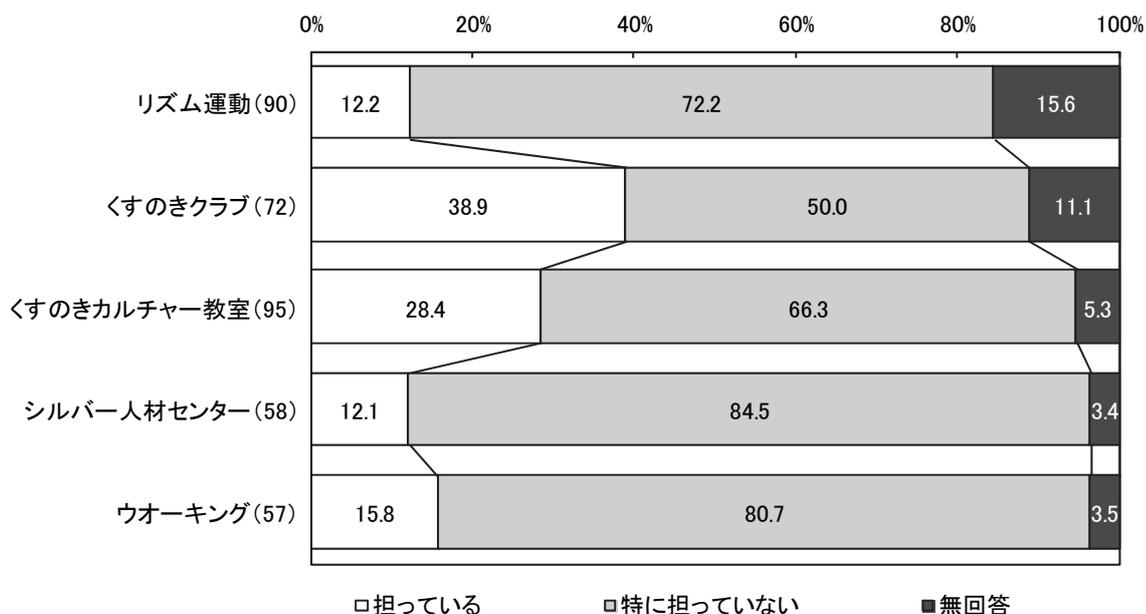
活動の運営にかかわる役割を「担っている」は22.0%であり、「特に担っていない」が69.6%と約7割を占める。

参加している地域活動別にみると、くすのきクラブ及びくすのきカルチャー教室は「担っている」人の割合が約3割、他の活動は1割台となっている。

図表4-13 活動の運営にかかわる役割の有無(単数回答)



図表4-14 活動の運営にかかわる役割の有無



※ () は回答者数

3. 健康状態について

(1) 健康状態

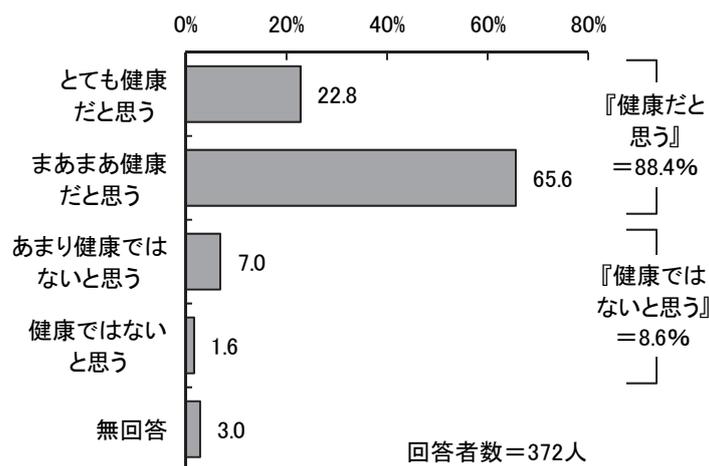
問5 あなたは、ご自分の健康状態について、どのように感じていますか。(1つに○)

【比較調査237頁参照】

健康状態は、「まあまあ健康だと思う」65.6%がもっとも高く、「とても健康だと思う」22.8%をあわせた『健康だと思う』が88.4%を占める。「あまり健康ではないと思う」は7.0%、「健康ではないと思う」は1.6%であった。

参加している活動別にみると、『健康だと思う』と回答した人の割合は、シルバー人材センター及びウォーキング参加者は9割台、くすのきカルチャー教室参加者は約9割、リズム運動及びくすのきクラブ参加者は8割台となっている。

図表4-15 健康状態(単数回答)



図表4-16 健康状態

		回答者数(人)	とても健康だと思う	まあまあ健康だと思う	あまり健康ではないと思う	健康ではないと思う	無回答	『健康だと思う』	『健康ではないと思う』
全体		372	22.8	65.6	7.0	1.6	3.0	88.4	8.6
参加している地域活動別	リズム運動	90	25.6	60.0	7.8	1.1	5.6	85.6	8.9
	くすのきクラブ	72	12.5	69.4	9.7	2.8	5.6	81.9	12.5
	くすのきカルチャー教室	95	15.8	73.7	8.4	2.1	0.0	89.5	10.5
	シルバー人材センター	58	39.7	56.9	1.7	0.0	1.7	96.6	1.7
	ウォーキング	57	26.3	64.9	5.3	1.8	1.8	91.2	7.1

※『健康だと思う』 = 「とても健康だと思う」 + 「まあまあ健康だと思う」

※『健康ではないと思う』 = 「あまり健康ではないと思う」 + 「健康ではないと思う」

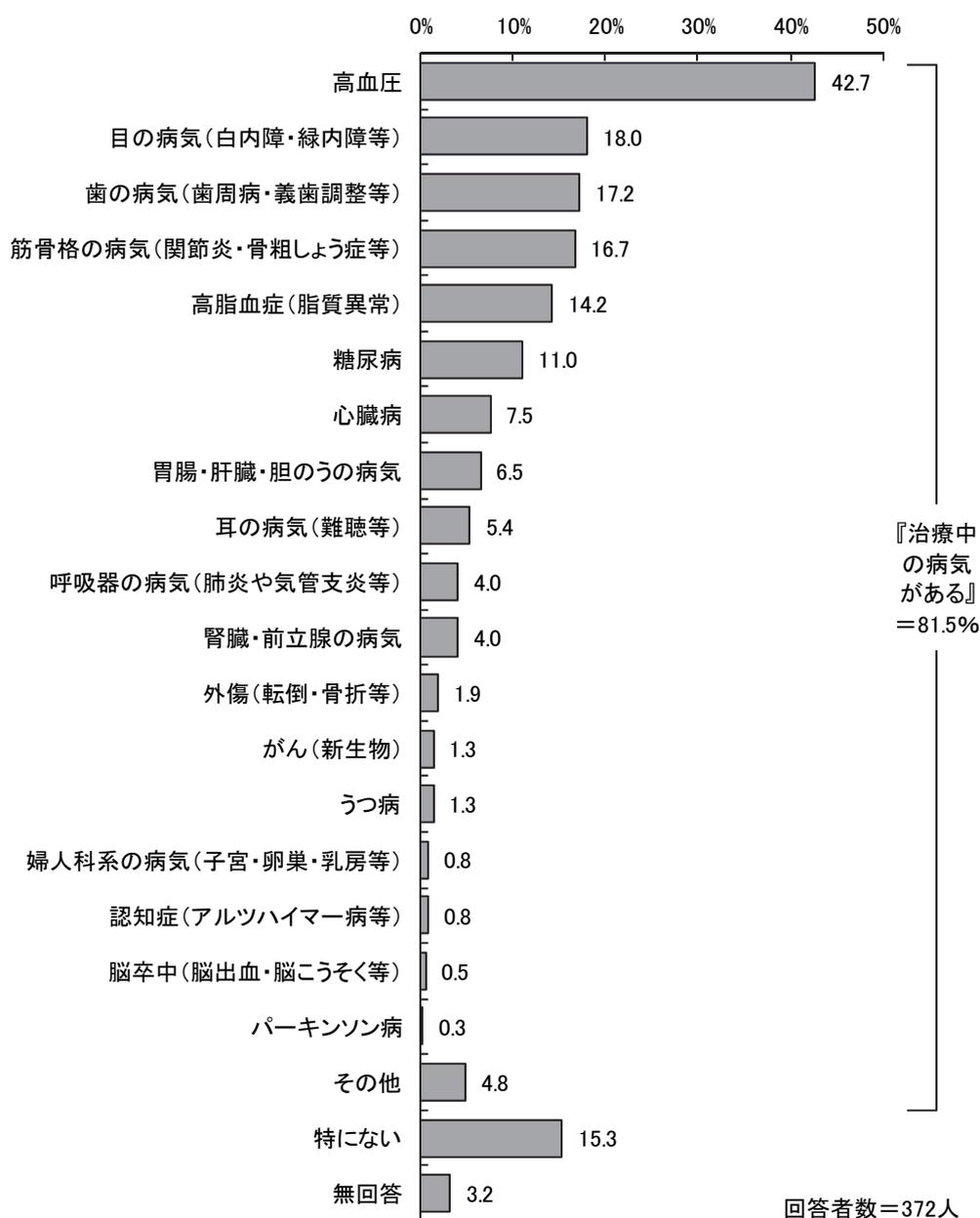
(2) 現在治療中の病気

問6 あなたは、現在かかっている、または治療中の病気がありますか。

(あてはまるものすべてに○)

現在治療中の病気は「特にない」は 15.3%であり、81.5%が『治療中の病気がある』と回答している。具体的な病気としては、「高血圧」42.7%、「目の病気（白内障・緑内障等）」18.0%、「歯の病気（歯周病・義歯調整等）」17.2%、「筋骨格の病気（関節炎・骨粗しょう症等）」16.7%などとなっている。

図表4-17 現在治療中の病気(複数回答)



※『治療中の病気がある』 = 100% - 「特にない」 - 「無回答」

参加している活動別にみると、『治療中の病気がある』人の割合は、他に比べてリズム運動及びくすのきクラブ参加者に高くなっている。

図表4-18 現在治療中の病気

		回答者数(人)	高血圧	目の病気 (白内障・緑内障等)	歯の病気 (歯周病・義歯調整等)	筋骨格の病気 (関節炎・骨粗しょう症等)	高脂血症(脂質異常)	糖尿病	心臓病	胃腸・肝臓・胆のうの病気	耳の病気(難聴等)	呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	腎臓・前立腺の病気
全 体		372	42.7	18.0	17.2	16.7	14.2	11.0	7.5	6.5	5.4	4.0	4.0
参加している地域活動別	リズム運動	90	44.4	27.8	22.2	25.6	10.0	7.8	8.9	12.2	6.7	4.4	1.1
	くすのきクラブ	72	47.2	16.7	18.1	22.2	11.1	13.9	4.2	9.7	6.9	8.3	5.6
	くすのきカルチャー教室	95	45.3	14.7	22.1	15.8	22.1	13.7	10.5	6.3	5.3	4.2	5.3
	シルバー人材センター	58	34.5	13.8	8.6	3.4	6.9	8.6	5.2	0.0	1.7	0.0	5.2
	ウォーキング	57	38.6	14.0	8.8	10.5	19.3	10.5	7.0	0.0	5.3	1.8	3.5

		回答者数(人)	外傷(転倒・骨折等)	がん(新生物)	うつ病	婦人科系の病気 (子宮・卵巣・乳房等)	認知症 (アルツハイマー病等)	脳卒中 (脳出血・脳こうそく等)	パーキンソン病	その他	特にない	無回答	『治療中の病気がある』
全 体		372	1.9	1.3	1.3	0.8	0.8	0.5	0.3	4.8	15.3	3.2	81.5
参加している地域活動別	リズム運動	90	1.1	2.2	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	10.0	4.4	85.6
	くすのきクラブ	72	1.4	1.4	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	2.8	9.7	4.2	86.1
	くすのきカルチャー教室	95	3.2	2.1	2.1	1.1	0.0	0.0	0.0	3.2	17.9	1.1	81.0
	シルバー人材センター	58	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	8.6	20.7	5.2	74.1
	ウォーキング	57	3.5	0.0	3.5	3.5	1.8	3.5	1.8	8.8	21.1	1.8	77.1

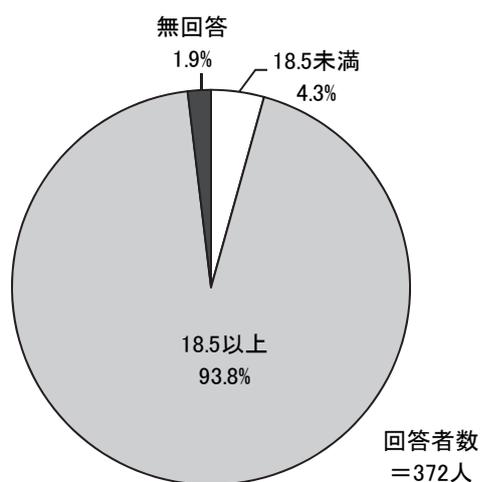
※『治療中の病気がある』=100%－「特にない」－「無回答」

(3) 身長と体重(BMI)

問9 あなたの身長と体重を記入してください。

身長と体重から算出したBMI（身長からみた体重の割合を示す体格指数）について、低栄養が疑われる「18.5未満」の人は4.3%となっている。

図表4-19 BMI(単数回答)

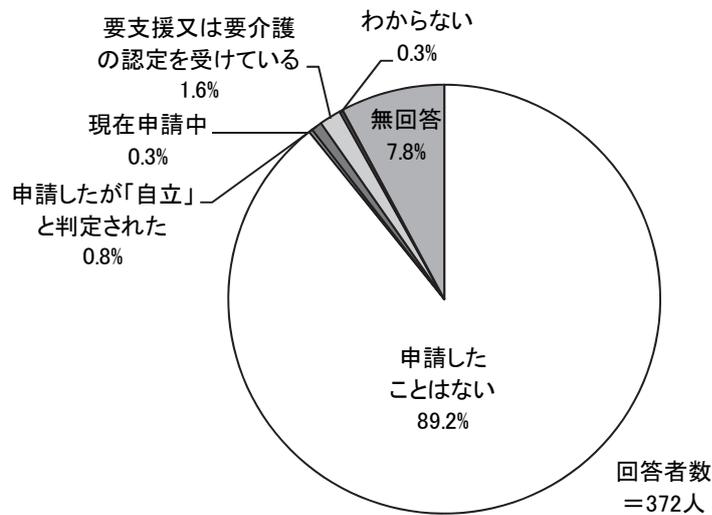


(4) 要介護認定の申請経験

問7 あなたは、これまでに介護保険の要介護認定を申請したことがありますか。(1つに○)

要介護認定の申請経験は「申請したことはない」が89.2%と約9割を占める。「現在申請中」は0.3%、「申請したが『自立』と判定された」は0.8%、「要支援又は要介護の認定を受けている」は1.6%となっている。

図表4-20 要介護認定の申請経験(単数回答)



4. 日常生活機能の状況と評価について

(1)生活機能の状況

問8 あなたの日常の生活について、それぞれあてはまるもの1つに○をしてください。

生活機能の状況を基本チェックリスト(厚生労働省の通知による高齢者の生活機能状態を評価するための質問)項目への回答結果からみると、生活機能全般に関する①～⑤に「はい」と回答した人の割合は、①～③が9割台、④・⑤が8割台となっている。

運動器機能に関する⑥～⑩に「はい」と回答した人の割合をみると、“⑥階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか”は7割台と⑦・⑧に比べると低い。“⑨この1年間に転んだことがありますか”は1割台となっている。

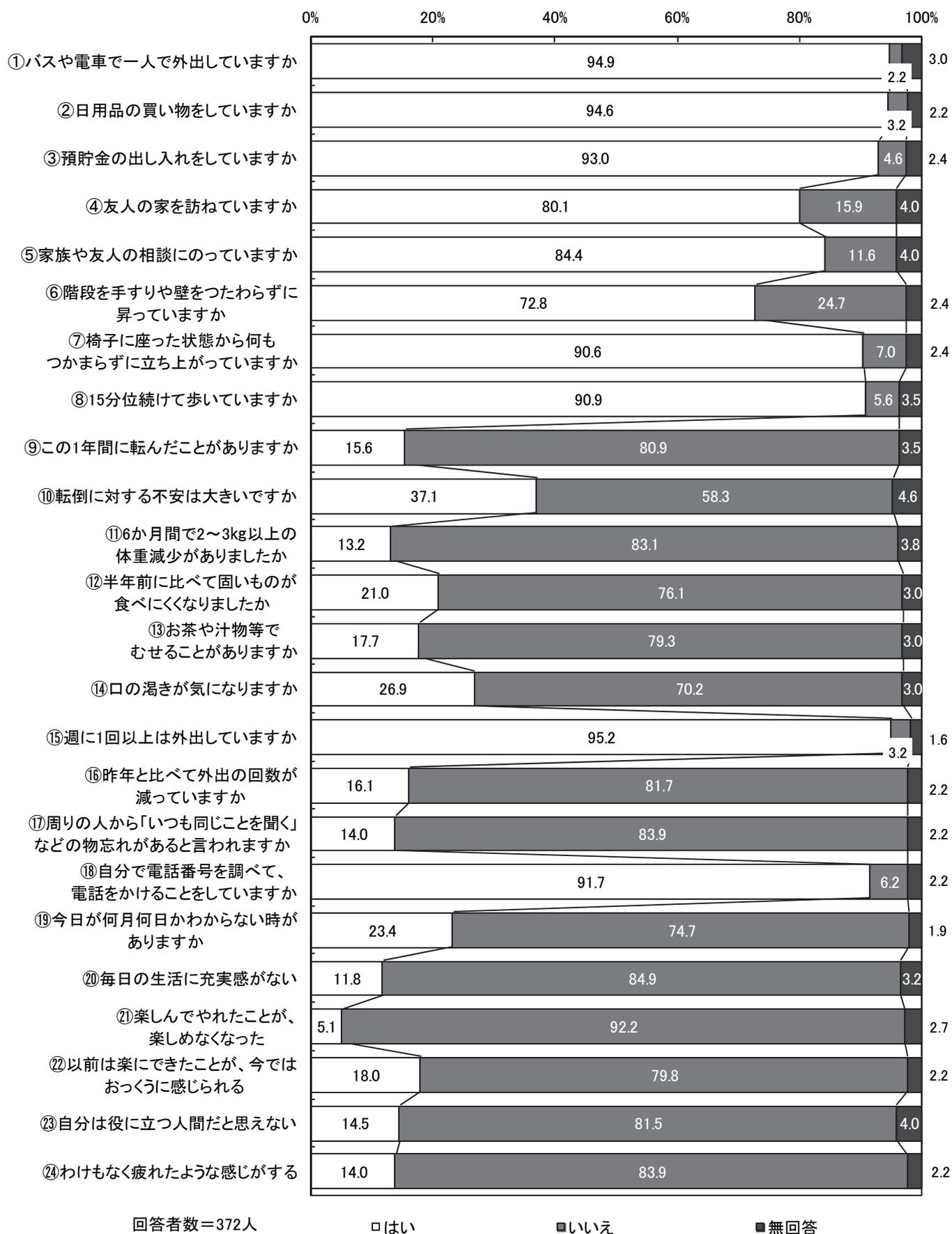
栄養に関する“⑪6 か月間で2～3 kg以上の体重減少がありましたか”に「はい」と回答した人の割合は13.2%、口腔機能に関する⑫～⑭に「はい」と回答した人の割合は、1～2割台となっている。

閉じこもりに関する⑮～⑯については、“⑮週に1回以上は外出していますか”に9割台が「はい」と回答している。

物忘れに関する⑰～⑱に「はい」と回答した人の割合をみると、“⑰周りの人から「いつも同じことを聞くなどの物忘れがあると言われますか”は1割台、“⑱今日が何月何日かわからない時がありますか”は2割台である。

気分に関する⑳、㉒～㉔に「はい」と回答した人の割合は、1割台となっている。

図表4-21 生活機能の状況(各単数回答)

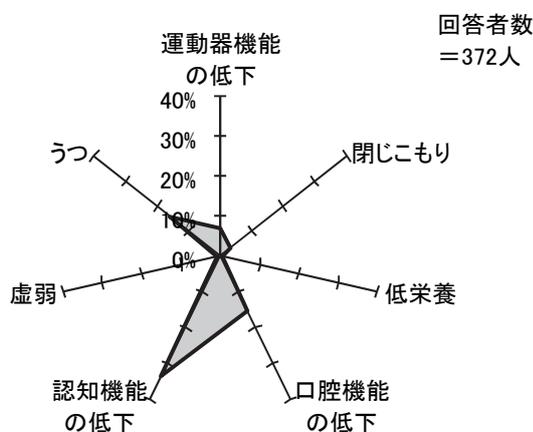


(2)生活機能の評価【比較調査 240 参照】

(1) 生活機能の状況の回答結果をもとに、参考資料の「1. 日常生活機能評価判定基準(4)生活機能(基本チェックリスト)」(361 ページ参照)に基づき生活機能の評価を行った結果をみると、生活機能が低下している(該当する)人の割合は、口腔機能の低下及びうつが1割台、運動器機能の低下、閉じこもり、低栄養、虚弱(全般的な機能低下)が1割を下回っている中で、認知機能の低下が3割台と他に比べて高い割合となっている。

また、運動器機能の低下、低栄養、口腔機能の低下、虚弱(全般的な機能低下)のいずれかに該当した介護保険の二次予防事業対象者の割合は、18.3%となっている。

図表4-22 生活機能の評価



※各項目の「該当」の割合を掲載している

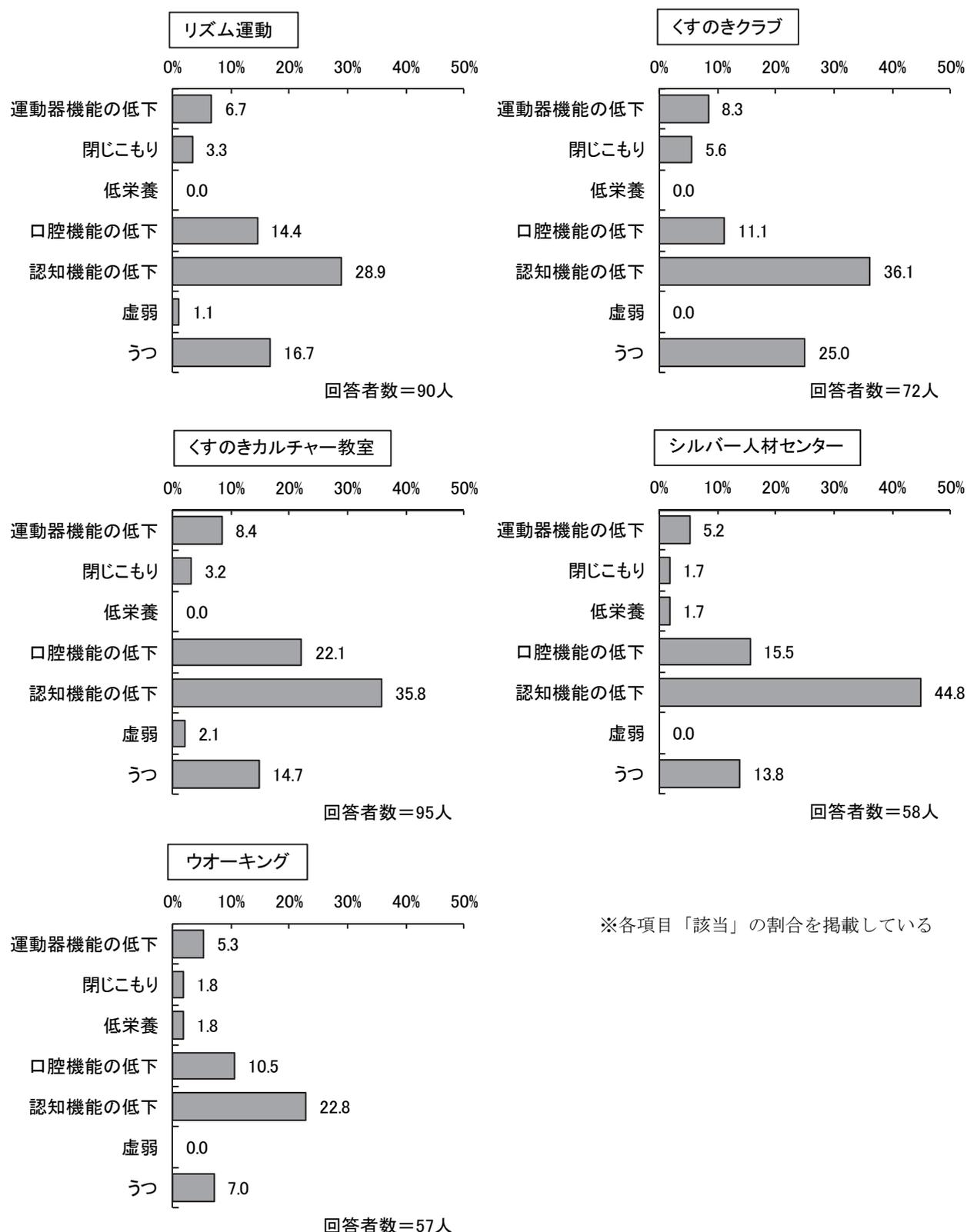
図表4-23 生活機能の評価

	回答者数(人)	該当	非該当	無回答
運動器機能の低下	372	7.0	87.1	5.9
閉じこもり	372	3.2	95.2	1.6
低栄養	372	0.5	94.1	5.4
口腔機能の低下	372	15.3	79.6	5.1
認知機能の低下	372	33.6	63.4	3.0
虚弱(全般的な機能低下)	372	0.8	83.6	15.6
うつ	372	15.9	78.0	6.2
二次予防事業対象者	372	18.3	66.1	15.6

参加している活動別にみると、認知機能の低下に該当する人の割合は、健康・スポーツ活動であるリズム運動及びウォーキング参加者の2割台に対し、シルバー人材センター参加者では4割台と高くなっている。

口腔機能の低下に該当する人の割合は、くすのきカルチャー教室参加者、うつに該当する人の割合はくすのきクラブ参加者が、それぞれ他に比べて高くなっている。

図表4-24 生活機能の評価



※各項目「該当」の割合を掲載している

図表4-25 生活機能の評価

		回答者数(人)	運動器機能の低下			閉じこもり			低栄養			口腔機能の低下		
			該当	非該当	無回答	該当	非該当	無回答	該当	非該当	無回答	該当	非該当	無回答
全体		372	7.0	87.1	5.9	3.2	95.2	1.6	0.5	94.1	5.4	15.3	79.6	5.1
参加している地域活動別	リズム運動	90	6.7	81.1	12.2	3.3	94.4	2.2	0.0	88.9	11.1	14.4	73.3	12.2
	くすのきクラブ	72	8.3	87.5	4.2	5.6	90.3	4.2	0.0	93.1	6.9	11.1	83.3	5.6
	くすのきカルチャー教室	95	8.4	86.3	5.3	3.2	95.8	1.1	0.0	97.9	2.1	22.1	75.8	2.1
	シルバー人材センター	58	5.2	93.1	1.7	1.7	98.3	0.0	1.7	96.6	1.7	15.5	84.5	0.0
	ウォーキング	57	5.3	91.2	3.5	1.8	98.2	0.0	1.8	94.7	3.5	10.5	86.0	3.5

		回答者数(人)	認知機能の低下			虚弱			うつ		
			該当	非該当	無回答	該当	非該当	無回答	該当	非該当	無回答
全体		372	33.6	63.4	3.0	0.8	83.6	15.6	15.9	78.0	6.2
参加している地域活動別	リズム運動	90	28.9	67.8	3.3	1.1	76.7	22.2	16.7	73.3	10.0
	くすのきクラブ	72	36.1	58.3	5.6	0.0	84.7	15.3	25.0	69.4	5.6
	くすのきカルチャー教室	95	35.8	63.2	1.1	2.1	84.2	13.7	14.7	78.9	6.3
	シルバー人材センター	58	44.8	51.7	3.4	0.0	87.9	12.1	13.8	81.0	5.2
	ウォーキング	57	22.8	75.4	1.8	0.0	87.7	12.3	7.0	91.2	1.8

5. 社会参加、生きがいづくりについて

(1) 生きがいの状況

問10 あなたは、現在の生活に生きがいやほりあいを感じていますか。(1つに○)

問11 あなたは、家族や親せき、友人との行き来に満足を感じていますか。(1つに○)

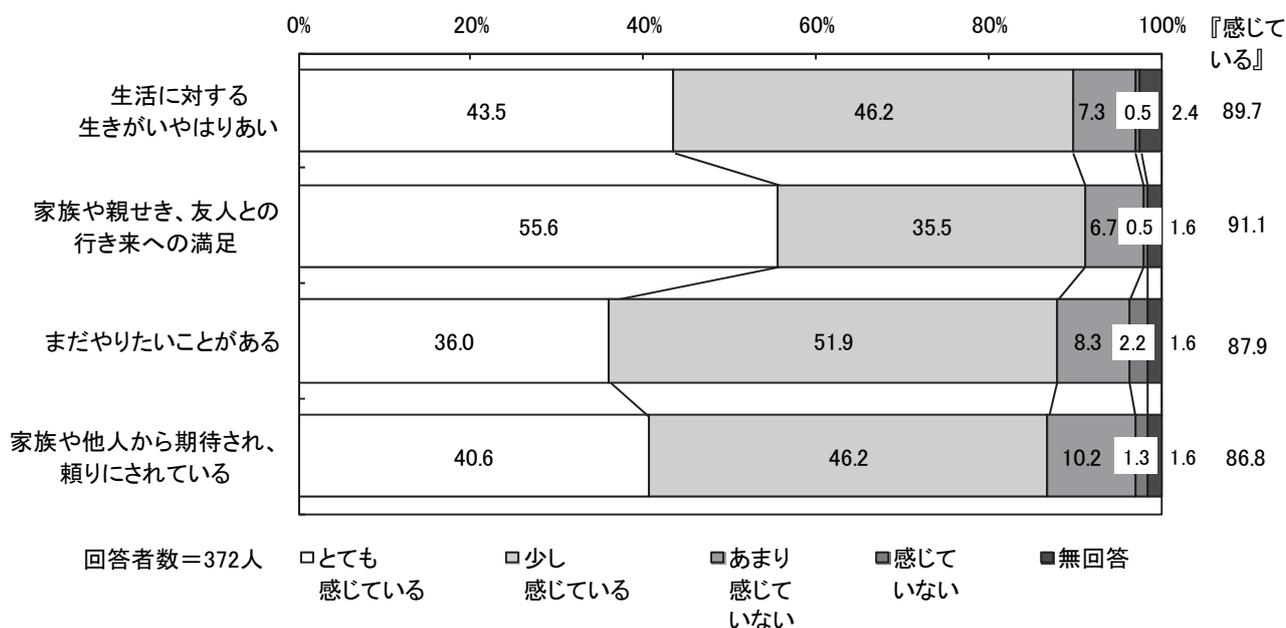
問12 あなたは、まだやりたいことがあると感じていますか。(1つに○)

問13 あなたは、家族や他人から期待され、頼りにされていると感じていますか。(1つに○)

「とても感じている」と「少し感じている」をあわせた『感じている』割合をみると、“生活に対する生きがいやほりあい”は89.7%、“家族や親せき、友人との行き来への満足”は91.1%、“まだやりたいことがある”は87.9%、“家族や他人から期待され、頼りにされている”が86.8%と、いずれも8割以上となっている。

特に、“家族や親せき、友人との行き来への満足”は、「とても感じている」が55.6%と過半数を占めている。

図表4-26 生きがいの状況(各単数回答)



※『感じている』 = 「とても感じている」 + 「少し感じている」

参加している活動別に「とても感じている」人の割合をみると、“生活に対する生きがいやほりあい”はリズム運動、くすのきクラブ及びくすのきカルチャーセンター参加者、“家族や親せき、友人との行き来への満足”は、リズム運動及びくすのきクラブ参加者、“まだやりたいことがある”は、くすのきカルチャー教室、シルバー人材センター及びウォーキング参加者、“家族や他人から期待され、頼りにされている”はリズム運動及びシルバー人材センター参加者が、それぞれ他に比べて高くなっている。

図表4-27 生きがいの状況(参加活動別)

		回答者数(人)	生活に対する生きがいやほりあい					家族や親せき、友人との行き来への満足				
			いる とても感じて	る 少し感じてい	ない あまり感じて	感じていない	『感じている』	いる とても感じて	る 少し感じてい	ない あまり感じて	感じていない	『感じている』
全 体		372	43.5	46.2	7.3	0.5	89.7	55.6	35.5	6.7	0.5	91.1
参加している地域活動別	リズム運動	90	47.8	41.1	6.7	0.0	88.9	58.9	35.6	2.2	2.2	94.5
	くすのきクラブ	72	47.2	43.1	5.6	0.0	90.3	62.5	25.0	6.9	0.0	87.5
	くすのきカルチャー教室	95	45.3	42.1	10.5	0.0	87.4	53.7	38.9	7.4	0.0	92.6
	シルバー人材センター	58	39.7	53.4	5.2	1.7	93.1	53.4	36.2	8.6	0.0	89.6
	ウォーキング	57	33.3	57.9	7.0	1.8	91.2	47.4	42.1	10.5	0.0	89.5

		回答者数(人)	まだやりたいことがある					家族や他人から期待され、頼りにされている				
			いる とても感じて	る 少し感じてい	ない あまり感じて	感じていない	『感じている』	いる とても感じて	る 少し感じてい	ない あまり感じて	感じていない	『感じている』
全 体		372	36.0	51.9	8.3	2.2	87.9	40.6	46.2	10.2	1.3	86.8
参加している地域活動別	リズム運動	90	35.6	50.0	10.0	2.2	85.6	45.6	42.2	7.8	2.2	87.8
	くすのきクラブ	72	34.7	51.4	4.2	5.6	86.1	38.9	45.8	11.1	0.0	84.7
	くすのきカルチャー教室	95	36.8	55.8	6.3	1.1	92.6	38.9	50.5	9.5	1.1	89.4
	シルバー人材センター	58	36.2	50.0	10.3	1.7	86.2	44.8	44.8	6.9	1.7	89.6
	ウォーキング	57	36.8	50.9	12.3	0.0	87.7	33.3	47.4	17.5	1.8	80.7

※「無回答」は掲載を省略している

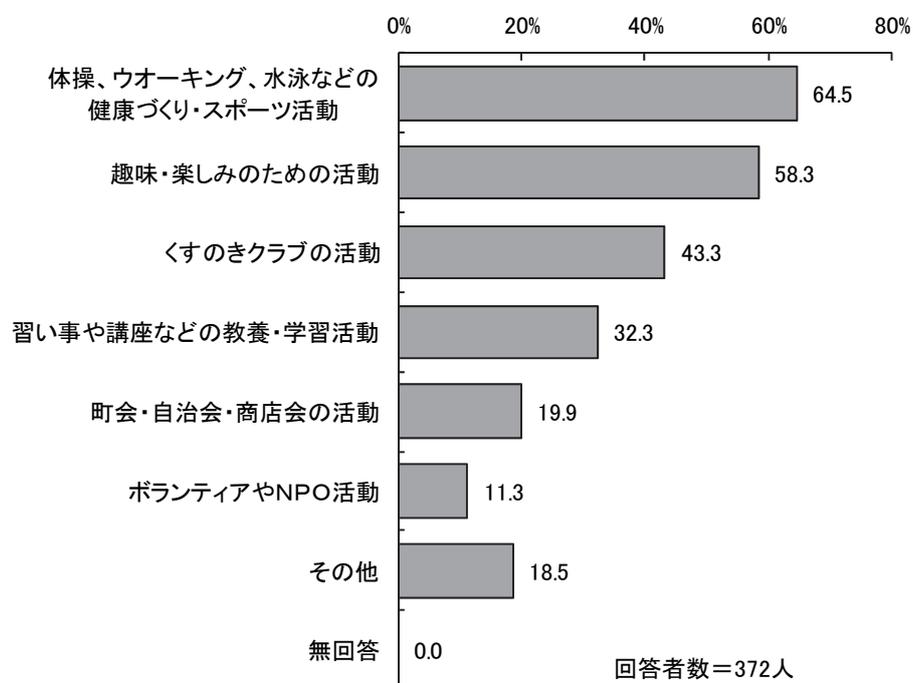
※『感じている』＝「とても感じている」＋「少し感じている」

(2)現在参加している余暇活動・社会参加活動

問14 本日参加している活動も含め、あなたは、現在、どのような余暇活動や社会活動をしていますか。(あてはまるものすべてに○) 【比較調査244頁参照】

現在参加している余暇活動・社会参加活動をみると、「体操、ウォーキング、水泳などの健康づくり・スポーツ活動」がもっとも高い 64.5%、次いで「趣味・楽しみのための活動」が 58.3%、「くすのきクラブの活動」が 43.3%、「習い事や講座などの教養・学習活動」32.3%などとなっている。

図表4-28 現在参加している余暇活動・社会参加活動(複数回答)



第 5 章

区民向け4調査間の 比較結果

※区民を対象とした4調査間の比較結果では、各調査名を下記のとおり省略して表記する。

「熟年者の健康と生きがいに関する調査」	⇒【一般高齢者調査】
「介護予防に関する調査」	⇒【介護予防調査】
「介護保険サービス利用に関する調査」	⇒【利用者調査】
「熟年者のお元気度チェック調査」	⇒【お元気度調査】

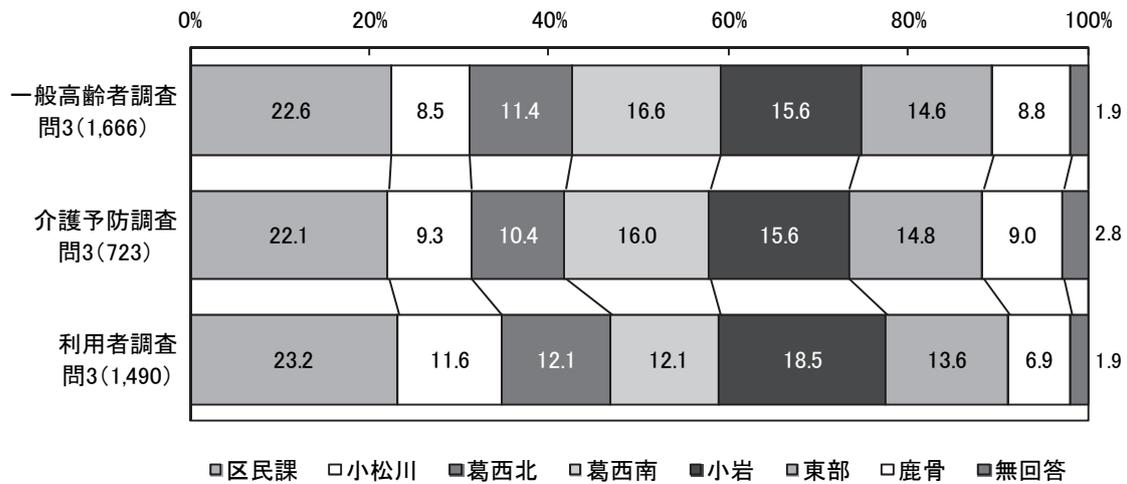
1. 基本的属性

(1)居住地(日常生活圏域)

【一般高齢者調査】と【介護予防調査】は、【利用者調査】に比べて「葛西南」居住者の割合が高い。

【利用者調査】は、【一般高齢者調査】と【介護予防調査】に比べて「小松川」「小岩」居住者の割合が高くなっている。

図表5-1 居住地(日常生活圏域)



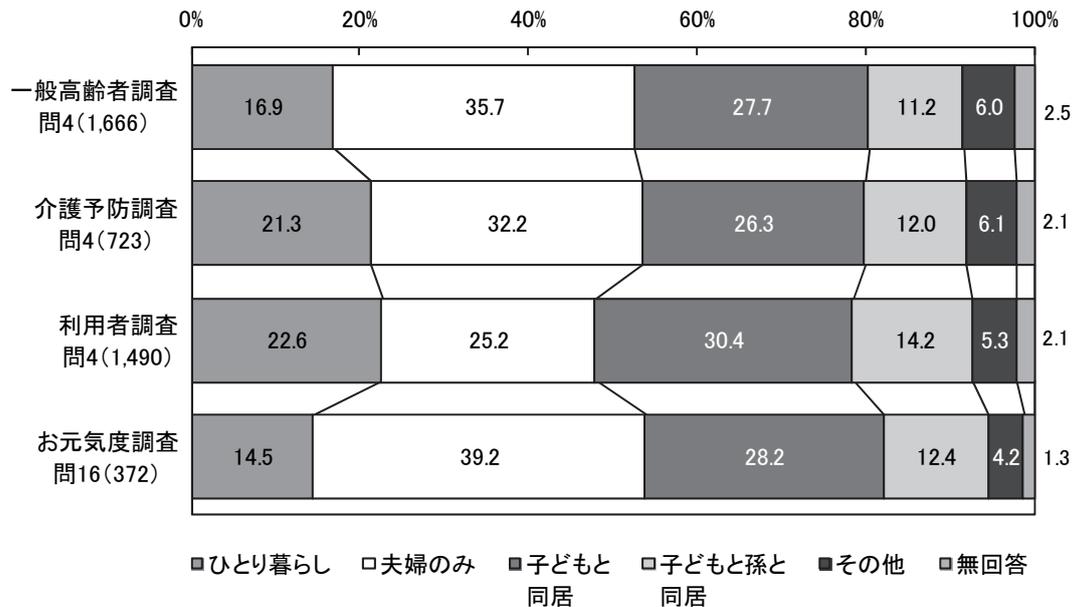
※ () は回答者数

(2)世帯構成

【一般高齢者調査】と【介護予防調査】と【お元気度調査】は「夫婦のみ」、【利用者調査】は「子どもと同居」の割合がそれぞれもっとも高い。

また、「ひとり暮らし」の割合は、【一般高齢者調査】と【お元気度調査】では1割台であるのに対し、【介護予防調査】と【利用者調査】では2割を超える。

図表5-2 世帯構成



※ () は回答者数

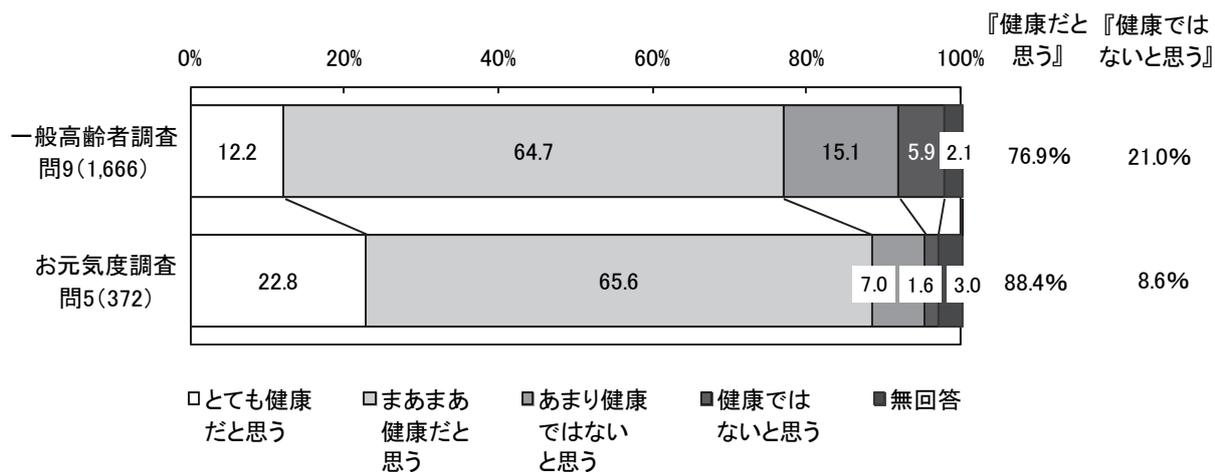
※ 「親と同居」「親と子どもと同居」は「その他」に含めて集計している

2. 健康について

(1)健康状態

「とても健康だと思う」割合は、【一般高齢者調査】の12.2%に対し、【お元気度調査】では22.8%を占める。『健康だと思う』と回答した人の割合は、【一般高齢者調査】が76.9%、【お元気度調査】が88.4%と、【お元気度調査】のほうが11.5ポイント高い。

図表5-3 健康状態



※ () は回答者数

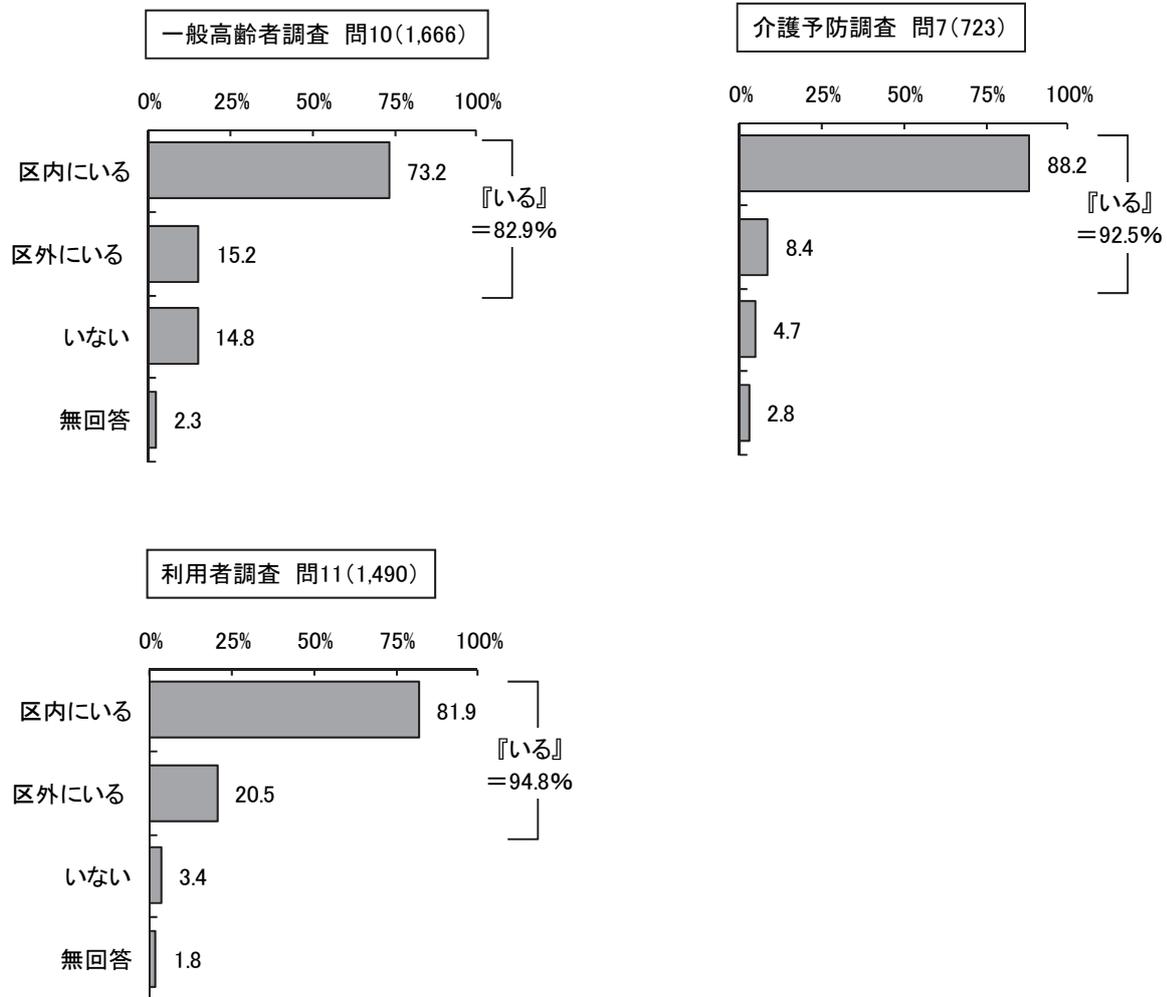
※ 『健康だと思う』 = 「とても健康だと思う」 + 「まあまあ健康だと思う」

※ 『健康ではないと思う』 = 「あまり健康ではないと思う」 + 「健康ではないと思う」

(2) かかりつけ医の有無

かかりつけ医が『いる』割合は、【一般高齢者調査】は8割台、【介護予防調査】と【利用者調査】は9割台となっている。

図表5-4 かかりつけ医の有無



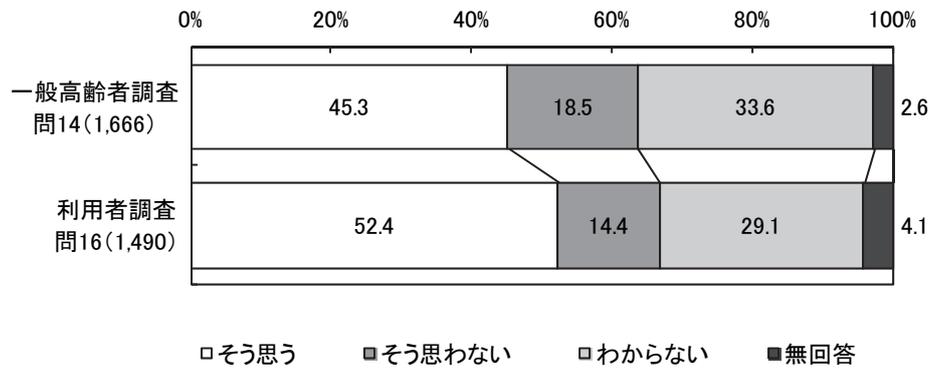
※ () は回答者数

※ 『いる』 = 100% - 「いない」 - 「無回答」

(3) 在宅療養に対する意向

「そう思う」（在宅療養をしたいと思う）割合は、【一般高齢者調査】の45.3%、【利用者調査】の52.4%と、利用者調査の方が在宅療養意向が高くなっている。

図表5-5 在宅療養に対する意向



※（ ）は回答者数

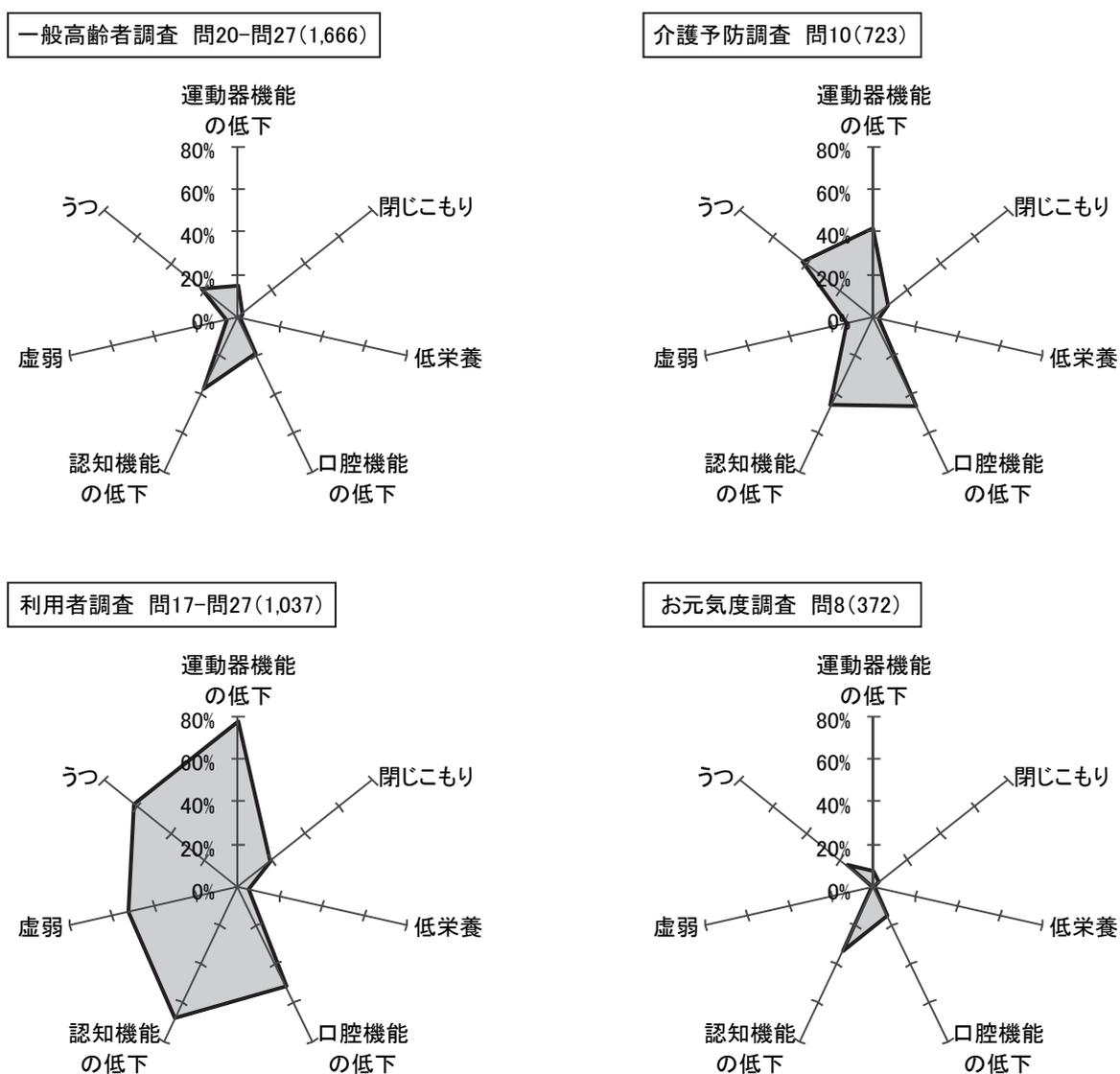
3. 日常生活機能の評価について

(1)生活機能の評価

生活機能が低下している可能性がある（該当する）人の割合（下図のグレーの網掛け部分）をみると、【お元気度調査】は閉じこもりを除くすべての項目で【一般高齢者調査】を下回る結果となっており、該当者の割合は、【お元気度調査】、【一般高齢者調査】、【介護予防調査】、【利用者調査】の順に高くなっている。

項目別にみると、認知機能の低下は介護の必要性の低い【お元気度調査】と【一般高齢者調査】にも該当者が3割台と、他に比べて高い割合となっている。一方、低栄養は【利用者調査】においても1割を下回っており、他に比べて該当者の割合が非常に低い項目である。

図表5-6 生活機能の評価



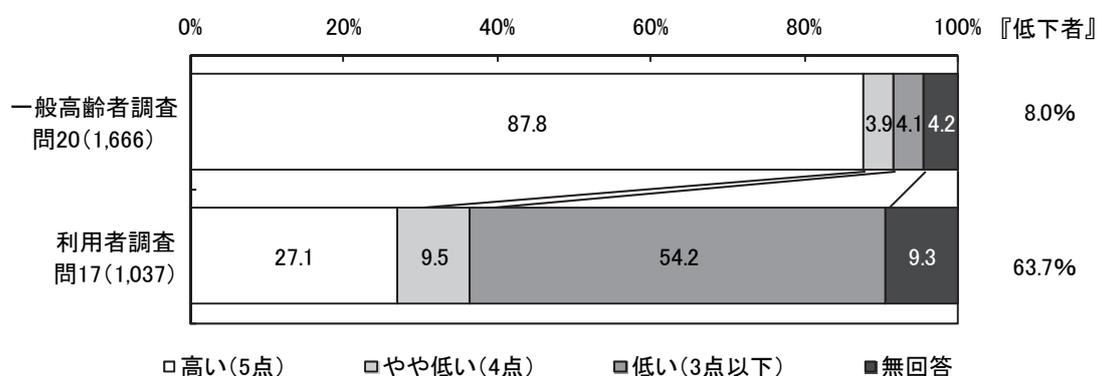
※各項目の「該当」の割合を掲載している

(2) 日常生活の自立度の評価

手段的日常生活動作（IADL）の自立度が「高い（5点）」人の割合は、【一般高齢者調査】の8割台に対して、【利用者調査】では2割台であり、『低下者』の割合は、【一般高齢者調査】が8.0%、【利用者調査】が63.7%となっている。

日常生活動作（ADL）の自立度が「完全自立（100点）」の人の割合は、【一般高齢者調査】の7割台、【利用者調査】では1割台であり、『低下者』の割合は、【一般高齢者調査】が19.8%、【利用者調査】が74.6%となっている。

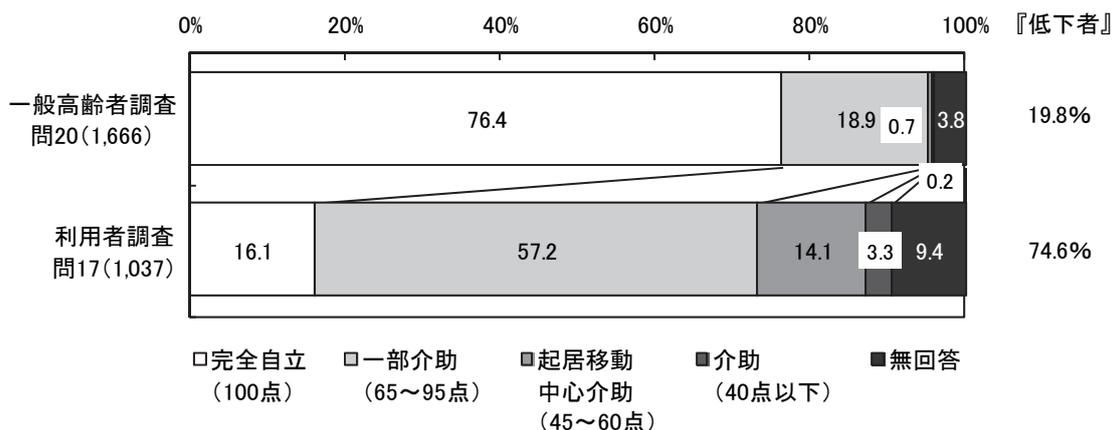
図表5-7 手段的日常生活動作(IADL)の自立度の評価



※（ ）は回答者数

※『低下者』＝「やや低い（4点）」＋「低い（3点以下）」

図表5-8 日常生活動作(ADL)の自立度の評価



※（ ）は回答者数

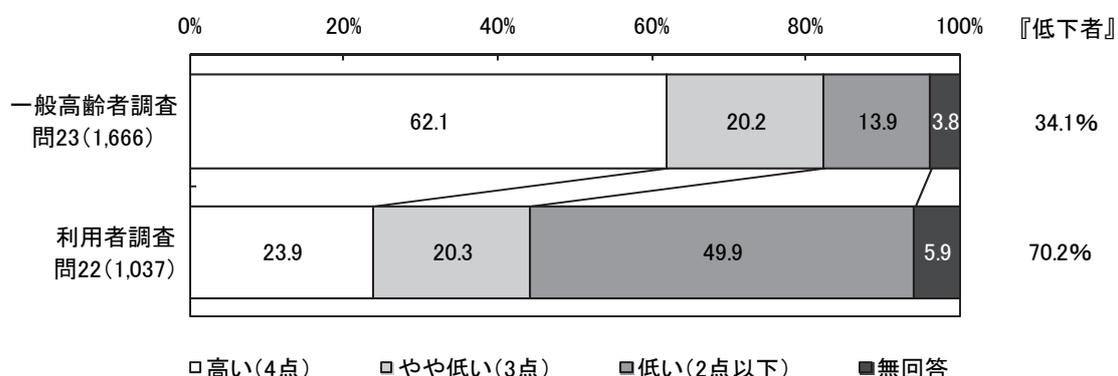
※『低下者』＝「一部介助（65～95点）」＋「起居移動中心介助（45～60点）」＋「介助（40点以下）」

(3) 社会参加の評価

知的能動性が「高い（4点）」人の割合は、【一般高齢者調査】の6割台に対して、【利用者調査】では2割台であり、『低下者』の割合は、【一般高齢者調査】が34.1%、【利用者調査】が70.2%となっている。

社会的役割が「高い（4点）」人の割合は、【一般高齢者調査】の4割台、【利用者調査】では1割未満であり、『低下者』の割合は、【一般高齢者調査】が52.2%、【利用者調査】では86.6%に達する。

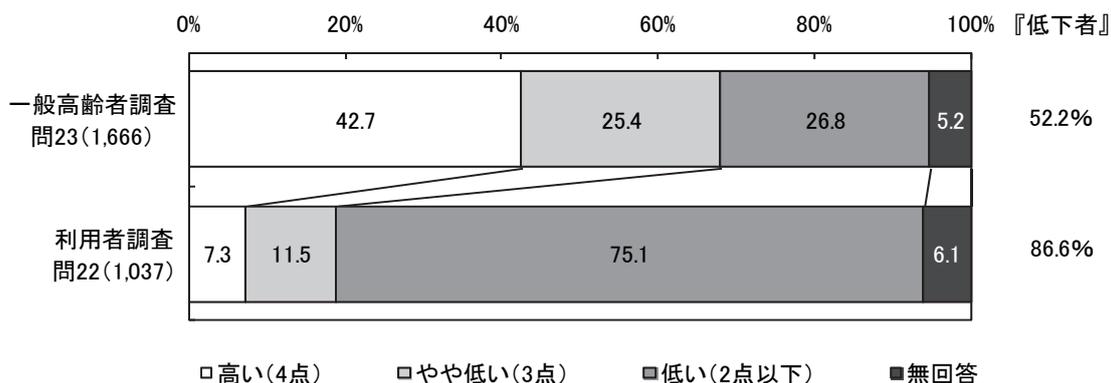
図表5-9 知的能動性の評価



※（ ）は回答者数

※『低下者』＝「やや低い（3点）」＋「低い（2点以下）」

図表5-10 社会的役割の評価



※（ ）は回答者数

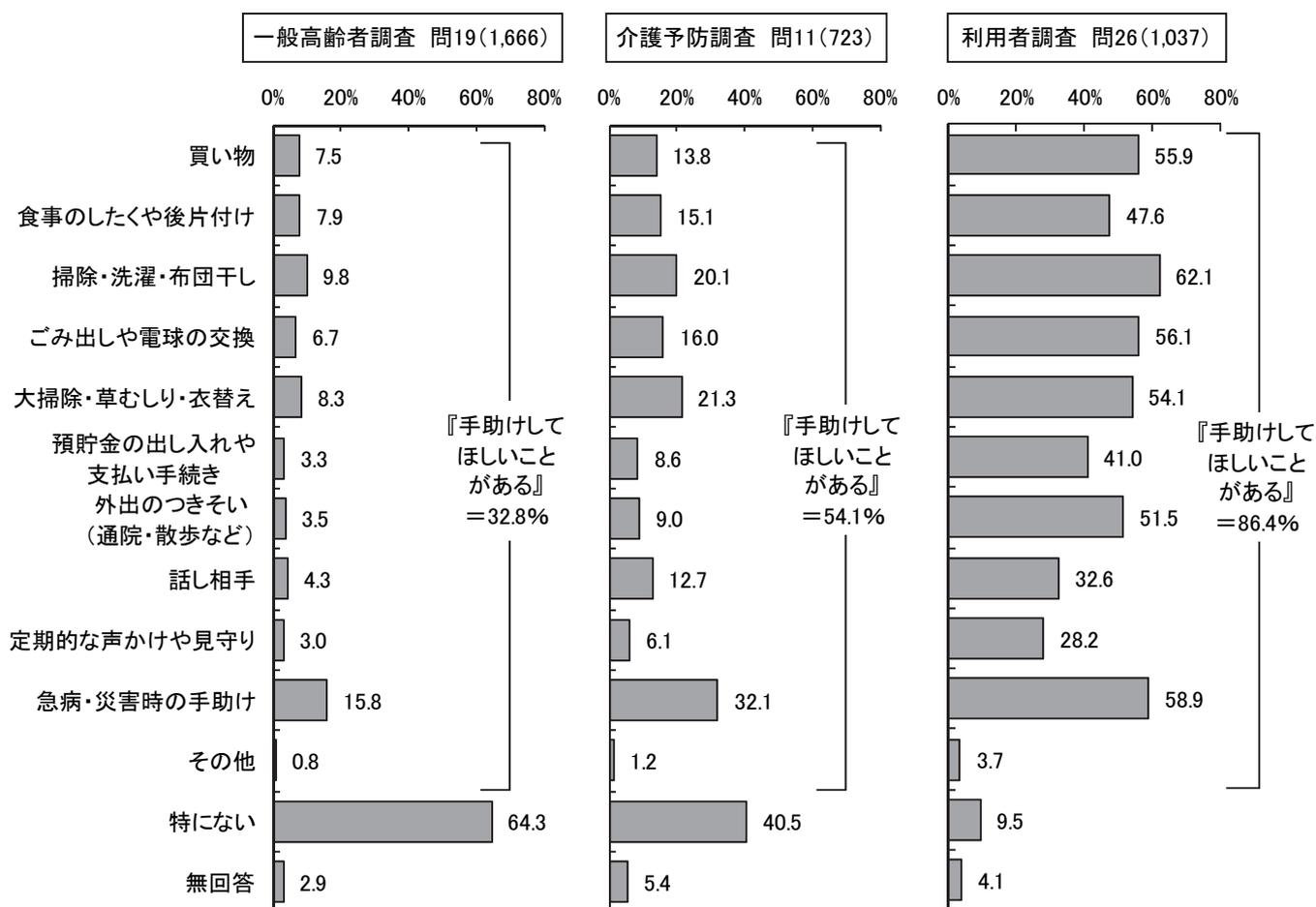
※『低下者』＝「やや低い（3点）」＋「低い（2点以下）」

(4) 日常生活の中で手助けしてほしいこと

『手助けしてほしいことがある』と回答した人の割合は、【一般高齢者調査】、【介護予防調査】、【利用者調査】と、介護の必要性が高くなるほど高くなっている。

手助けしてほしい内容をみると、【一般高齢者調査】【介護予防調査】では「急病・災害時の手助け」がもっとも高い。一方、【利用者調査】では「掃除・洗濯・布団干し」62.1%がもっとも高く、また、「急病・災害時の手助け」「ごみ出しや電球の交換」「買い物」「大掃除・草むしり・衣替え」「外出のつきそい（通院・散歩など）」についても半数以上が手助けしてほしいと回答している。

図表5-11 日常生活の中で手助けしてほしいこと



※ () は回答者数

※ 『手助けしてほしいことがある』 = 100% - 「特にない」 - 「無回答」

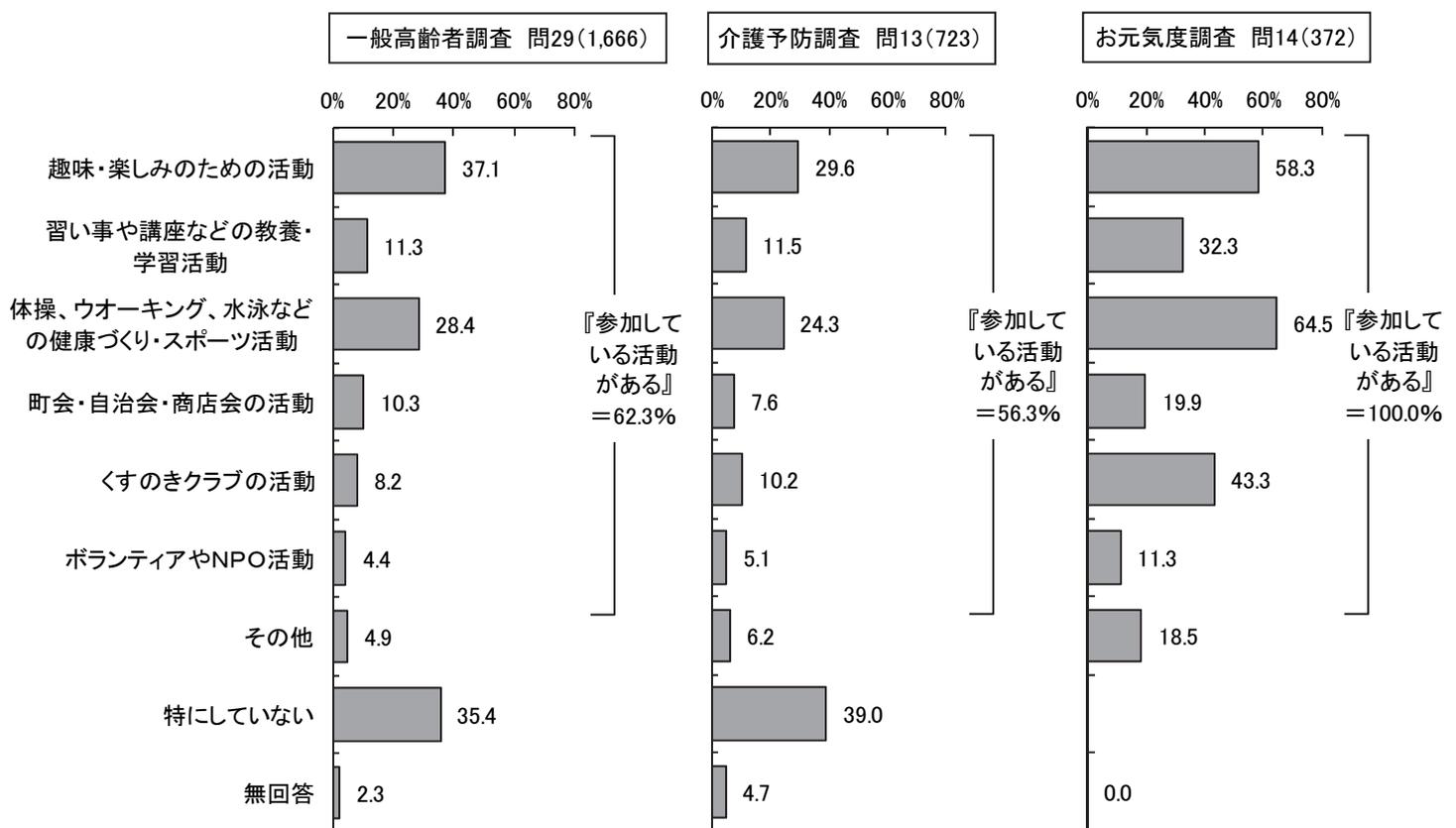
4. 社会参加、生きがいづくりについて

(1) 現在参加している余暇活動・社会参加活動

現在『参加している活動がある』人の割合は、【一般高齢者調査】が 62.3%、【介護予防調査】が 56.3%、【お元気度調査】が 100.0%となっている。

【一般高齢者調査】と【介護予防調査】では「趣味・楽しみのための活動」の割合がもっとも高い。【お元気度調査】では「体操、ウォーキング、水泳などの健康づくり・スポーツ活動」「趣味・楽しみのための活動」に参加している人が5割以上、「くすのきクラブの活動」に参加している人が4割台となっている。

図表5-12 現在参加している余暇活動・社会参加活動



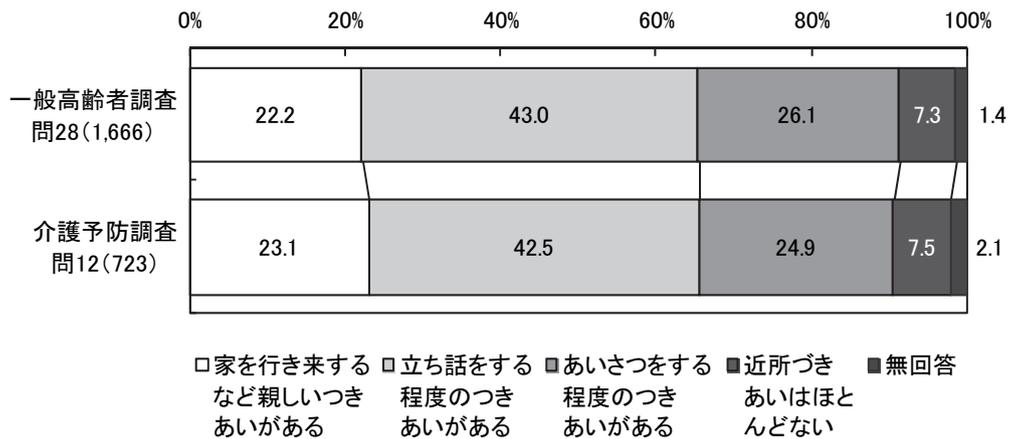
※ () は回答者数

※ 『参加している活動がある』 = 100% - 「特にしていない」 - 「無回答」

(2) 近所の人とのつきあいの程度

【一般高齢者調査】、【介護予防調査】ともほぼ同様の結果であり、「立ち話をする程度のつきあいがある」が約4割を占めてもっとも高く、次いで「あいさつをする程度のつきあいがある」となっている。

図表5-13 近所の人とのつきあいの程度



※ () は回答者数

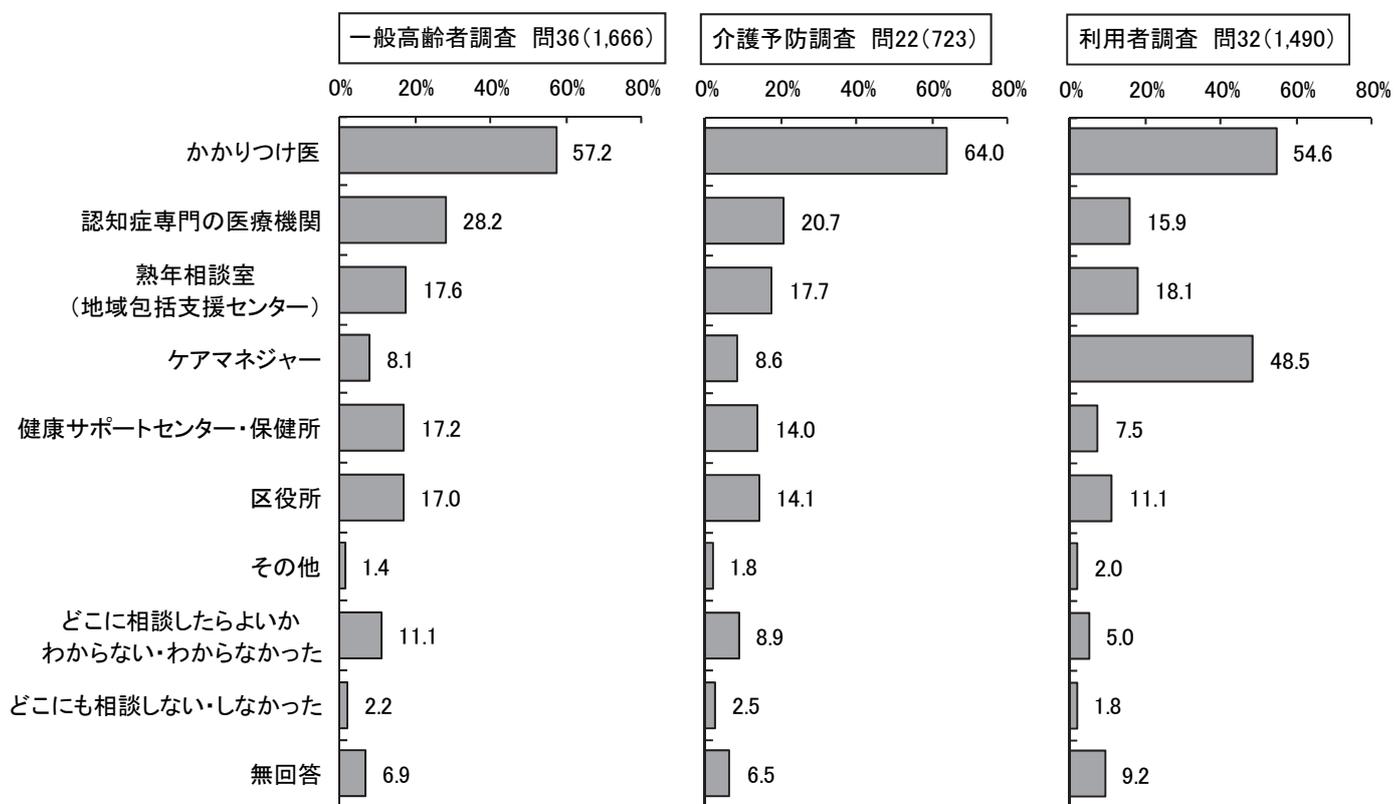
5. 認知症や権利擁護について

(1) 認知症に関する相談先

【一般高齢者調査】、【介護予防調査】、【利用者調査】とも「かかりつけ医」がもっとも高く、いずれも5割を超えている。次いで、【一般高齢者調査】と【介護予防調査】では「認知症専門の医療機関」、【利用者調査】では「ケアマネジャー」となっている。

「どこに相談したらよいかわからない・わからなかった」は、【一般高齢者調査】で11.1%と1割台を占めている。

表5-14 認知症に関する相談先



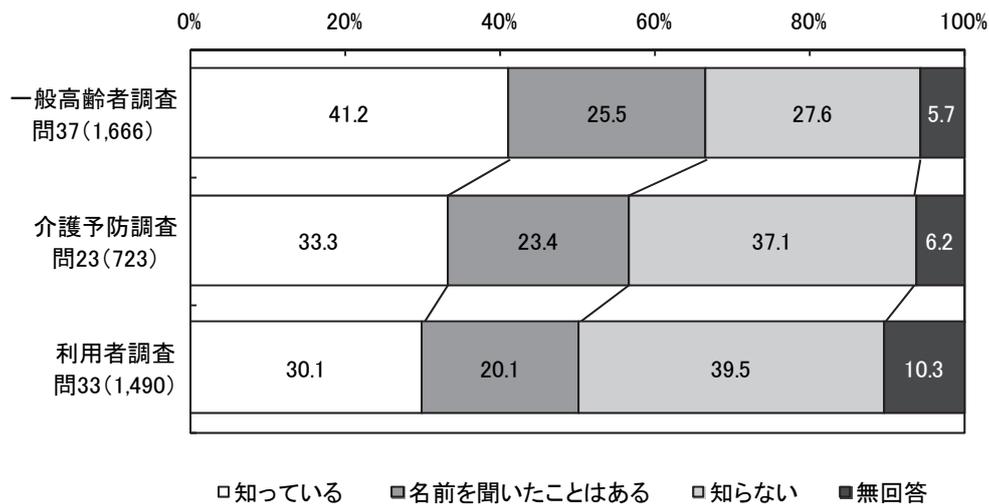
※ () は回答者数

(2) 成年後見制度の認知度

『知っている』と回答した人の割合は、【一般高齢者調査】がもっとも高い41.2%、次いで【介護予防調査】33.3%、【利用者調査】30.1%の順となっている。

「知らない」は【一般高齢者調査】が2割台、【介護予防調査】と【利用者調査】が3割台となっている。

図表5-15 成年後見制度の認知度

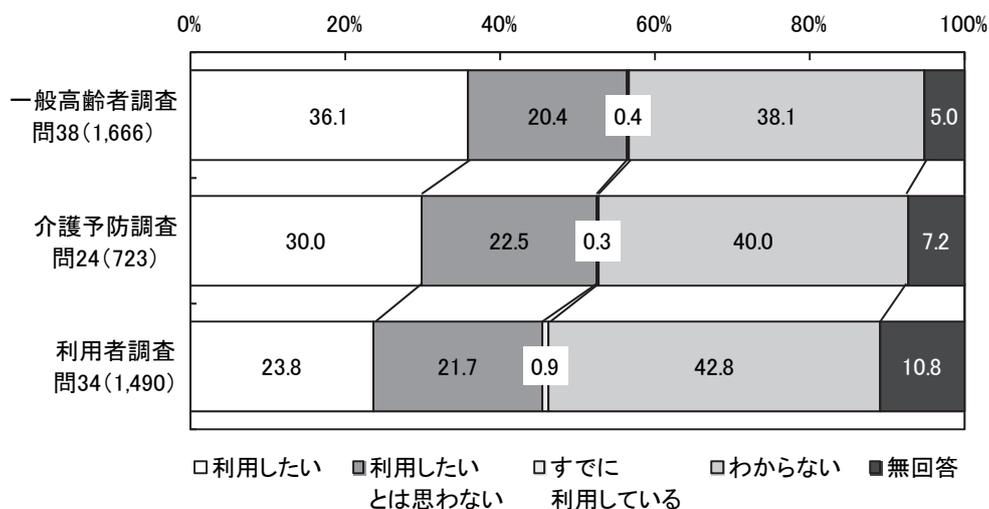


※ () は回答者数

(3) 成年後見制度の利用意向

『利用したい』と回答した人の割合は、【一般高齢者調査】36.1%、【介護予防調査】30.0%、【利用者調査】23.8%の順となっている。

図表5-16 成年後見制度の利用意向

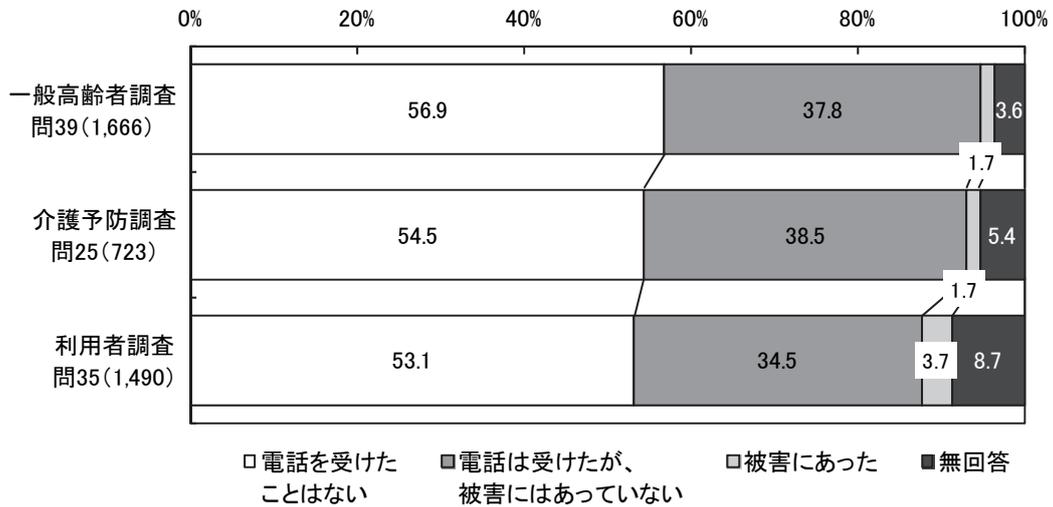


※ () は回答者数

(4) サギ・悪質商法の電話を受けた経験

【一般高齢者調査】、【介護予防調査】、【利用者調査】とも「電話を受けたことはない」が5割台、「電話は受けたが、被害にはあっていない」が3割台となっている。

図表5-17 サギ・悪質商法の電話を受けた経験



※ () は回答者数

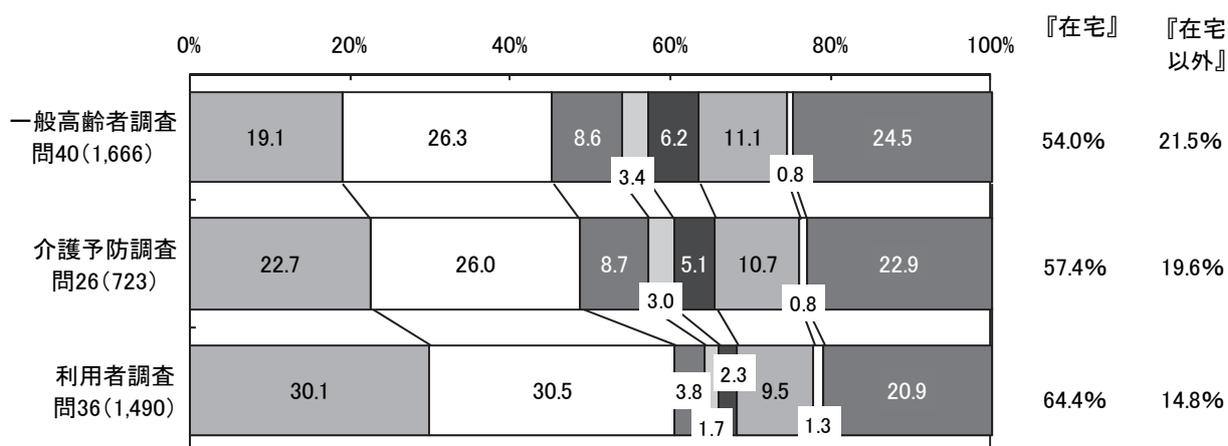
6. 今後の暮らしや介護について

(1) 今後介護を受けたい場所

『在宅』を希望する割合は、【一般高齢者調査】、【介護予防調査】、【利用者調査】とも5割を超えている。

【一般高齢者調査】、【介護予防調査】、【利用者調査】ともに「主に介護サービスを利用して、自宅（又は子どもの家）で暮らしたい」との意向が、もっとも高い。

図表5-18 今後介護を受けたい場所



- 主に家族の介護を受けながら、自宅(又は子どもの家)で暮らしたい
- 主に介護サービスを利用して、自宅(又は子どもの家)で暮らしたい
- 高齢者向け住宅に住み替えて、介護サービスを利用したい
- 有料老人ホームなどで暮らしたい
- 数人で暮らせる、家庭的な介護付きホーム(施設)で暮らしたい
- 介護保険施設(特別養護老人ホームなど)に入りたい
- その他
- わからない・無回答

※ () は回答者数

※『在宅』 = 「主に家族の介護を受けながら、自宅(又は子どもの家)で暮らしたい」
 + 「主に介護サービスを利用して、自宅(又は子どもの家)で暮らしたい」
 + 「高齢者向け住宅に住み替えて、介護サービスを利用したい」

※『在宅以外』 = 「有料老人ホームなどで暮らしたい」
 + 「数人で暮らせる、家庭的な介護付きホーム(施設)で暮らしたい」
 + 「介護保険施設(特別養護老人ホームなど)に入りたい」
 + 「その他」

(2) 在宅で暮らし続けるために必要と思うこと

【一般高齢者調査】、【介護予防調査】、【利用者調査】とも、「住み続けられる住まいがある」「家族が同居している、または近くにいる」「訪問介護やデイサービスなど、普段から利用できる介護サービスがある」が上位3項目となっている。

図表5-19 在宅で暮らし続けるために必要と思うこと

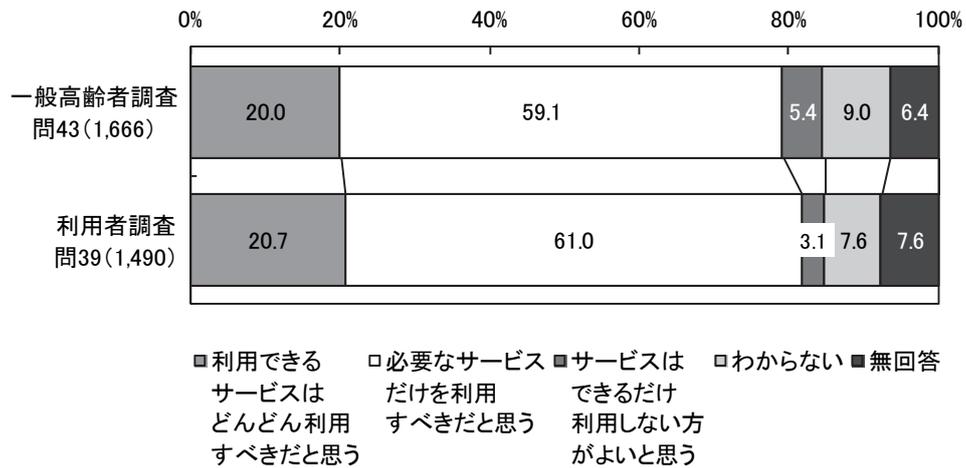
	一般高齢者 調査 問 41	介護予防 調査 問 27	利用者 調査 問 37
回答者数	1,666 人	723 人	1,490 人
住み続けられる住まいがある	62.6%	58.5%	61.4%
家族が同居している、または近くにいる	55.0%	45.9%	53.0%
見守ってくれる友人、知人が近くにいる	17.0%	12.6%	13.6%
訪問介護やデイサービスなど、普段から利用できる 介護サービスがある	36.1%	27.5%	43.2%
必要に応じて、通ったり宿泊できるような介護サービ スがある	24.4%	16.3%	22.6%
24 時間いつでも訪問してくれる介護サービスがある	22.4%	18.4%	16.4%
身近に利用できる医療機関がある	29.4%	25.7%	31.6%
いつでも利用(入所)できる施設が近くにある	19.9%	16.3%	17.5%
その他	0.8%	1.1%	0.8%
わからない	11.8%	13.4%	8.5%
特になし	3.6%	6.5%	1.7%
無回答	4.3%	5.9%	9.1%

※網掛けは各調査の上位3項目

(3) 介護保険サービス利用に対する考え

【一般高齢者調査】、【利用者調査】とも「必要なサービスだけを利用すべきだと思う」がもっとも高く、【一般高齢者調査】の59.1%、【利用者調査】の61.0%を占める。

図表5-20 介護保険サービス利用に対する考え



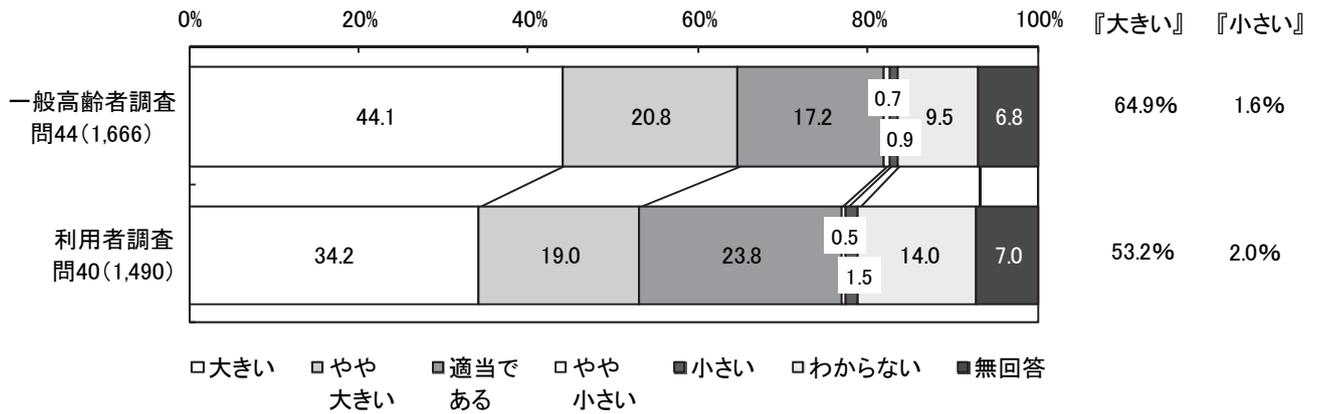
※ () は回答者数

(4) 介護保険料の家計への影響

【一般高齢者調査】、【利用者調査】とも5割以上が家計への影響は『大きい』と回答しており、特に【一般高齢者調査】では6割を超えている。

【利用者調査】では23.8%が「適当である」と回答しており、【一般高齢者調査】に比べて高い割合となっている。

図表5-21 介護保険料の家計への影響



※ () は回答者数

※ 『大きい』 = 「大きい」 + 「やや大きい」

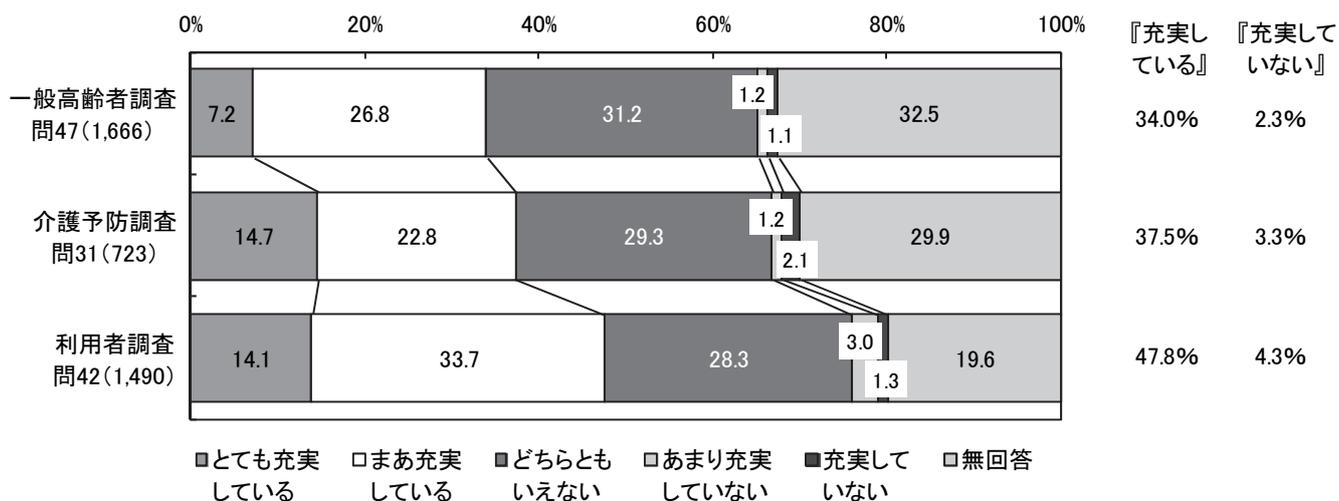
※ 『小さい』 = 「やや小さい」 + 「小さい」

7. 江戸川区の熟年者施策について

(1) 区の熟年者施策の充実度

『充実している』と回答した人の割合は、【一般高齢者調査】【介護予防調査】の3割台に対し、【利用者調査】は47.8%と5割近く、他の調査に比べて高い割合となっている。

図表5-22 区の熟年者施策の充実度



※ () は回答者数

※ 『充実している』 = 「とても充実している」 + 「まあ充実している」

※ 『充実していない』 = 「あまり充実していない」 + 「充実していない」

(2) 区の熟年者施策で充実してほしいこと

【一般高齢者調査】、【介護予防調査】、【利用者調査】とも、「介護する家族に対する支援」が第1位となっている。

次いで、【一般高齢者調査】は「健康づくりや介護が必要にならないための支援」、【介護予防調査】は「介護が必要になっても住み続けられる住まいの整備」、【利用者調査】は「在宅生活を支える介護サービス」となっている。

図表5-23 区の熟年者施策で充実してほしいこと

	一般高齢者 調査 問 48	介護予防 調査 問 32	利用者 調査 問 43
回答者数	1,666 人	723 人	1,490 人
健康づくりや介護が必要にならないための支援	45.1%	39.0%	33.0%
熟年者の就労や社会参加の支援	28.8%	18.0%	15.2%
配食や買い物、ごみ出し等の生活支援	15.5%	16.7%	24.0%
在宅生活を支える医療ケアなど医療の充実	37.5%	37.8%	37.7%
在宅生活を支える介護サービス	37.7%	38.2%	40.9%
介護が必要になっても住み続けられる住まいの整備	36.4%	39.7%	32.8%
介護を受けられる入所施設の整備	42.6%	35.7%	37.0%
ひとり暮らしの人等を地域で見守るネットワークづくり	35.0%	31.1%	29.0%
介護する家族に対する支援	49.5%	44.1%	45.8%
介護保険制度や区の熟年者施策に関する情報提供	29.1%	26.6%	23.4%
申請や相談がしやすい窓口の整備	41.3%	39.6%	30.1%
判断能力が低下した場合の支援や熟年者の人権擁護	25.4%	24.9%	22.2%
段差解消や歩道の整備など、安全なまちづくり	35.5%	38.5%	36.7%
その他	1.5%	1.2%	1.7%
特にない	5.4%	6.1%	4.5%
無回答	8.1%	11.5%	12.8%

※網掛けは各調査の上位3項目